

取扱説明書

ご使用のまえによくお読みください。

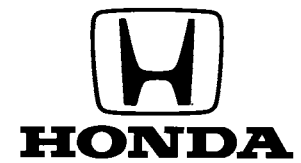
HONDA
本田技研工業株式会社
東京都港区南青山2-1-1

HONDA 

CR-V

CR-V

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、ホンダ販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。



このたびはホンダ車をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この本は、**CR-V** の取り扱いについて
必要事項を説明しています。

安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前にかならずお読みください。


この本はドライバーの動作に沿って各部の取り扱いを説明し、
また、装備、万一のときの応急処置、お車の手入れなど、必要な情報を説明しています。

●「安全ドライブのための必読6ポイント」は重要ですので、しっかりお読みください。

●安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。


これらは重要ですので、しっかりお読みください。

 **危険**

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

 **警告**


指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

 **注意**


指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

●その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

 **アドバイス**

お車のために守っていただきたいこと
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、
異常事態の処置方法を記載しています)

 **知識**

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

●運転はルールを守り、マナーよく。

- ・シートベルトを着用しましょう。
- ・法定速度を守りましょう。
- ・子供やお年寄りをいたわりましょう。
- ・駐停車は、ルールに従いましょう。
- ・迷惑運転はやめましょう。
- ・自然環境保護に気をくばりましょう。

●保証や点検整備に関することはメンテナンスノートに記載しておりますので、ご使用前に必ずお読みください。

●取扱説明書はメンテナンスノートと共に、いつもお車に保管してください。

●お車をゆずれるときは、つぎに所有されるかたのためにこの取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。

●ご不明な点は、担当セールスマンにおたずねください。

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

CONTENTS

◆ 安全ドライブのための必読6ポイント

1. 車を運転する前に
2. 車を運転するときに
3. 安全装備
4. ドライブを快適にする装備
5. 万一のとき
6. 車の手入れ
7. 車との上手なつきあいかた
 - サービスデータ
 - さくいん

1. お出かけまえに 10	2. お子さまに思いやりを 14	9		
3. 正しい知識で最適運転 16	4. オートマチック車の注意ポイント 20			
5. 駐車や停車はしっかりと 24	6. こんなことにも注意をしよう 26			
●各部の開閉 32	●シートの調節 44	●ハンドル・ミラーの調節 52	●シートベルト 55	31
●メーター 62	●表示灯 64	●警告灯 66	61	
●スイッチの使いかた 71	●エンジンのかけかた 77	●運転のしかた 79		
●SRSエアバッグシステム 90	●アンチロックブレーキシステム(ABS) 94	89		
●四輪駆動機構(4WD) 95				
●その他の安全装備 96				
●ヒーター・エアコン 98	●オーディオ 109	●室内装備品 123	97	
●工具・スペアタイヤ・発炎筒 138	●故障したとき 140	●事故が起きたとき 142	137	
●けん引 143	●パンクしたとき 146	●警告灯が点灯したとき 151		
●オーバーヒートしたとき 152	●電気系統が異常のとき 153	●こんなことでお困りのとき 162		
●点検・整備について 164	●お車を美しく保つために 165	●外装の手入れ 166	163	
●内装の手入れ 171	●車にあった部品の使用 172			
●積雪・寒冷時の取り扱い 174	●こんなときは 180	173		
●4WD車の運転 182				
		184		
		190		

ビジュアル目次

サンルーフメインスイッチ **注文装備** 42

ドアミラー調節スイッチ 53

ライト/方向指示器スイッチ 72、73

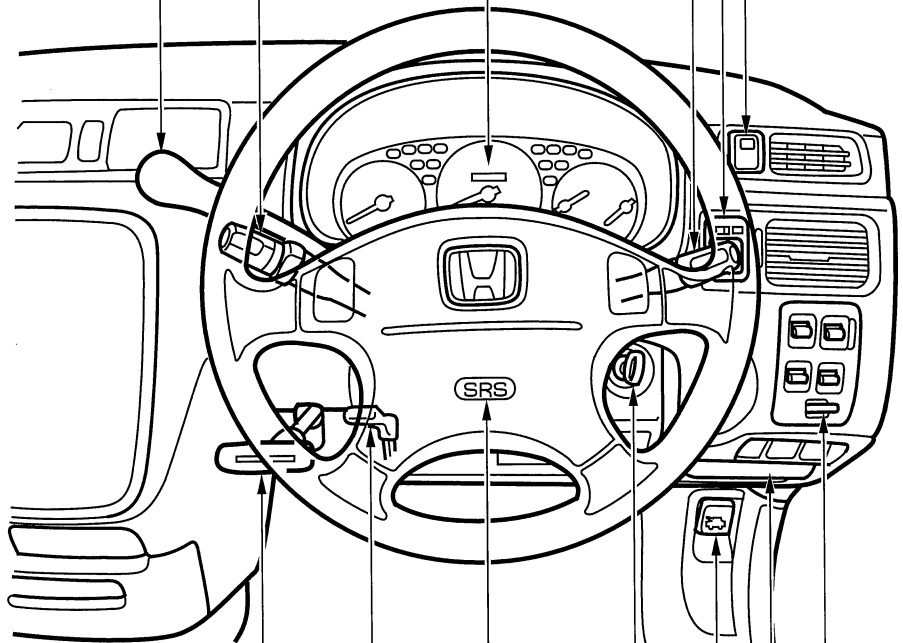
メーター 62

表示灯 64

警告灯 66

ワイパー/ウォッシャースイッチ 74

セレクトレバー 79



駐車ブレーキ 77

チルトステアリング 52

運転席用SRSエアバッグシステム **注文装備** 90

エンジンスイッチ 71

ボンネット解錠ノブ 36

コインボックス 132

ヒューズボックス 155

パワーウィンドースイッチ 41

助手席用SRSエアバッグシステム [注文装備] 92

時計/外気温表示 123

非常点滅表示灯スイッチ 73

オーディオ 109

サンルーフスイッチ [注文装備] 42

ホーンスイッチ [SRSエアバッグシステム装備車] 76

テールゲートオープナー 37

フューエルリッドオープナー 40

センターテーブル [タイプ別装備] 128

ヒーター・エアコン 98
リヤデフロスタースイッチ 75

灰皿 127

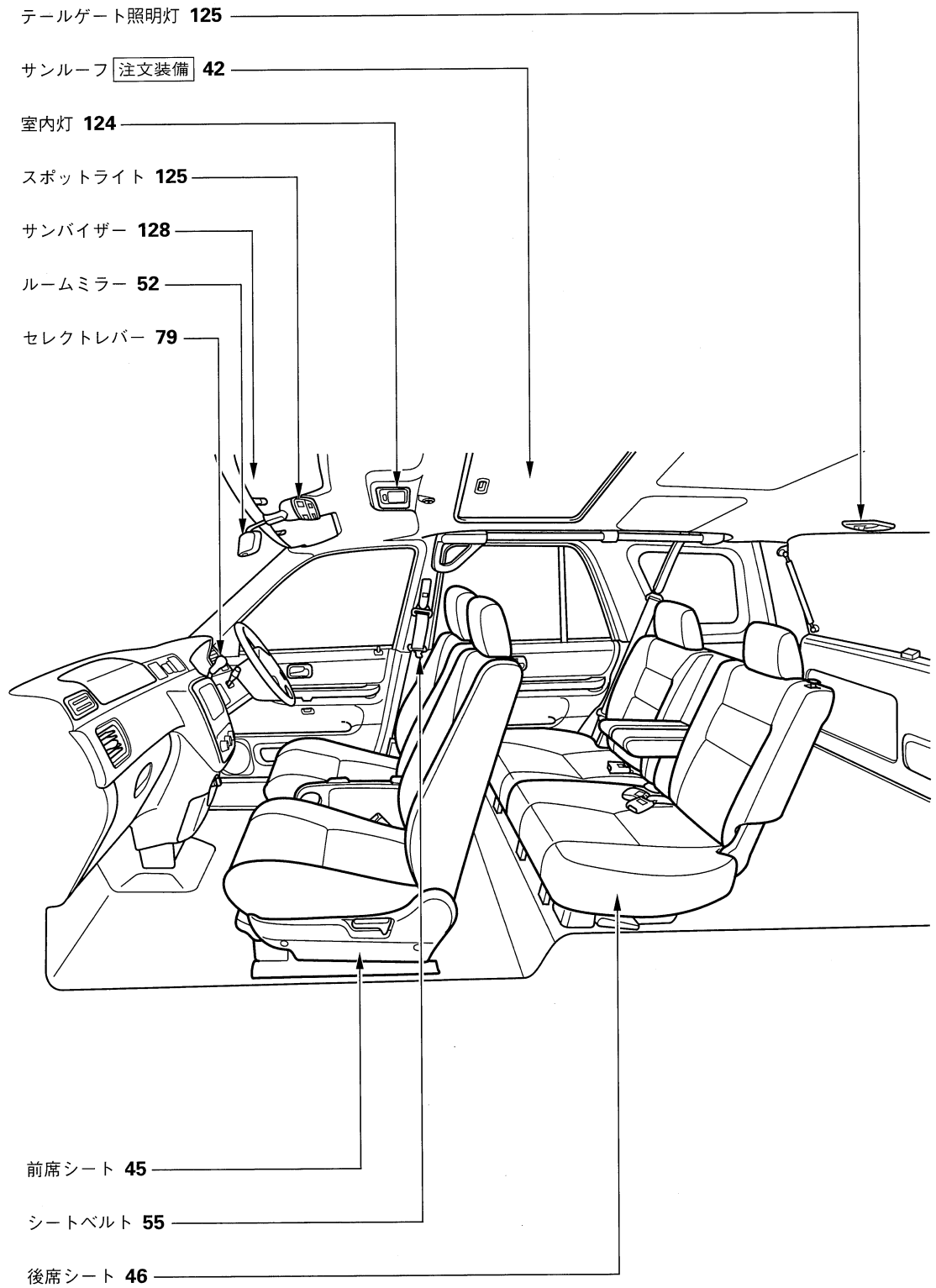
センターポケット 133

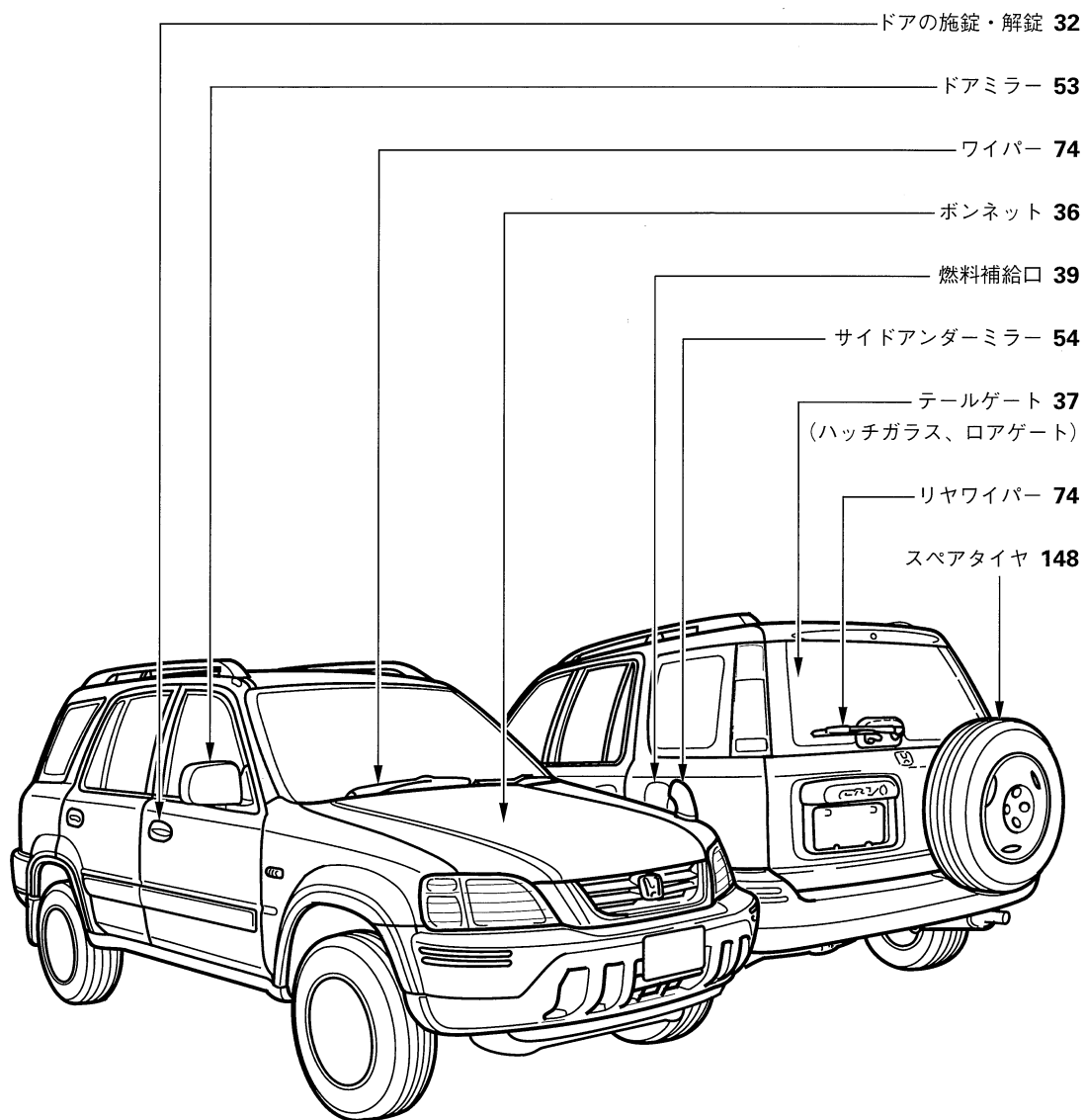
シガレットライター 126

グローブボックス 132

発炎筒 138

ビジュアル目次





安全ドライブのための必読 6 ポイント

POINTS

ご使用の前に特に知っておいていただきたいこと、
守っていただきたいことをまとめてあります。

お出けまえに	10
お子さまに思いやりを	14
正しい知識で最適運転	16
オートマチック車の注意ポイント	20
駐車や停車はしっかりと	24
こんなことにも注意をしよう	26

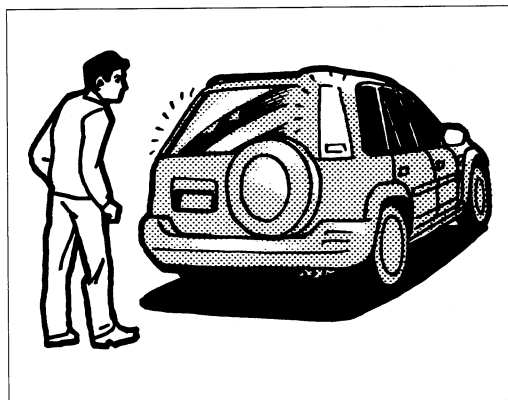
6

お出かけまえに・・・

点検をわすれずに。

〈メンテナンスノート参照〉

- 道路運送車両法により、法定定期点検と日常点検が義務づけられています。安全・快適にお使いいただくために、ホンダの点検要領に従って必ず点検してください。
 - ・日常点検は車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。
- 普段と違う点に気付いたら、ホンダ販売店で点検を受けてください。
(音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っている時・・・)



- 走行中も車の状態に気を配り、いつもと違う音やにおい、運転感覚などを感じたら早めに点検しましょう。

シートベルトを正しく着用。

<55ページ参照>

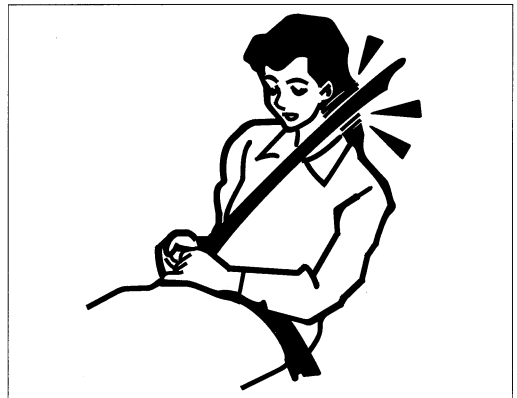
- 運転する人はもちろん、同乗する人にも必ず着用させましょう。
- シートに深く腰かけ、背もたれは必要以上に倒さないでください。
- 腰骨のできるだけ低い位置に着用してください。



- ベルトにねじれがないか確かめてください。



- ベルトがくび、あご、顔などに当たらないようにしてください。



- 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。



安全ドライブのための必読 6 ポイント

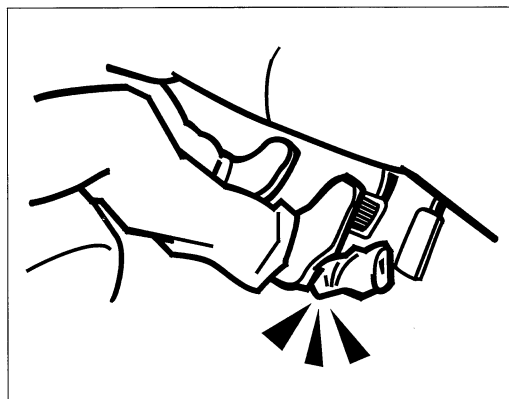
燃料の入った容器やスプレー缶などはのせないで。

・引火、爆発のおそれがあります。



運転のさまたげになるものには注意を。

- 走行中動きやすい物を床にそのまま置かないでください。
- フロアマットが、ペダルに引っかからないように注意してください。
 - ・ブレーキやアクセルのペダル操作が、確実にできないおそれがあります。



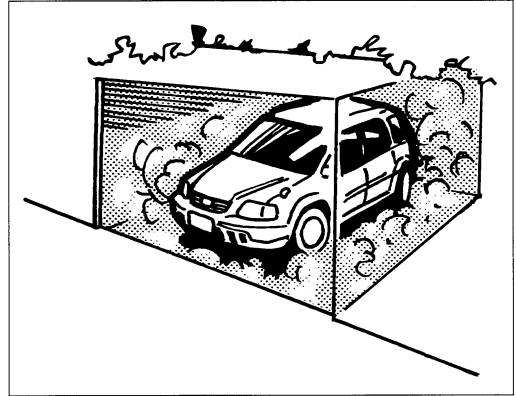
●手荷物はシートの高さを越えないようにしましょう。

・後方視界をさまたげたり、急ブレーキのときなどに荷物が飛び出すおそれがあります。



排気ガスには十分に気をつけて。

- 排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
 - ・車内や屋内などに排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 排気管に穴や亀裂があったり、排気音の異常に気付いたらホンダ販売店で点検を受けてください。
 - ・車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。



お子さまに 思いやりを

お子さまは、うしろの席に。

●助手席にのせるのは避けましょう。

・不意の動作が気になったり、スイッチ・レバー類のいたずらなど運転のさまたげになるおそれがあります。

また、事故が起きた場合、後席のほうが安全といわれています。

・助手席用SRSエアバッグシステム装備車では、インストルメントパネルに手をついたり、顔や胸を近づけた状態での乗車は、エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあり危険です。

●チャイルドプルーフをお使いください。

〈35ページ参照〉

お子さまにもシートベルトを。

●お子さまにも必ずシートベルトを着用させるか、チャイルドシートなどをお使いください。

・お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず危険です。



- お子さまの首やあごにシートベルトがあたる場合や腰骨にかからない場合は、チャイルドシートやジュニアシートを使用してください。
 - ・ シートベルトをそのまま使うと衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。
 - また、ひとりですわることのできない小さなお子さまはベビーシートを使用してください。
 - ・ ご購入、ご使用に際してはホンダ販売店にご相談ください。

《選択の目安》

	体重(kg)	身長(cm)	参考年齢
ベビーシート	～10	～75	～12か月
チャイルドシート	7～16	65～100	4か月～4才
ジュニアシート	15～32	100～135	4才～10才

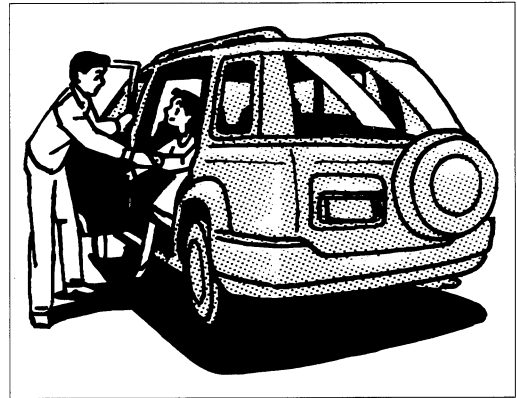
- 助手席用SRSエアバッグシステム装備車の助手席には、ベビーシートを取り付けたり、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。
 - ・ エアバッグが膨らむ際、ベビーシートや、チャイルドシートの背面に強い衝撃を受け危険です。
 - ・ やむをえずチャイルドシートを前向きに取り付ける場合は、エアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。

ドア、ウィンドー、サンルーフ、シートの操作は必ず大人が。

- 手、足、くびなどをはさまないように、気をつけてください。
- パワーウィンドーのメインスイッチは、“OFF”にしておきましょう。
(41ページ参照)
- 走行中、一時停止のときなど、窓やサンルーフから手や頭、物などを出さないよう、注意してください。
 - ・ 思わぬ障害物で事故のおそれがあります。

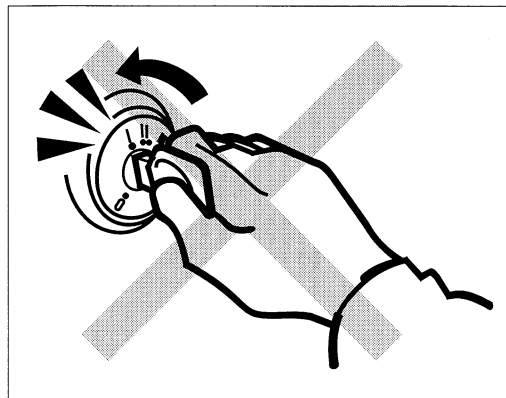
車から離れるときは、お子さまも一緒に連れて。

- お子さまだけを車内に残さないでください。
 - ・ 炎天下の車内は、高温になり危険です。
 - ・ お子さまのいたずらにより車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。






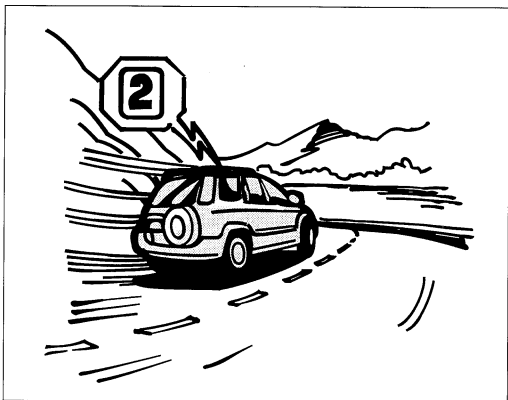
正しい知識で
最適運転

- 走行中ハンドルの中に手を入れて、スイッチを操作しないでください。
 - ・ハンドル操作のさまたげになり大変危険です。
- 走行中はエンジンを止めないでください。
 - ・ブレーキ倍力装置が作用しないため、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなり、ハンドル操作が重くなります。



長い下り坂ではエンジブレーキを。

- ブレーキペダルを踏み続けて走行するとブレーキが過熱して、ききが悪くなる場合があります。
- 長い下り坂では、走行速度に合わせ、またはを使って、エンジブレーキを併用してください。
特に強いブレーキ力が必要なときは、を使ってください。



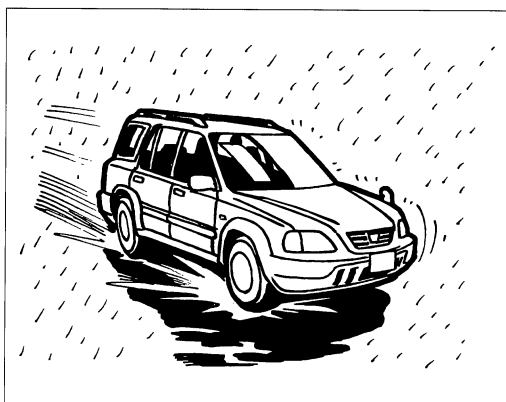
* エンジブレーキ：走行中アクセルペダルを戻したときにかかるブレーキ力のことで、低速ギヤほどよくききます。

雨天時の走行には注意を。

- 雨天時やぬれた道路では、路面が滑りやすくなっておりタイヤのグリップ力が低下するため、通常より注意深い運転が必要です。
・急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、スピードを落として安全運転に心がけてください。
- わだちなどの水のたまりやすい場所では、ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは

→180ページ



安全ドライブのための必読 6 ポイント

水たまりに入ったあとはブレーキのきき具合を確認。

- 水たまり走行後や洗車後は、低速で走行しながらブレーキペダルを軽く踏んできき具合を確認してください。
 - ・ぬれたブレーキはききが悪かったり、ぬれていない片側だけがきいてハンドルをとられることがあります。
- ブレーキのききが悪いときは、前後の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキのききが回復するまで、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。



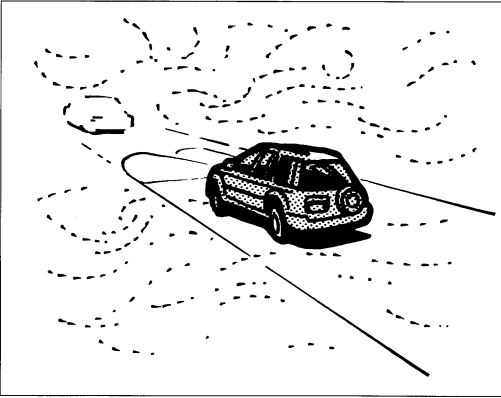
横風の強い日は。

- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に下げて進路を立て直してください。
 - ・トンネルの出口、橋・土手の上、山を削った切り通し、大型トラックを追い越したり、追い越されたりするときなどには、特に横風の影響を受けやすいので十分注意してください。



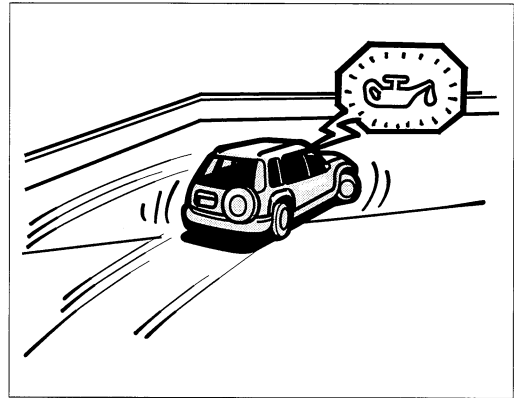
霧が出たときは。

- 霧が出たときは、視界が悪くなります。昼間でも前照灯を下向きで点灯し、中央線、ガードレールや前の車の尾灯などをめやすにして、速度を落として運転してください。

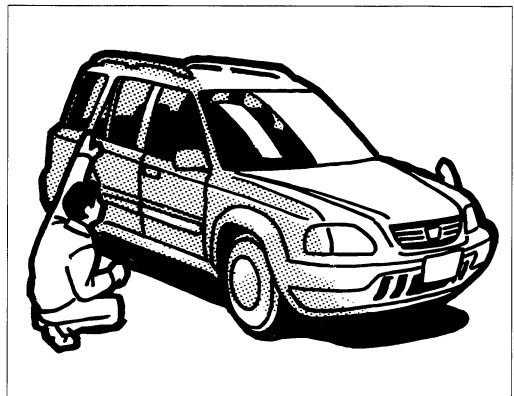


走行中異常があったら。

- 警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し処置をしてください。
〈66ページ参照〉
 - ・点灯したまま走行を続けると、思わぬ事故のもとになったり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。



- 走行中にタイヤがパンクやバースト(破裂)してもあわてずに、ハンドルをしっかりと握り、徐々にブレーキをかけて速度を落とし、安全な場所に停車してください。
 - ・急ブレーキや急ハンドルは車のコントロールを失うことがあります危険です。
- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに車を止めて、ブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。
 - ・ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。



オートマチック車の 注意ポイント

オートマチック車は、その特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

「オートマチック車の運転のしかた」もあわせてお読みください。

〈82ページ参照〉

オートマチック車の特性を正しく理解。

クリープ現象とは

- エンジンがかかっているとき、セレクトレバーがP以外に入っていると、動力がなくなった状態になり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。これをクリープ現象といいます。

キックダウンとは

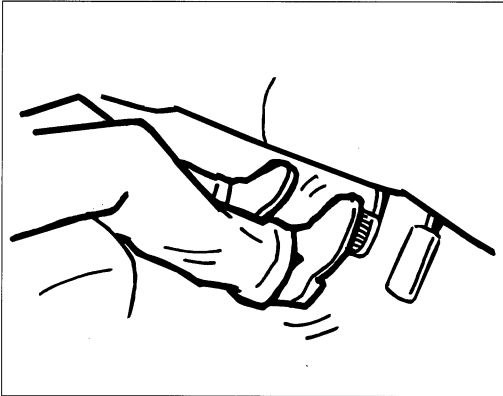
- DまたはMで走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り換わり、エンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。これをキックダウンといいます。

ブレーキは右足で。

- ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけましょう。
 - ・不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

エンジンをかけるまえに。

- ペダルの踏みまちがいのないよう、右足でペダルの位置を確認しておきましょう。



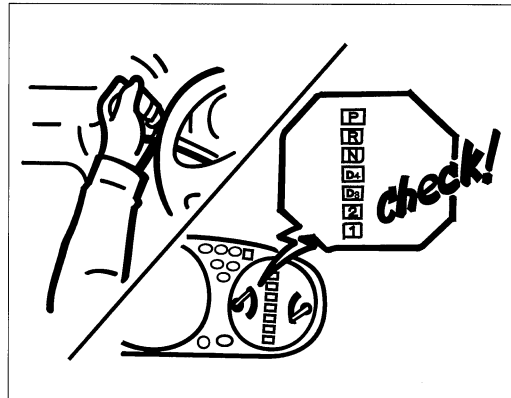
エンジンをかけるとき。

- 安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定される \square でエンジンをかけましょう。



スタートするとき。

- 思いちがいを防ぐため、セレクトレバーの位置をメーター内のセレクトポジション表示灯で確認しましょう。
- 発進時のセレクトレバーの操作は、右足でブレーキペダルをしっかりと踏み、車が動かないようにして行いましょう。
- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。
 - ・急発進して思わぬ事故のもとになります。

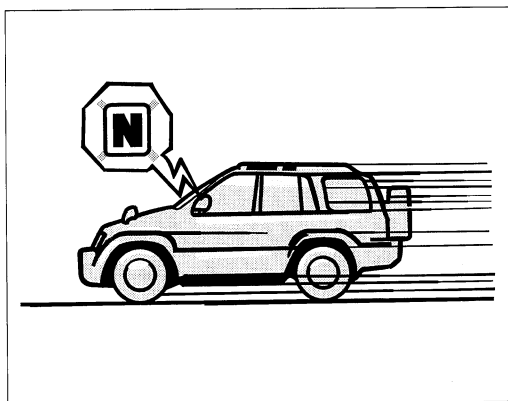


- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかりと踏んでいてください。
 - ・エアコン作動時も同じです。
- 坂道での発進は車が後退しないように必ず駐車ブレーキを併用し、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、駐車ブレーキをもどしてください。

安全ドライブのための必読 6 ポイント

走行しているとき。

- 走行中は、セレクトレバーをNにしないでください。
 - ・ エンジンブレーキが全くきかず、思わぬ事故のもとになります。



- 上り坂で、速度を保とうとしてアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより、急にエンジン回転が上がり、思ったより速度が出てしまうことがあります。アクセルペダルは、慎重に操作してください。また、すべりやすい路面やカーブでは、急激なアクセルペダル操作は避けてください。
- 下り坂では、エンジンブレーキも使いましょう。
 - ・ フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して、ブレーキのききが悪くなるおそれがあります。

停車しているとき。

- 車が動かないようにブレーキペダルをしつかりと踏み、必要に応じて駐車ブレーキをかけましょう。
- 停車中の空ぶかしは、やめましょう。
 - ・ 万一、セレクトレバーがP/N以外するとき、思わぬ急発進のもとになります。

駐車するとき。

- 駐車するときは、駐車ブレーキをかけてセレクトレバーをPに入れ、エンジンを止めましょう。
 - ・ 万一、セレクトレバーがP/N以外に入っていると、クリーブ現象で車が動き出したり、乗り込むときに、誤ってアクセルペダルを踏み込んで急発進したりするおそれがあります。

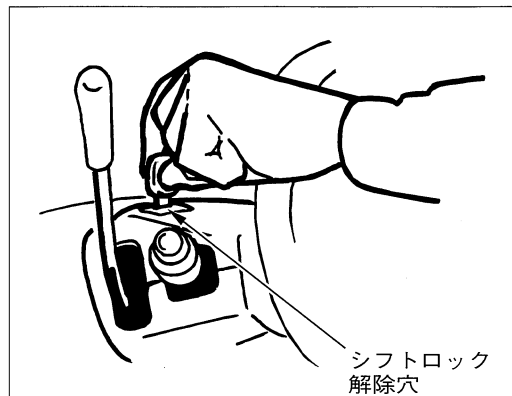


ほかに気をつけたいこと。

- 後退したあとは、すぐ④から⑤にもどす習慣をつけましょう。
 - ・ ちょっと後退したときなど、④に入れたことを忘れてしまうことがあります。
- 前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。
 - ・ 車が完全に止まらないうちにレバーを操作すると、トランスミッション破損のおそれがあります。
- 車が完全に止まらないうちに、④に入れなさい。
 - ・ 急停止して危険であるばかりでなく、トランスミッション破損のもとになります。

シフトロック装置の正しい理解を。

- ブレーキペダルを踏んでいないと、④からのセレクトレバー操作はできません。
 - ・ エンジンスイッチが、“I”または“0”のときには、ブレーキペダルを踏んでも、レバーは操作できません。
 - ・ セレクトレバーを引いたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができません。先にブレーキペダルを踏んでください。
- ④以外では、エンジンスイッチからキーは抜けません。
 - ・ ④以外では、キーが“I”から“0”に回りません。
- ④に入れるとチャイムが鳴ります。
 - ・ セレクトレバーが④の時にチャイムが鳴り、④に入っていることを運転者に知らせます。
 - ・ 車外の人には音が聞こえませんが、ご注意ください。
- 万一、④からセレクトレバーが操作できないときは：
 - ・ エンジンスイッチからキーを抜き、
 - ・ キーをシフトロック解除穴に差し込み、
 - ・ キーを押しながら、セレクトレバーを操作します。



駐車や停車は
しっかりと

5

可燃物には注意を。

- 枯草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには、駐停車しないでください。
 - ・ 排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。



植込みなどにも注意して。

- 植込みなどの近くに駐停車するときには、排気ガスが当たらないように、車の向きを決めましょう。



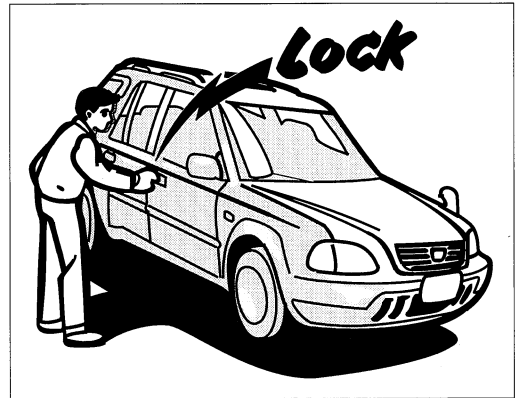
仮眠するときはエンジンを止める。

- エンジンを必ず止めてください。
 - ・無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- また、無意識にアクセルペダルを踏み続けたりした場合、オーバーヒートなどを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱による火災事故が発生するおそれがあります。
- さらに風向や周囲の状況等によっては、車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれもあります。



車から離れるときには施錠を。

- 必ず駐車ブレーキをかけ、エンジンを止め、ドアを施錠してください。
- 車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- お子さまも連れていきましょう。



車の移動はエンジンをかけて。

- 車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。
- ・下り坂を利用しての移動などは、思わぬ事故を招くことがあります。

坂道での駐車は。

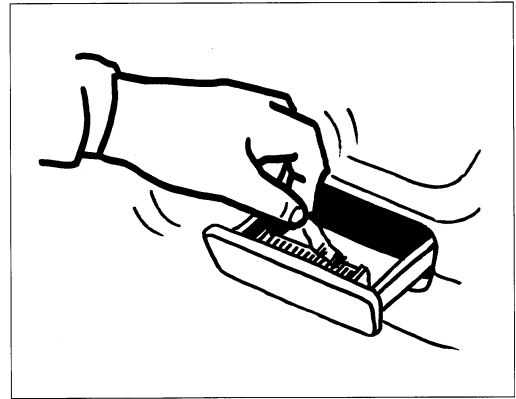
- 駐車ブレーキをかけ、セレクトレバーをPに入れてください。
- さらに、タイヤに輪止めをすると効果があります。

こんなことにも
注意をしよう

6

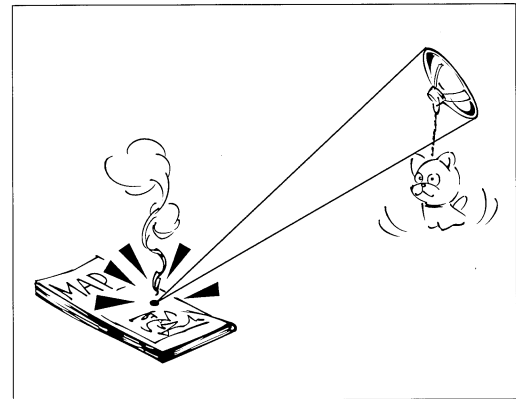
タバコの吸いがらは火を消して。

- タバコ、マッチなどは、確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
- 灰皿の中に吸いがらをため過ぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。



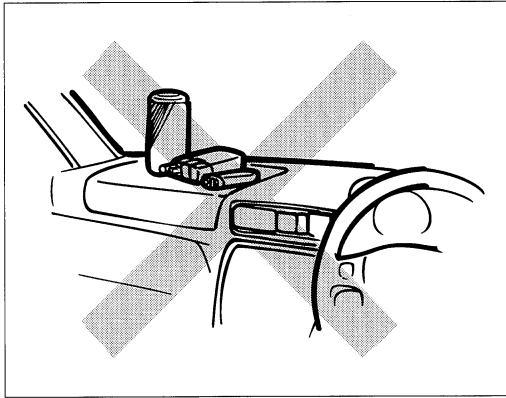
アクセサリーの取り付けには注意を。

- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けしないでください。
 - ・視界をさまたげたり、吸盤がレンズのはたらきをして火災を起こしたり、思わぬ事故のもとになります。



車内にライターや炭酸飲料缶などを放置しないで。

- ・炎天下での駐車などで車内温度が上昇すると、ライターなどの可燃物は自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。



ラジエーターキャップに気をつけて。

- ラジエーターキャップが熱いときは、外さないでください。
- ・蒸気や熱湯が吹き出し危険です。



ハンドルをいっぱい回した状態をつづけない。

- ハンドルをいっぱい回した状態から、さらに回そうとする力をかけつづけないでください。
- ・パワーステアリングポンプがオイル潤滑不良をおこし、損傷することがあります。

動物を乗せるときは、動きまわらないように注意して。

- ・運転のさまたげになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあります。

携帯電話の使用は停車中に。

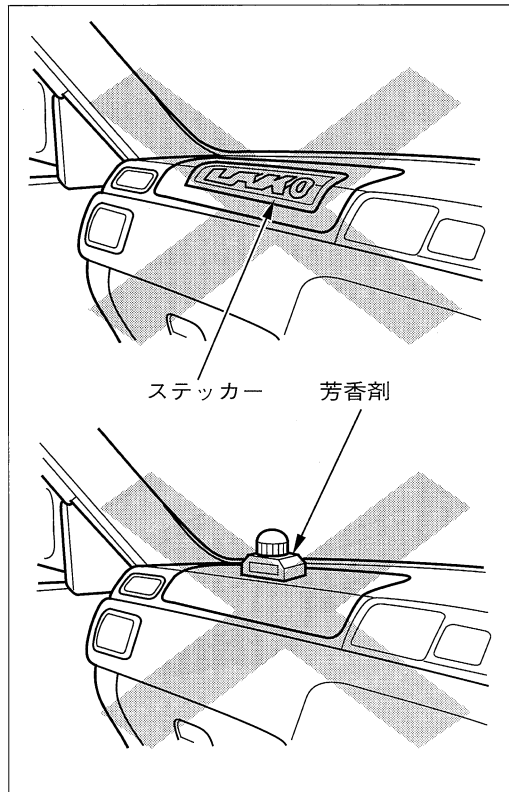
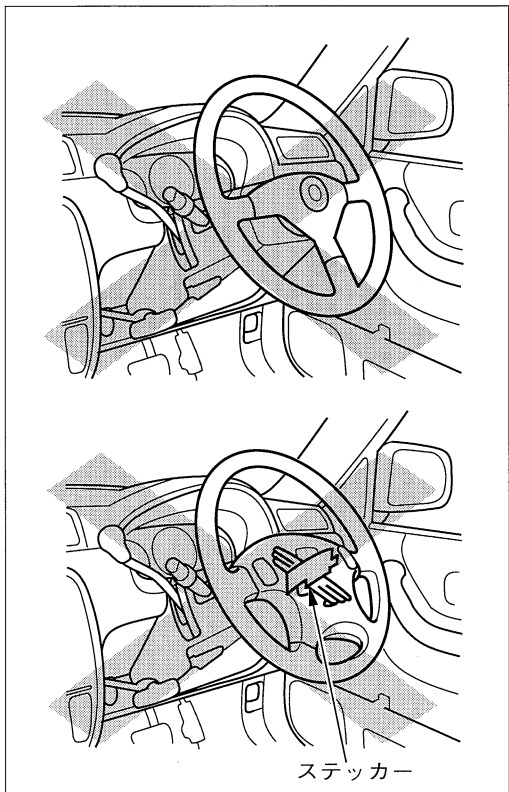
- 運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。
- ・運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造はしない。

- ホンダ純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を、使用しないでください。
 - ・ 適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
 - ・ ホンダが運輸省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。
- ホイールは、CR-V専用品をご使用ください。
 - ・ 専用品以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすことがあります。
 - ホンダ販売店にご相談ください。
- 無線装置や自動車電話などの取り付けの際には、必ずホンダ販売店にご相談ください。
 - ・ 装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。



- SRSエアバッグシステム装備車は、ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりしないでください。
 - インストルメントパネル上には、ステッカー類を貼ったり、アクセサリーや芳香剤など物を置かないでください。
 - また、前面ガラスにアクセサリーなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。
 - ・ SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。
 - ・ 作動時にこれらの物がとぶことがあり危険です。
 - ・ 次の場合は、必ずホンダ販売店にご相談ください。
 - ①ハンドルまわりの修理
 - ②センターコンソール付近の修理
 - ③カーステレオ等用品の取り付け
 - ④ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
 - ⑤インストルメントパネルまわりの修理

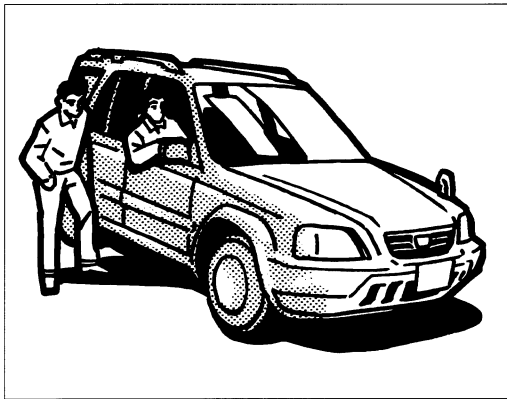


安全ドライブのための必読 6 ポイント

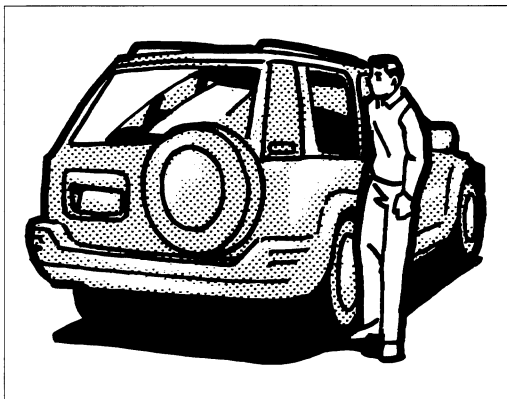
発進するときは、まわりの状況に十分注意して。

車の周りには運転席から見えなところ(死角)があります。発進するときは子供や障害物など車のまわりの状況に十分注意してください。

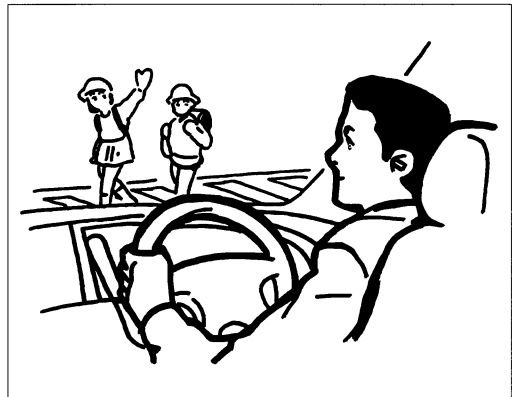
- 駐車後に発進するときは、車のまわりの安全確認を十分に行ってください。



- 後退するときに十分な視界が得られない場合は、車から降りて後方を確認してください。
 - ・バックミラーでは確認しきれない死角(車の直後など)があります。



- 信号待ちなどの停車後に発進するときは、つねにまわりの状況に目を配り、安全確認を十分に行ってください。





7

車を運転する前に

各部の開閉

キー	32
ドアの施錠・解錠	32
ボンネット	36
テールゲート	37
燃料補給口	39
パワーウィンドー	41
サンルーフ	42

シートの調節

正しい運転姿勢	44
前席シート	45
後席シート	46
フルフラットシート	48
荷室の作りかた	50

ハンドル・ミラーの調節

チルトステアリング (上下調節式ハンドル)	52
バックミラー(後写鏡)	52

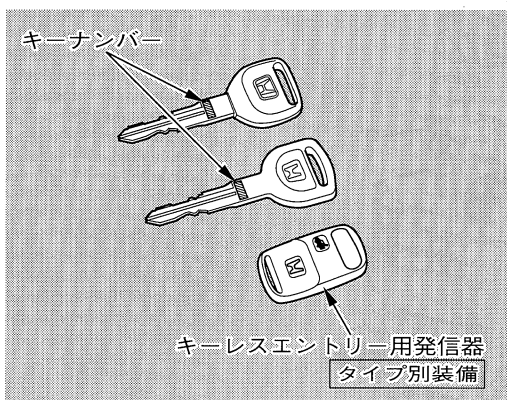
シートベルト

着用のしかた	57
--------	----

各部の開閉

キー

キーは、エンジンの始動、停止のほかに、ドアの施錠・解錠、テールゲートの解錠に使えます。



キーレスエントリー用発信器はドアの施錠・解錠、テールゲートの解錠がキーを使わずにできます。

キーレスエントリー →34ページ

キーレステールゲートオープナー

→37ページ

知識

- キーナンバーを控えておいてください。キーを紛失したときは、キーナンバーをホンダ販売店へご連絡いただければ、購入することができます。キーレスエントリー用発信器を紛失したときは、ホンダ販売店へご連絡ください。

ドアの施錠・解錠

⚠注意

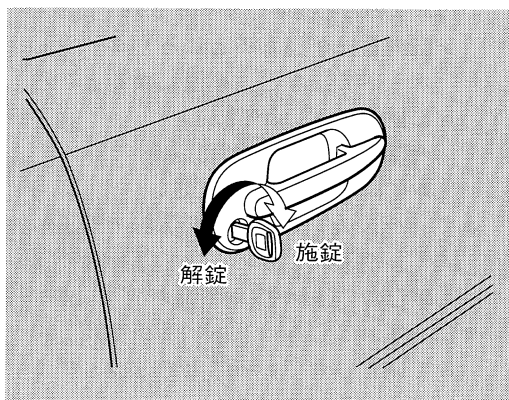
- ドアは確実に閉めてください。半ドアでは、走行中にドアが開き思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

🎓知識

- ドアは不用意に開けると後続車などがぶつかることがあるので周囲の安全を確かめてから開けてください。
- 強風時にドアを開閉するときは、風にあおられないよう注意してください。
- 車から離れるときは、エンジンを止めドアを必ず施錠してください。また、車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。

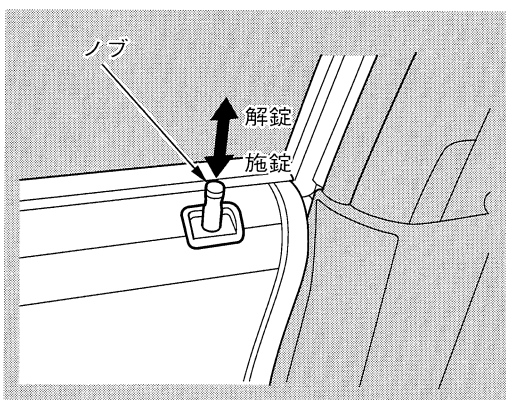
●車外から行う場合

キーを確実に差し込んで回します。
運転席ドアを施錠(解錠)すると他のすべての
ドアも同時に施錠(解錠)します。



●車内から行う場合

ノブを矢印の方向に動かすことにより、施錠
(解錠)できます。



運転席ドア部のノブを操作すると他のすべての
ドアも同時に施錠(解錠)します。

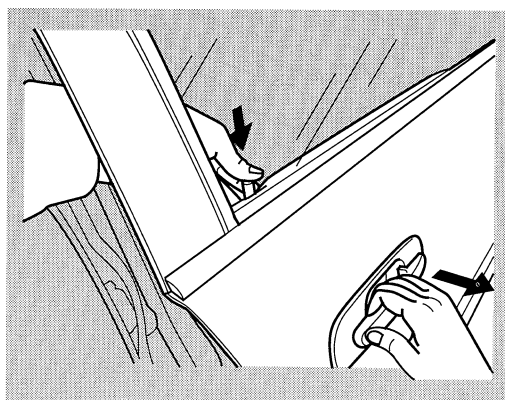
●キーを使わないで施錠する場合

📖 知識

- キー閉じ込み防止のため、キーを持っ
ていることを確認してから施錠しまし
よう。

運転席ドア

ドアハンドルを引いたまま車内のノブまたは
スイッチを施錠の方向に動かしてドアを閉め
ると、施錠できます。



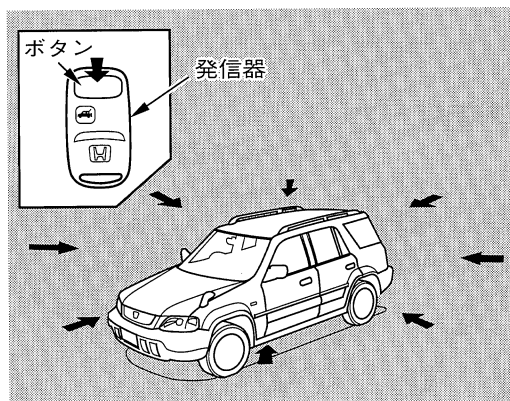
運転席ドアを施錠すると、他のすべてのドア
も同時に施錠されます。

その他のドア

ノブを施錠の方向に動かしてドアを閉めると、
施錠できます。

●キーレスエントリー タイプ別装備

ドアの施錠・解錠がキーを使わずにできます。発信器のボタンを押すとすべてのドアが施錠(解錠)され、もう一度押すと解錠(施錠)されます。



室内灯が“中間”位置のときにキーレスエントリー用発信器でドアを解錠すると、同時に室内灯が点灯します。

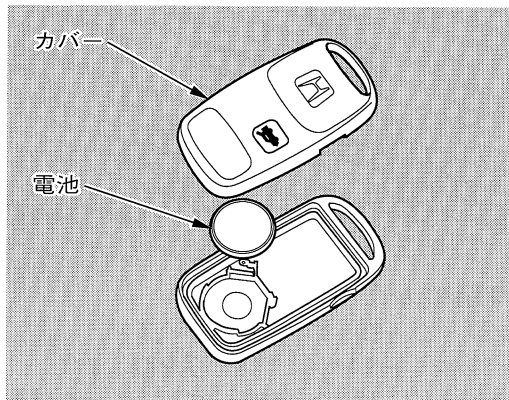
📖 知識

- 発信器には、精密な電子部品が組み込まれています。発信器の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・直射日光が当たるところやダッシュボードの上など、高温になるところに置かないでください。
 - ・衝撃を与えないでください。
 - ・水にぬらさないでください。
- キーレスエントリー用発信器で解錠してから約30秒以内にドアを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。
- 車を離れるときは、ドアハンドルを引いて施錠されていることを確認してください。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは、キーレスエントリーは作動しません。

発信器のボタンを押しても作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので早めに電池を交換してください。

使用電池・・・・・・・・・・ボタン電池 CR2032

コイン等でカバーを外し電池を交換します。



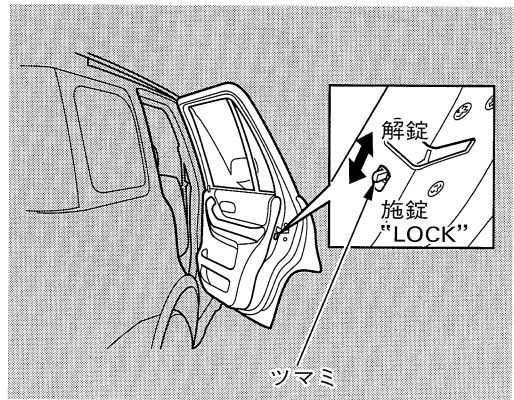
知識

- 液漏れなどを防ぐため、電池の⊕極と⊖極は正しく取り付けてください。
- 電池はホンダ販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

●チャイルドプルーフ

お子さまを乗せるときなどにお使いください。

ツマミを“LOCK”(施錠)の位置にして後席ドアを閉めるとノブの位置に関係なく車内からは開きません。



ドアを開く場合は、後席ドアのノブを解錠の方向に動かし外側のドアハンドルで開けます。

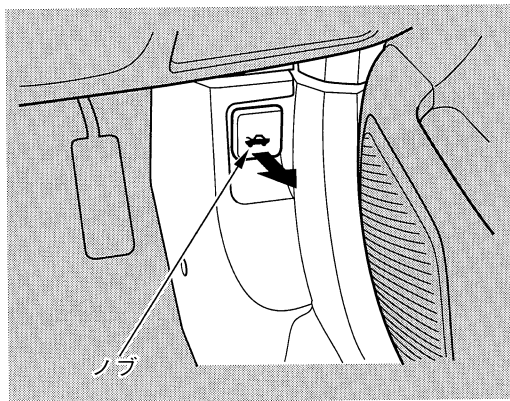
知識

- 車内から開けたい場合は、ノブを解錠の方向に動かし後部ドアウィンドーを下げ、窓から手を出して外側のドアハンドルを引いてください。

ボンネット

●開けかた

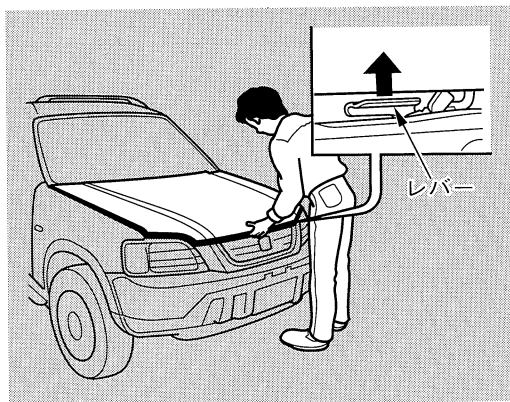
運転席足元のノブを引きます。



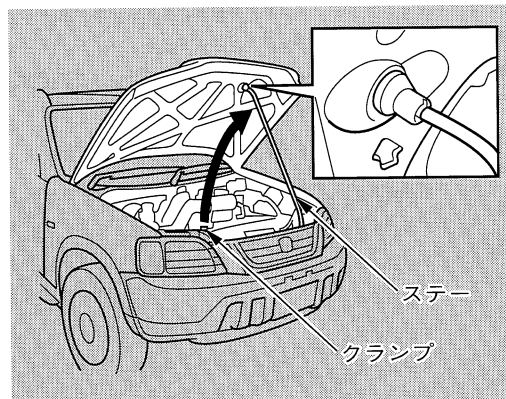
ボンネット前部が少し浮き上がるので、レバーを押し上げながら開けます。

📖 知識

- ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷します。

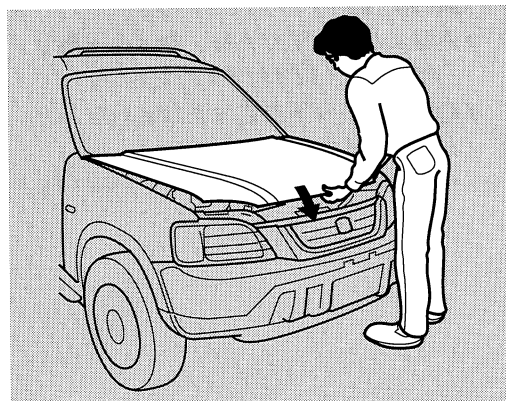


必ずステーを確実にかけ、固定します。



●閉めかた

ステーを外し、クランプに納めます。ボンネットを静かに下げ、手を離します。ボンネットが完全に閉まっていることを確認します。



⚠ 注意

- ボンネットを閉めるときは、手などはさまないように注意してください。

🎓 知識

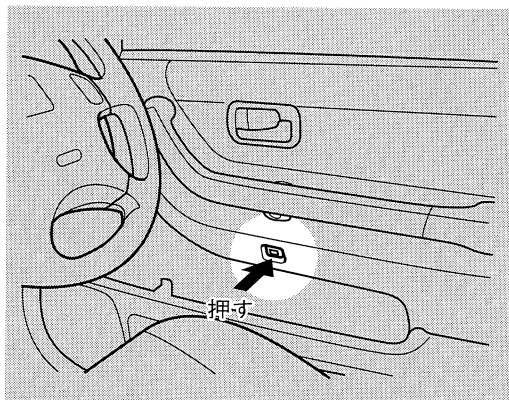
- ボンネットを開けているときに、風にあおられてステーが外れることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- ボンネットが完全に閉まっていないまま走り出すと開くことがあります。走行前に必ず確認してください。

テールゲート

● 解錠

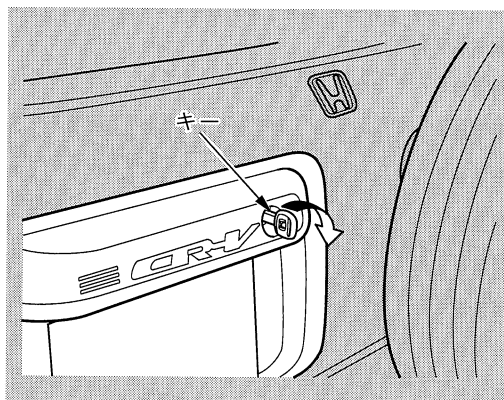
車内から行う場合 (テールゲートオープナー)

運転席ドアにある解錠ボタン(テールゲートオープナー)を押します。



車外から行う場合

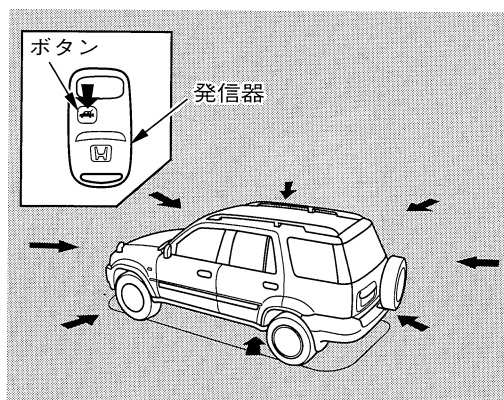
キーを確実に差し込んで矢印の方向に回すと解錠できます。



● キーレステールゲートオープナー

タイプ別装備

キーレスエントリー用発信器を使って行います。発信器のボタンを約1.5秒押し続けるとテールゲートが解錠されます。



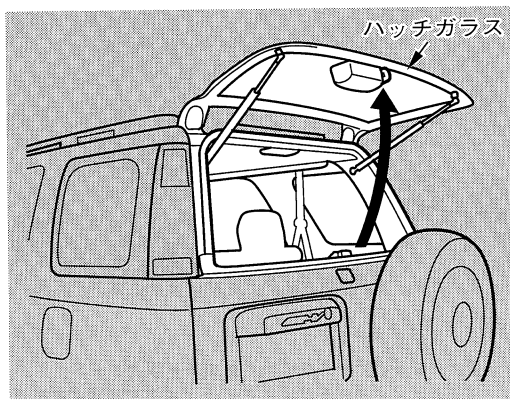
キーレスエントリー →34ページ

●開けかた

ハッチガラス

解錠すると、少し浮きあがるので静かに引き上げて開けます。

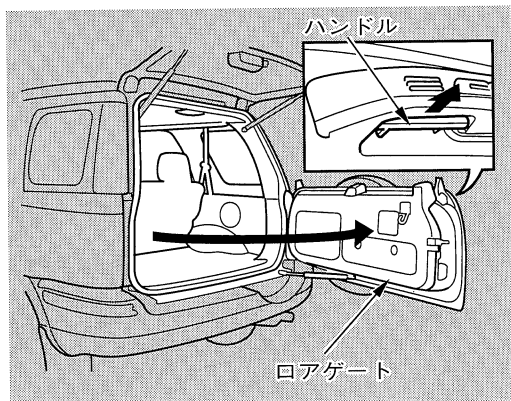
いっぱい開いてお使いください。



ロアゲート

①ハッチガラスを開けます。

②ハンドルを引き、静かに開けます。



●閉めかた

先にロアゲートを閉めてからハッチガラスを閉めます。

ロアゲート

ロアゲートを静かに動かし、手で押さえつけるように閉めます。

ロアゲートが完全に閉まっていることを確認します。

ハッチガラス

①ロアゲートを閉めます。

②ハッチガラスを静かに下げ、手で押さえつけるように閉めます。

ハッチガラスが完全に閉まっていることを確認します。

⚠ 注意

- テールゲートを閉めるときは手などはさまないように注意してください。
- エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないでください。
やけどなど思わぬけがをすることがあります。

📖 知識

- テールゲートを開けたまま走行しないでください。車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- 風の強いときや坂道などでテールゲートを開けると、ロアゲートが急に開いたり閉まることがあります。
安全のため、開閉は必ずゆっくり行ってください。
- テールゲートの破損を防ぐために、次のことに十分気をつけてください。
 - ・ ハッチガラスは、必ずロアゲートが完全に閉まっている状態で、またスベアタイヤの上などに荷物等がないことを確認してから閉めてください。
 - ・ ロアゲートの開閉は、ハッチガラスがいったいに開いている状態で行ってください。
 - ・ 開いているロアゲートに寄りかかるなどの大きな力を加えないでください。

燃料補給口

燃料補給口は車の左側後方にあります。
使用燃料：無鉛ガソリン
タンク容量：58ℓ

⚠ 警告

- 燃料補給時は火気厳禁です。
燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
 - ・ エンジンは必ず止めてください。
 - ・ たばこなどの火気を近づけないでください。

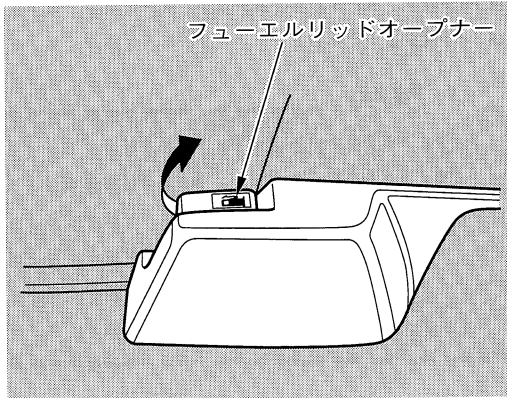
⚠ 注意

- キャップはゆっくり開けてください。
急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

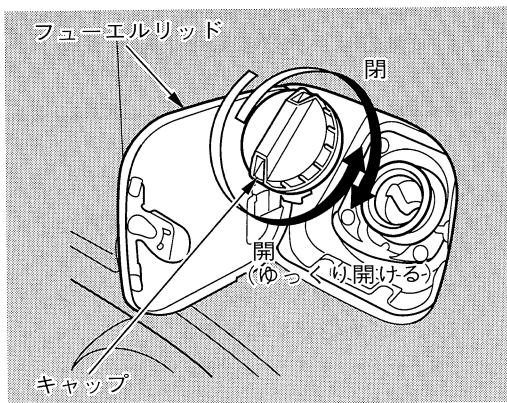
🚗 アドバイス

- 有鉛ガソリンを使うと、触媒装置などを損ないます。また、粗悪ガソリンや不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

- **フューエルリッドの開けかた**
運転席右下にあるフューエルリッドオープナーを引き上げるとリッドが開きます。



- **キャップの開閉**



- **閉めるとき**

キャップを“カチッ”という音が2回以上するまで締め付けます。フューエルリッドは手で押さえつけなければ閉まりません。

🎓 知識

- キャップが確実に閉まっていることを確認してください。
確実に閉まっていなかったら走行中に燃料がもれたりすることがあります。

パワーウィンドー

エンジンスイッチが“II”のとき使えます。
開閉は、それぞれのドアにあるスイッチで操作します。

- 運転席スイッチは、助手席および後席ウィンドーも操作できます。

●運転席ウィンドーの開閉

開けるとき

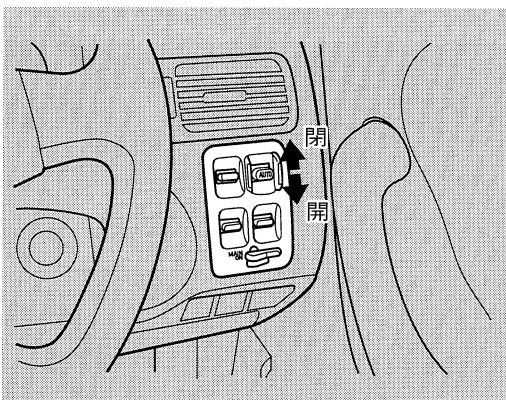
スイッチを軽く下側に押ししている間、作動します。

強く押すと、自動で全開します。

閉めるとき

スイッチを軽く上側に押ししている間、作動します。

強く押すと、自動で全閉します。



自動開閉中にウィンドーを停止させるときは、スイッチを作動方向とは逆へ軽く操作します。

●運転席以外のウィンドーの開閉

メインスイッチを“ON”にしてから、スイッチを操作します。

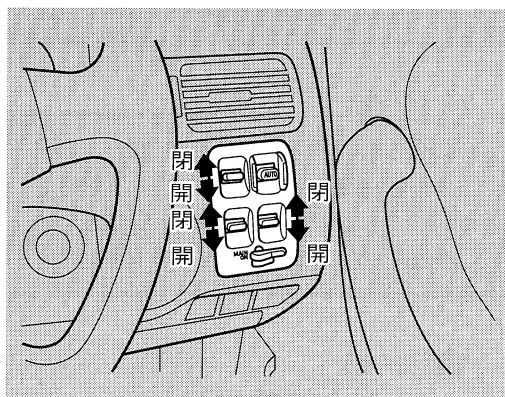
開けるとき

スイッチを下側に押ししている間、作動します。

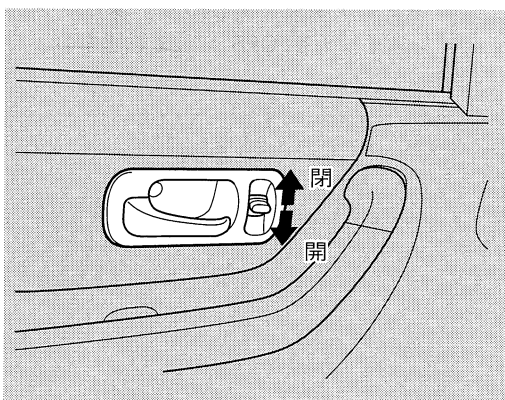
閉めるとき

スイッチを上側に押ししている間、作動します。

• 運転席ドアスイッチ



• その他のドアスイッチ



運転席以外のウィンドーを動かしたくないとき(メインスイッチ)

メインスイッチを“OFF”にしておけば、運転席以外のウィンドーは作動しません。

警告

- パワーウィンドーを閉めるときは、手やくびなどをはさまないようにしてください。
ドアガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。
特にお子さまには気をつけてください。

注意

- 車から離れるときはキーを抜き、お子さまも一緒に連れて行ってください。
いたずらなど誤った操作をして思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- ウィンドーの開閉はお子さまではなく大人が操作するようにしてください。
- 小さなお子さまが同乗しているときは、お子さまが誤って操作しないよう、メインスイッチを“OFF”にしておきましょう。

サンルーフ 注文装備

●サンシェード(遮光板)

サンシェードは手動で開閉します。
サンルーフを開ける場合は同時に作動します。
サンルーフが開いた状態ではサンシェードは全開できません。

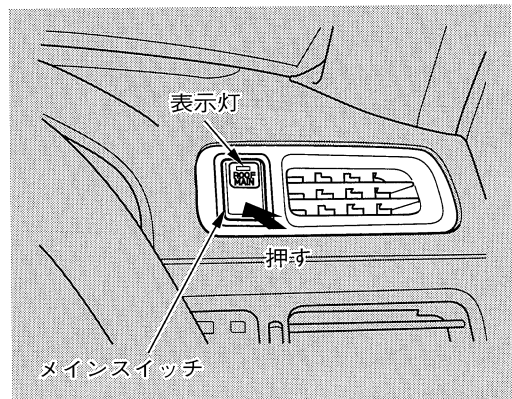
知識

- サンシェードは全開か全閉の位置で使ってください。途中で止めて使うと、走行中の振動で音が出る場合があります。

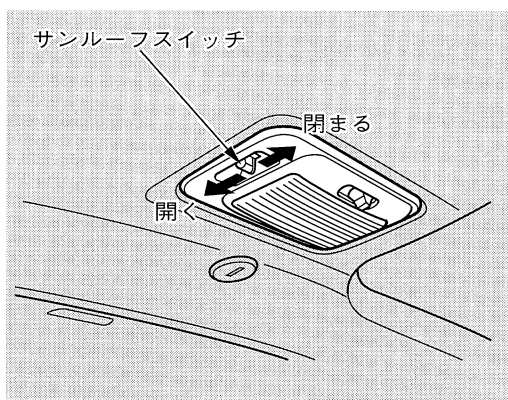
●開閉

エンジンスイッチが“II”のとき開閉できます。

- ①メインスイッチを押すと“ON”になり、スイッチ内の表示灯が点灯します。



- ②サンルーフスイッチを押している間、作動します。



スイッチを押し続けると、途中で自動的に停止します。全開または全閉するときは、一度スイッチから手を離し再度スイッチを押します。

⚠ 警告

- サンルーフを閉めるときは、手やくびなどをはさまないようにしてください。サンルーフにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

⚠ 注意

- 走行中または一時停止時にルーフ開口部から頭や手、物などを出さないでください。思わぬ障害物や急ブレーキをかけたときなどに事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- サンルーフやルーフ開口部の縁に腰をかけたリ荷物に乗せるなどの大きな力を加えないでください。サンルーフが破損するおそれがあります。
- 降雪時、厳寒時などには凍結することがあります。このような場合は故障の原因となるので作動させないでください。
- サンルーフが全開または全閉後は作動スイッチを押し続けしないでください。故障の原因となります。
- サンルーフが作動しないとき

→161ページ

📖 知識

- 車から離れるときや洗車のときは、サンルーフが完全に閉まっていることを確かめてください。
- 降雨後や洗車後はルーフ上の水を除去してから開けてください。また、積雪時にはルーフ上の雪を除去してから開けてください。室内に水や雪が入るおそれがあります。
- サンルーフを全開にして走行すると、風切音が大きくなる場合があります。高速走行などのときは、サンルーフを全開するときに一度停止する位置でお使いください。

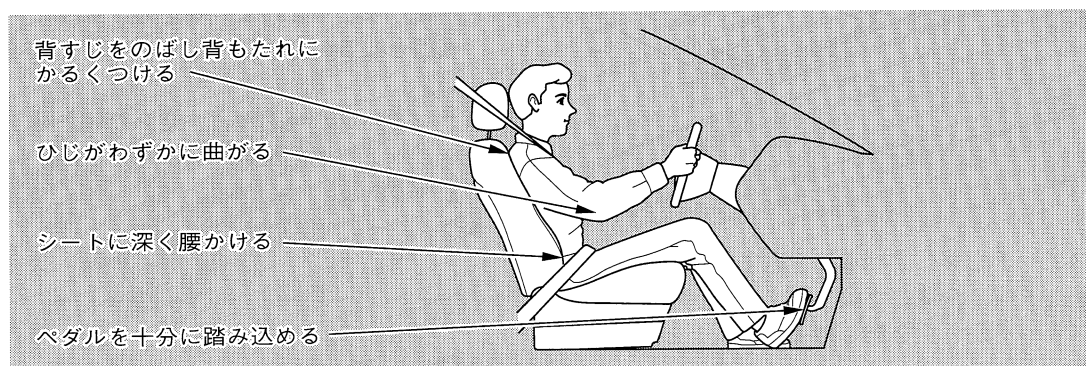
シートの調節

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる姿勢をいいます。

同乗者も、シートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。助手席は、インストルメントパネルに顔や胸が必要以上に近づかないように、シートを後ろに下げます。



⚠ 警告

- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグシステム装備車は、エアバッグが必要以上に近づくと、エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - ・ 運転者は正しい運転姿勢がとれる範囲で、シートを後ろに下げてください。
 - ・ 助手席同乗者はインストルメントパネルに近づかないように、シートを後ろに下げてください。

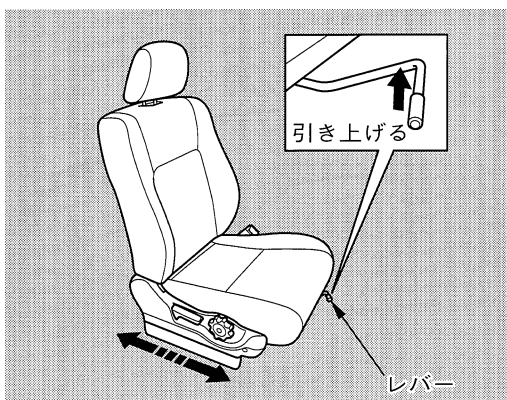
⚠ 注意

- 走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、固定されていることを確認してください。
- 背もたれと背中の中にクッションなどをいれないでください。正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- シートを操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足などをはさまないように十分注意してください。
- シートアンダーボックス以外の前席シートの下に物を置かないでください。物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

前席シート

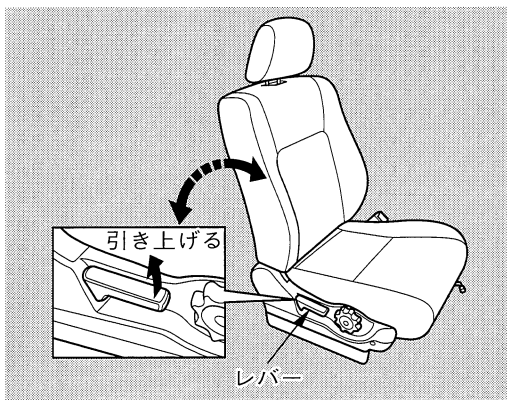
●前後位置の調節

レバーを引き上げながら、前後にシートを動かして調節します。



●背もたれの調節

レバーを引き上げながら、背もたれの角度を調節します。



●高さの調節(運転席のみ)

タイプ別装備

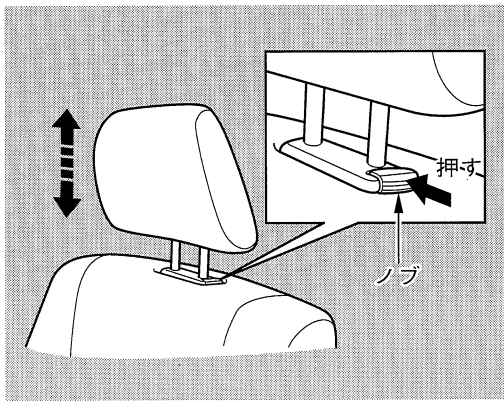
ダイヤルを回すと、シートの高さが調節できます。



●ヘッドレストの調節

高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。

走行する前にヘッドレストの上端が耳の上端と同じ高さかそれ以上になるように調節し、確実に固定します。



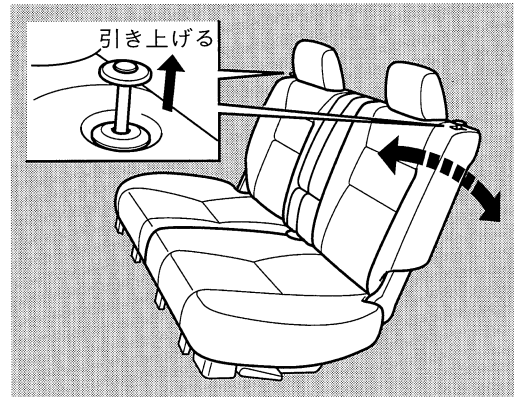
⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ず正しい位置に調節してください。

後席シート

●背もたれの調節

ノブを引き上げながら、背もたれの角度を調節します。

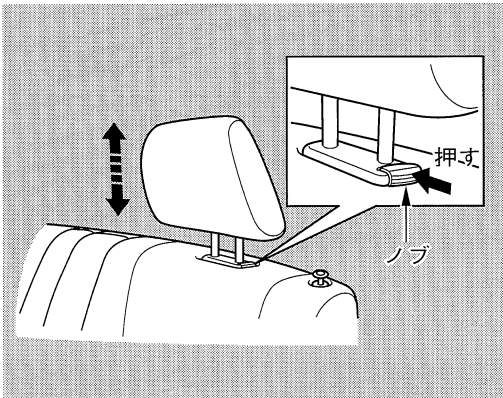


片側ずつ独立して行えます。

●ヘッドレストの調節

高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。

走行する前にヘッドレストの上端が耳の上端と同じ高さかそれ以上になるように調節し、確実に固定します。

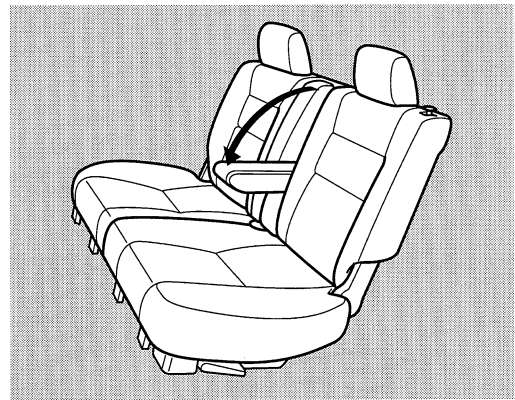


⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ず正しい位置に調節してください。

●アームレスト

前に倒して使用します。



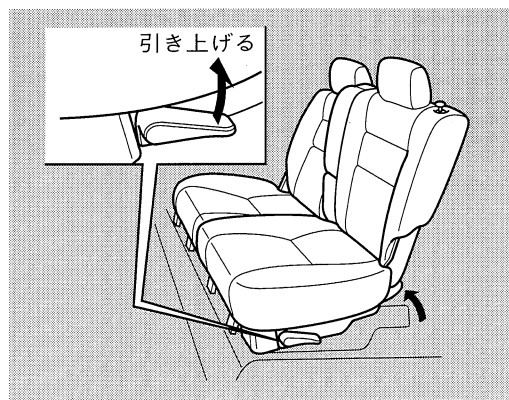
片側ずつ独立して行えます。

フルフラットシート

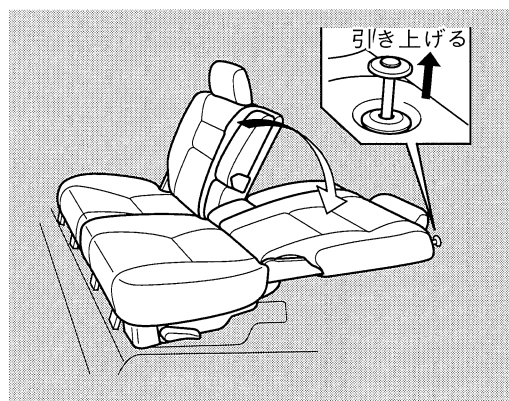
前席シートと後席シートをフルフラットにできます。

片側ずつ独立して行えます。

- ①片手でレバーを上を引ながら、もう片手で後席シート全体を固定するまで持ち上げます。

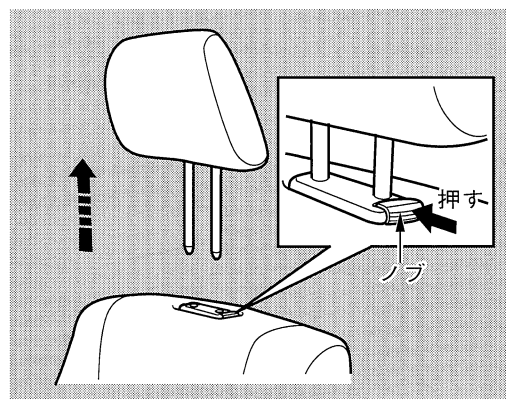


- ②ノブを引き上げながら、背もたれを後ろに倒して固定します。

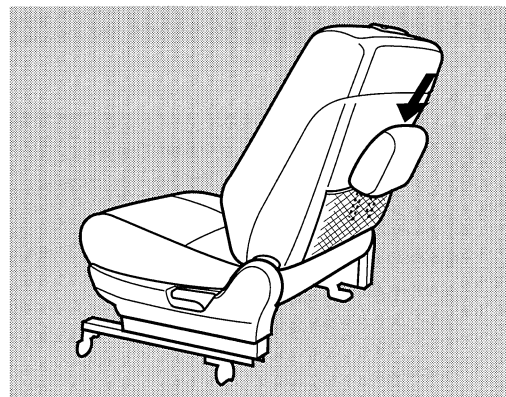


必要に応じて、前席シートの背もたれを倒します。

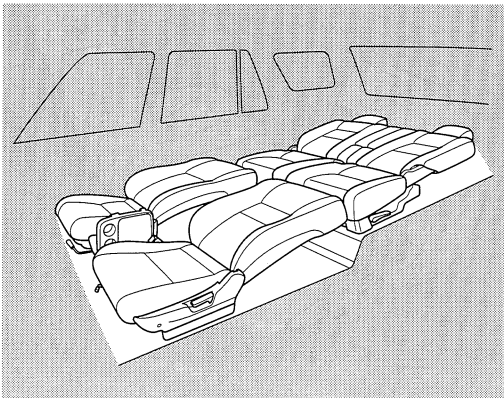
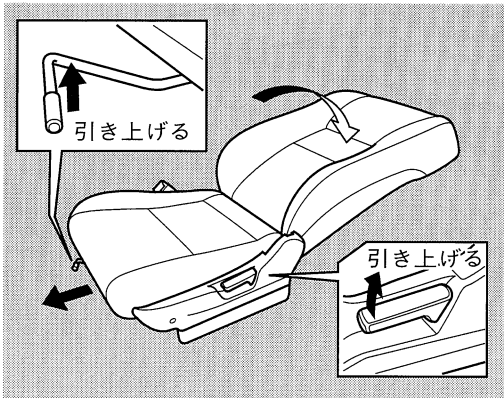
- ①ノブを押してヘッドレストを外します。



- ②シートバックポケット装備車は、外したヘッドレストを図のように収納します。



- ③前後位置調節レバーを引き上げて前席シートを前方いっぱいに変かし、背もたれ調節レバーを引き上げて背もたれを後ろへ倒して固定します。



元に戻すときは逆の手順で行います。

⚠ 注意

- フルフラットや後席シート全体を持ち上げた状態で、人や荷物などを乗せたまま走行しないでください。ブレーキをかけたときなどに、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フルフラット状態で、シートの上を走り回らないでください。また、シートの上を移動するときは、シートの中央を踏んでゆっくりと移動してください。シートの端を踏むと足を踏み外すおそれがあります。
- 操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意してください。

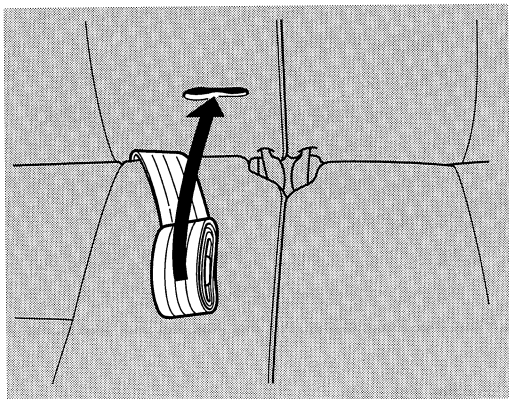
📖 知識

- フルフラットにしたときや元に戻したときは、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

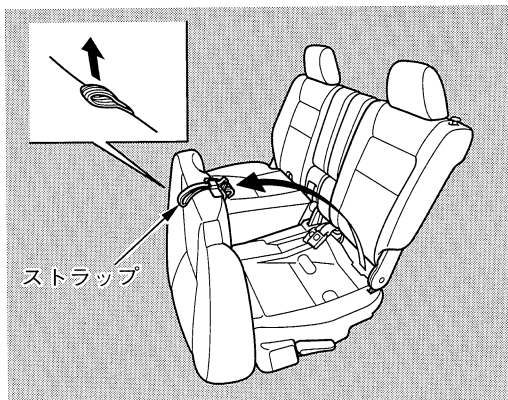
荷室の作りかた

後席シートを倒して荷室を広くできます。
片側ずつ独立して行えます。

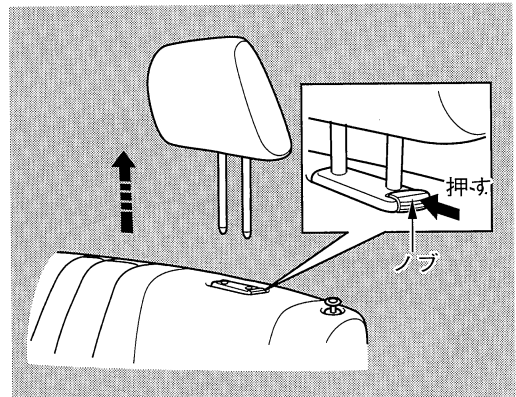
- ①中央席用のシートベルトのタングプレート側を図のようにして収納します。



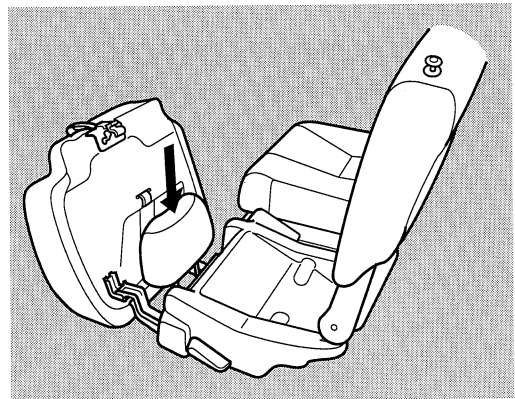
- ②ストラップを上へ引いてシートクッションを前方に起こします。



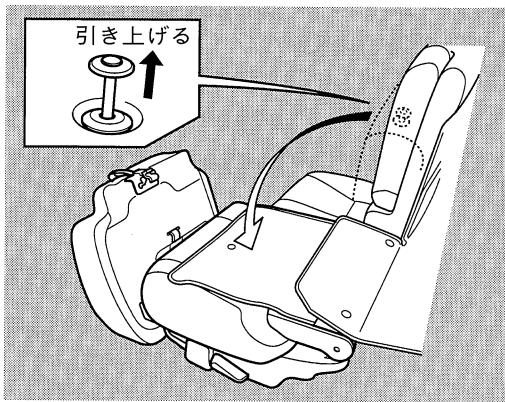
- ③ノブを押してヘッドレストを外します。



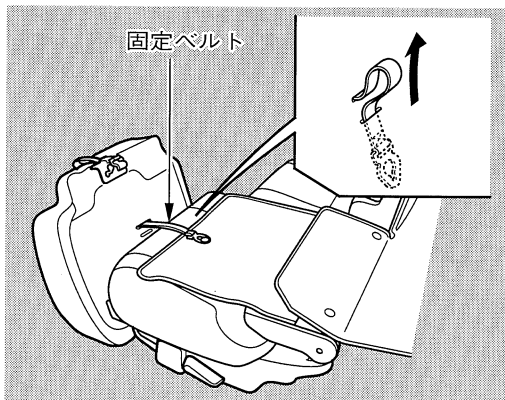
- ④外したヘッドレストをシートクッションの後側に収納します。



- ⑤ノブを引き上げながら、背もたれを前方に倒します。



- ⑥固定ベルトをシートクッションの裏側から取り出し、背もたれ裏側のフックにかけます。



元に戻すときは逆の手順で行います。

⚠ 注意

- 操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意してください。

🎓 知識

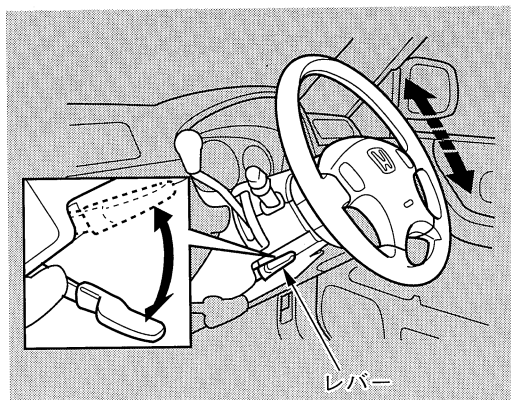
- シートを元に戻すときは、シートベルトをはさみ込まないようにしましょう。はさまれると正しく着用できません。
- シートを元に戻したときは、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

ハンドル・ミラーの調節

チルトステアリング (上下調節式ハンドル)

ハンドルコラムの左にあるレバーを押し下げます。レバーを押し下げている間、ハンドルの高さを変えることができます。

ハンドルを適切な高さにしたら、そのままハンドルを押さえながら、レバーを元の位置まで確実に引き上げ、ハンドル高さを固定します。



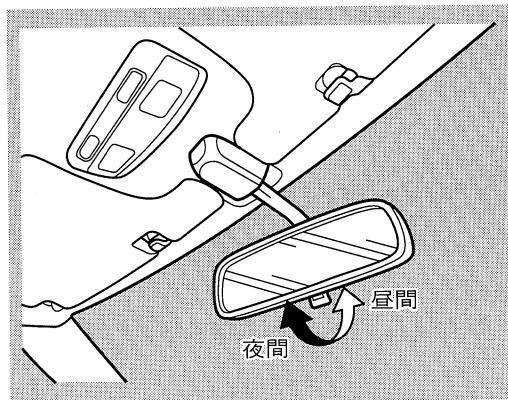
⚠ 注意

- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

調節は走行する前に行い、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。

バックミラー(後写鏡)

- ルームミラー(防眩式室内後写鏡)
夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにノブを夜間の位置に切り換えるとライトの反射が弱くなります。



角度調節はノブを昼間の位置にして行ってください。

🎓 知識

- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

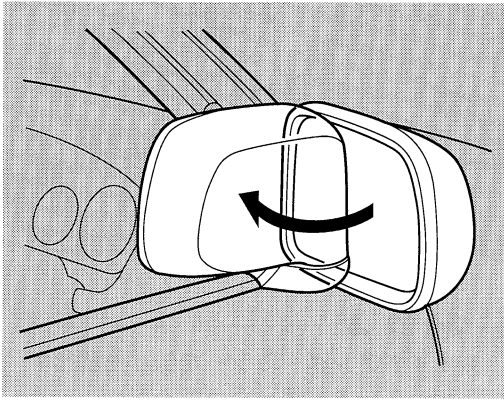
●ドアミラー

格納

・手動格納式

タイプ別装備

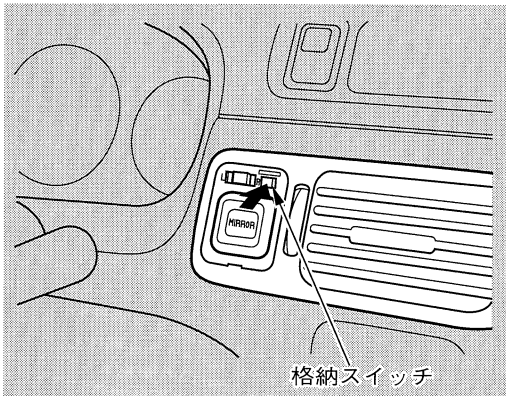
ミラーを折りたたむことができます。狭い所へ駐車をするときなどに便利です。走行するときは、必ず元に戻してください。



・電動格納式

タイプ別装備

エンジンスイッチが“II”のとき格納スイッチを押すと、左右のミラーがたたまれます。もう一度スイッチを押すと元の位置に戻ります。走行するときは必ず元に戻してください。



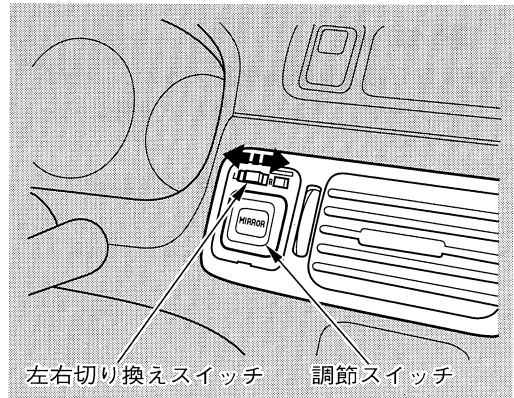
知識

- ミラーを格納したまま走行しないでください。また、走行中はミラーの調節を行わないでください。
- ミラーを格納するときは周囲の人の手などをはさまないようにしてください。

角度調節

エンジンスイッチが“II”のときスイッチを操作すると、ミラーの角度調節ができます。

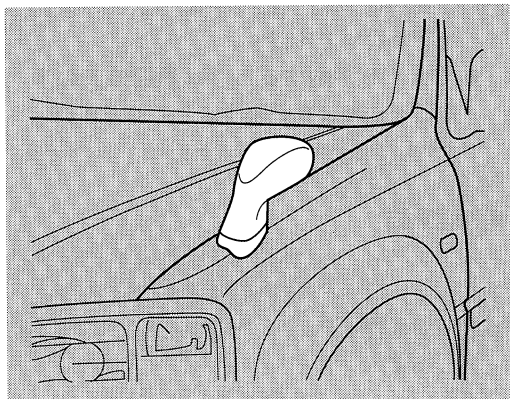
- ①左右切り換えスイッチを調節したい方に動かしします。
- ②調節スイッチで角度を調節します。



直接手でミラーを動かして角度を調節することもできます。

●サイドアンダーミラー

停車時や発進前などに車両左側助手席付近を確認するときに役立ちます。



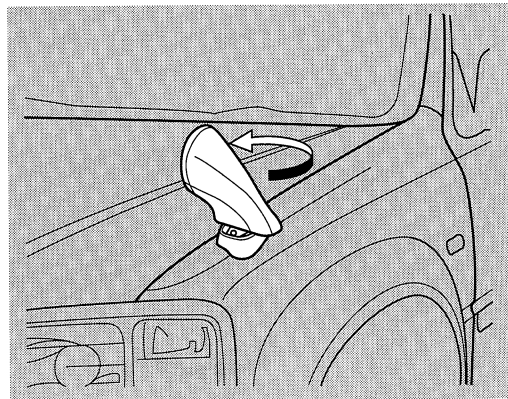
📖 知識

- 後方の確認は直接確認するか、ルームミラーやドアミラーなどで十分に行ってください。
- サイドアンダーミラーの角度調節はできません。

格納

サイドアンダーミラーを折りたたむことができます。

走行するときは、必ず元に戻してください。



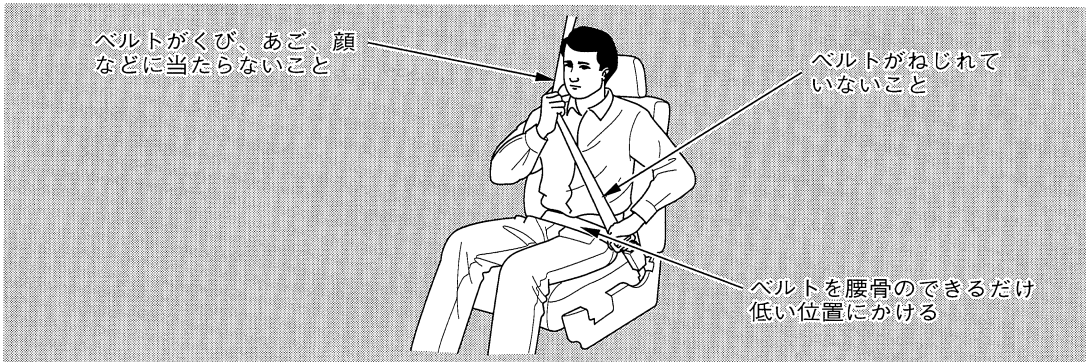
📖 知識

- サイドアンダーミラーを倒した状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがミラーに当たり、ボンネットやミラーが損傷します。

シートベルト

シートベルトは、車を運転するまえに運転者は正しい運転姿勢で着用し、同乗者にも必ず着用させてください。

特に前席は、法律でも義務づけられています。



⚠ 警告

- シートベルトは全員が着用してください。
着用しないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートなどをお使いください。
お子さまを抱えていても、衝突したときなどに支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けたり死亡するおそれがあります。

⚠ 注意

- シートベルトを正しく着用していないと本来の機能をはたさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
 - ・ ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。
ベルトが腰骨からずれていると腹部などに強い圧迫を受けます。
 - ・ ベルトはねじれがないように着用してください。
ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、局部的に強い力がかかります。
 - ・ ベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用してください。
 - ・ 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。
 - ・ 三点式シートベルトは腕の下に通して着用しないでください。
ベルトが肩に十分かかっていないと前方に投げ出されるおそれがあります。
 - ・ ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけないでください。
- 妊娠中の女性や疾患のあるかたのベルトの着用は、万一のとき腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがありますので、医師にご相談ください。

●三点式シートベルト

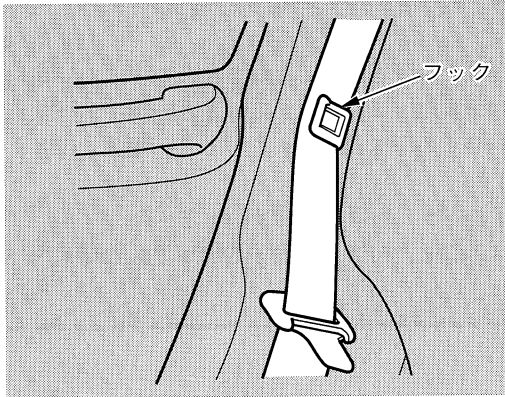
体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

シートベルト警告灯、ブザー

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでメーター内のシートベルト警告灯が点灯し続けます。運転席シートベルトを着用しないでエンジンスイッチを“II”にすると、ブザーが約6秒間鳴ります。

シートベルトフック

後席の背もたれを倒すときは、シートベルトをフックにかけておきます。



知識

- 後席シートベルトのショルダーアンカー一部のガイドを引っばったりして、強い力をかけないでください。ガイドが変形することがあります。

●二点式シートベルト

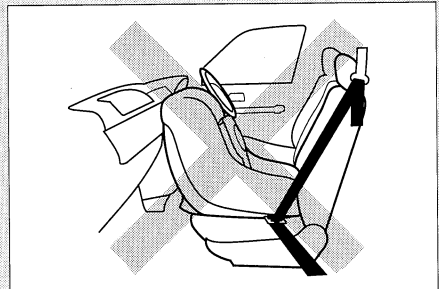
体にあわせてベルトの長さを調節します。

●お子さまを乗せるときは

- ・お子さまは、後席に乗せシートベルトを着用させてください。ただし、装備されているシートベルトは大人用ですので、ベルトがくびやあごに当たる場合や腰骨にかからない場合は、チャイルドシートやジュニアシートを使用してください。シートベルトをそのまま使うと、衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。また、ひとりですわることのできない小さなお子さまはベビーシートを使用してください。

警告

- 助手席用SRSエアバッグシステム装備車の助手席には、ベビーシートを取り付けたり、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。エアバッグが膨らむ際、ベビーシートやチャイルドシートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。また、やむをえず前向きに取り付ける場合は、エアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



知識

- ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートは、お子さまの体重や身長によりお使いになれるタイプや取り付け方法が異なります。ご購入、ご使用に際してはホンダ販売店にご相談ください。

《選択の目安》

	体重(kg)	身長(cm)	参考年齢
ベビーシート	~10	~75	~12か月
チャイルドシート	7~16	65~100	4か月~4才
ジュニアシート	15~32	100~135	4才~10才

●シートベルトの取り扱い、手入れ

- ・ベルトを着用した状態で万一、事故にあった場合は機能を損なっている可能性があるため、ベルト一式を交換してください。また、ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどができたときも交換してください。
- ・シートベルトを十分に機能させるために、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。
- ・ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたしてふき取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないでください。ベルトを弱めます。

着用のしかた

●三点式シートベルト

- ①正しい運転姿勢でシートにすわります。
(→44ページ)
- ②タンゲプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。



- ③ベルトにねじれがないようにし、タンゲプレートをバックルの中へ「カチリ」と音がするまで差し込みます。



- ④ベルトがねじれたり、引かなかったりしていないかを確認します。

- ⑤ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかか
るように引き、たるみがないように身体に
密着させます。



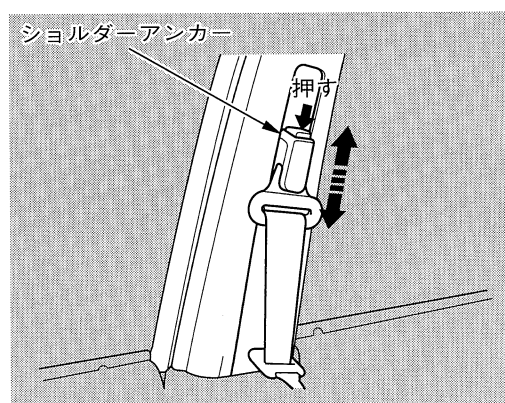
- ⑥外すときはバックルの“PRESS”ボタンを
押します。
ベルトが自動的に収納されますので、ひっ
かかったり、ねじれたりしていないかを確認
します。



ショルダーアンカーの高さ調節 (前席のみ)

座高に合わせて、ショルダーアンカーの高さ
を調節できます。

通常は最上段で使いますが、ベルトがくびに
当たったり肩から外れてしまうときに一段づ
つ下げて調節してください。

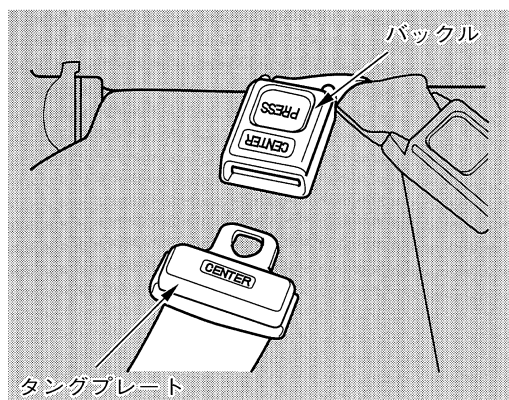


⚠ 注意

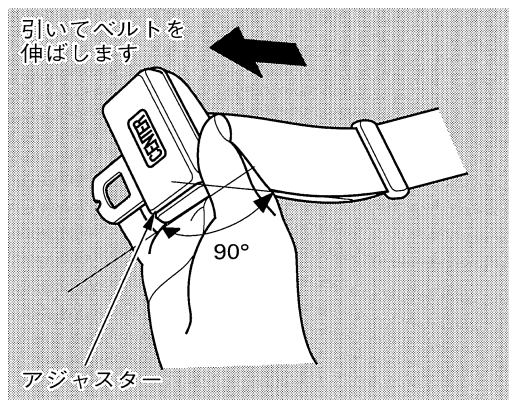
- 調節後は、ショルダーアンカーが確実に
固定されていることを確認してくだ
さい。

●二点式シートベルト

タンゲプレートを差し込む相手を間違えないようにしてください。タンゲプレートとバックルに“CENTER”(センター)の表示があります。



①アジャスターを図のようにし、ベルトを引いて必要な長さより少し長めにします。



②ベルトにねじれがないようにし、タンゲプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



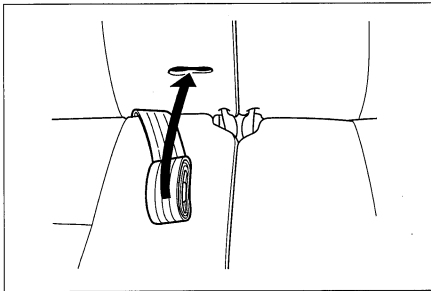
③腰骨にかかるようにベルトを図のように引き、腰部に密着させます。

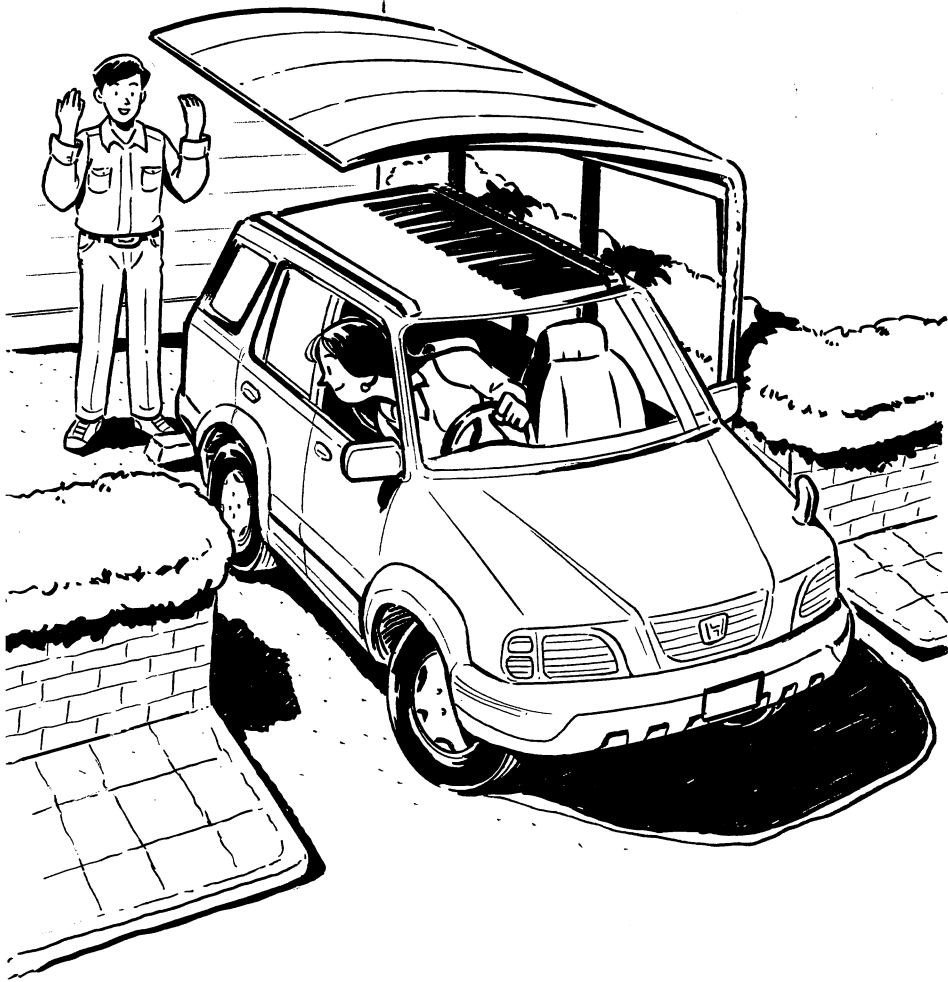


- ④外したベルトはタングプレートとバックルを結合しておきます。
外すときはバックルの“PRESS”ボタンを押します。

🎓 知識

- 後席の背もたれを倒すときなどは、タングプレート側を図のようにして収納します。





2

車を運転するときに

メーター.....62

表示灯.....64

警告灯.....66

警告灯の電球切れの点検.....70

スイッチの使いかた

エンジンスイッチ.....71

ライトスイッチ.....72

方向指示器スイッチ.....73

非常点滅表示灯スイッチ.....73

ワイパー/ウォッシャースイッチ.....74

リヤデフロスタースイッチ.....75

ホーンスイッチ.....76

エンジンのかけかた

エンジンをかける前に.....77

エンジンのかけかた.....78

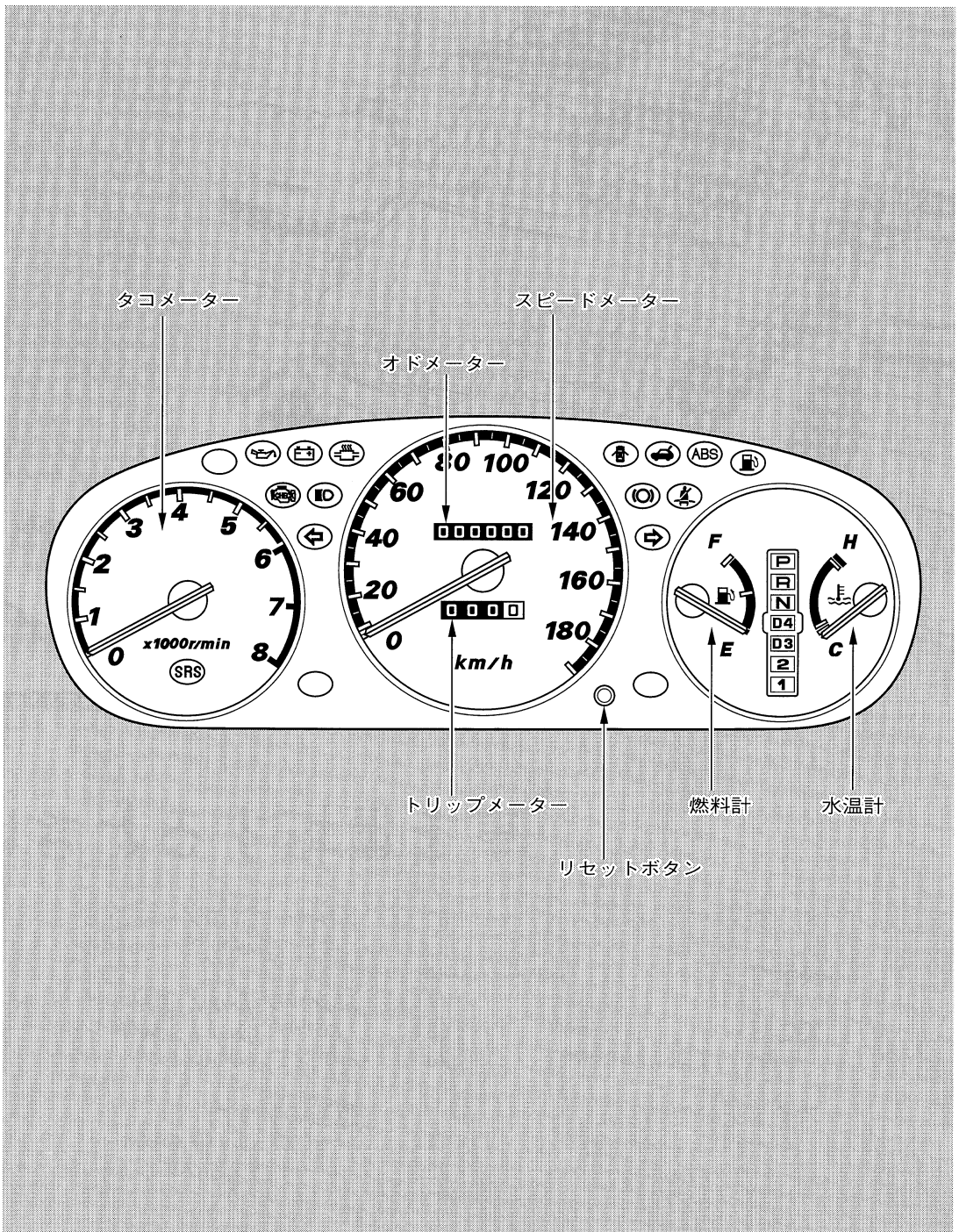
運転のしかた

セレクトレバーの操作.....79

オートマチック車の運転のしかた.....82

メーター

イラストは代表例を掲載しています。



スピードメーター

走行速度をkm/hで示します。

タコメーター

1分間あたりのエンジン回転数を示します。

アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。
限界回転数……………6,000 rpm

オドメーター

走行距離の累計をkmで示します。

トリップメーター

区間距離(km)を知りたいときは、リセットボタンを押して“0”に戻して使います。右端の数字は100m単位です。

燃料計

エンジンスイッチの位置に関係なく常に燃料の残量を示します。

“E”に近づいたら早めに補給してください。

燃料補給について →39ページ

知識

- 燃料補給後、エンジンスイッチを“II”にしてから正しい量を示すまで、しばらく時間がかかります。

水温計

エンジン冷却水の温度を示します。

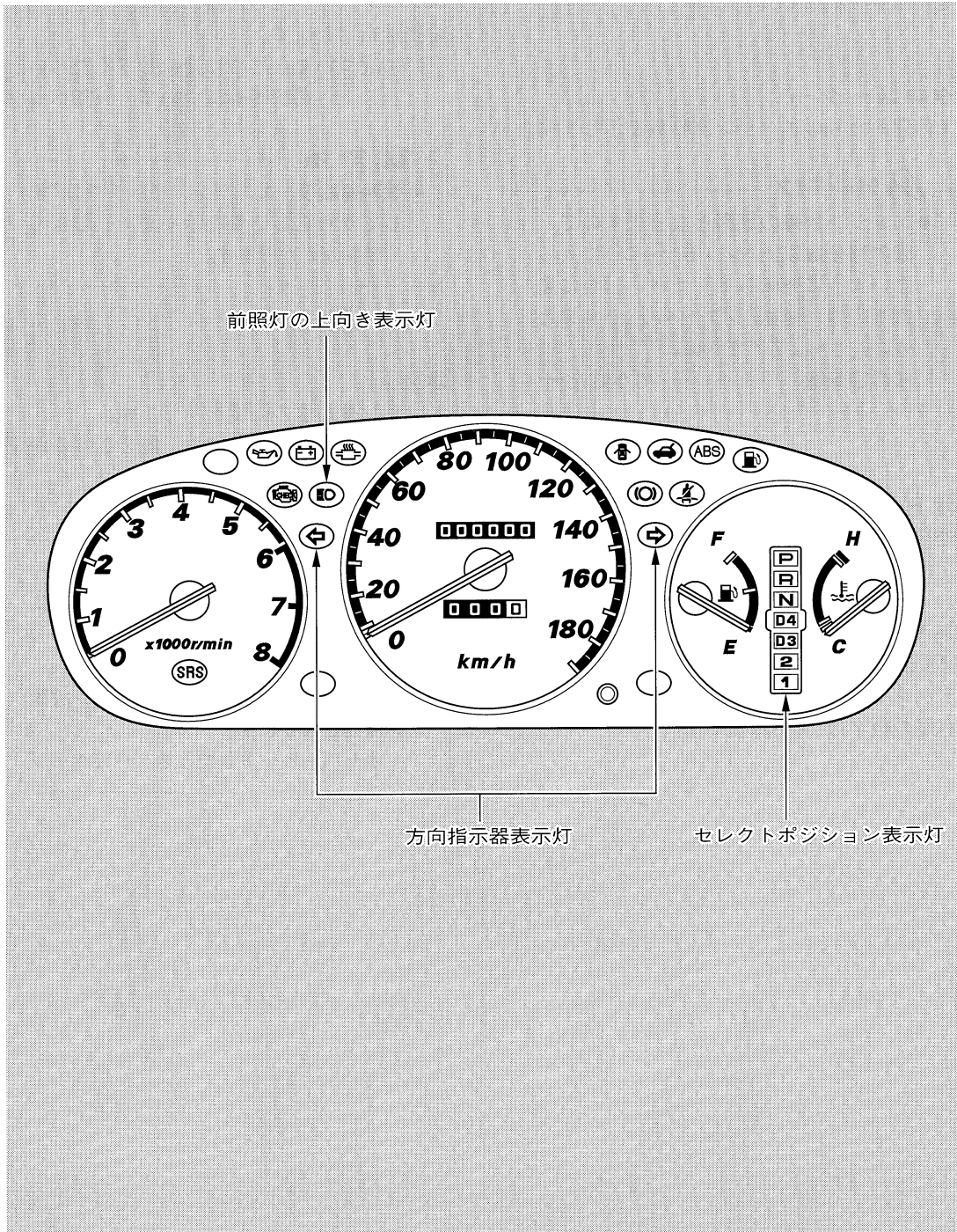
走行中は、“H”の目盛より下側をさすのが正常です。

アドバイス

- 針が“H”の目盛に入った場合はオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。
そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となります。
オーバーヒートしたとき →152ページ

表示灯

イラストは代表例を掲載しています。





方向指示器表示灯

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

知識

- 電球が切れたときや、ワット(W)数の違ったものを使ったときは、表示灯の点滅周期が異常になります。

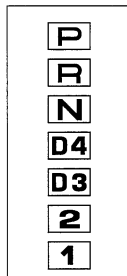
電球(バルブ)の交換 →158ページ

電球(バルブ)のワット数 →185ページ




前照灯の上向き(ハイビーム)表示灯

前照灯が上向きのときに点灯します。



セレクトポジション表示灯 (トランスミッション警告灯兼用)

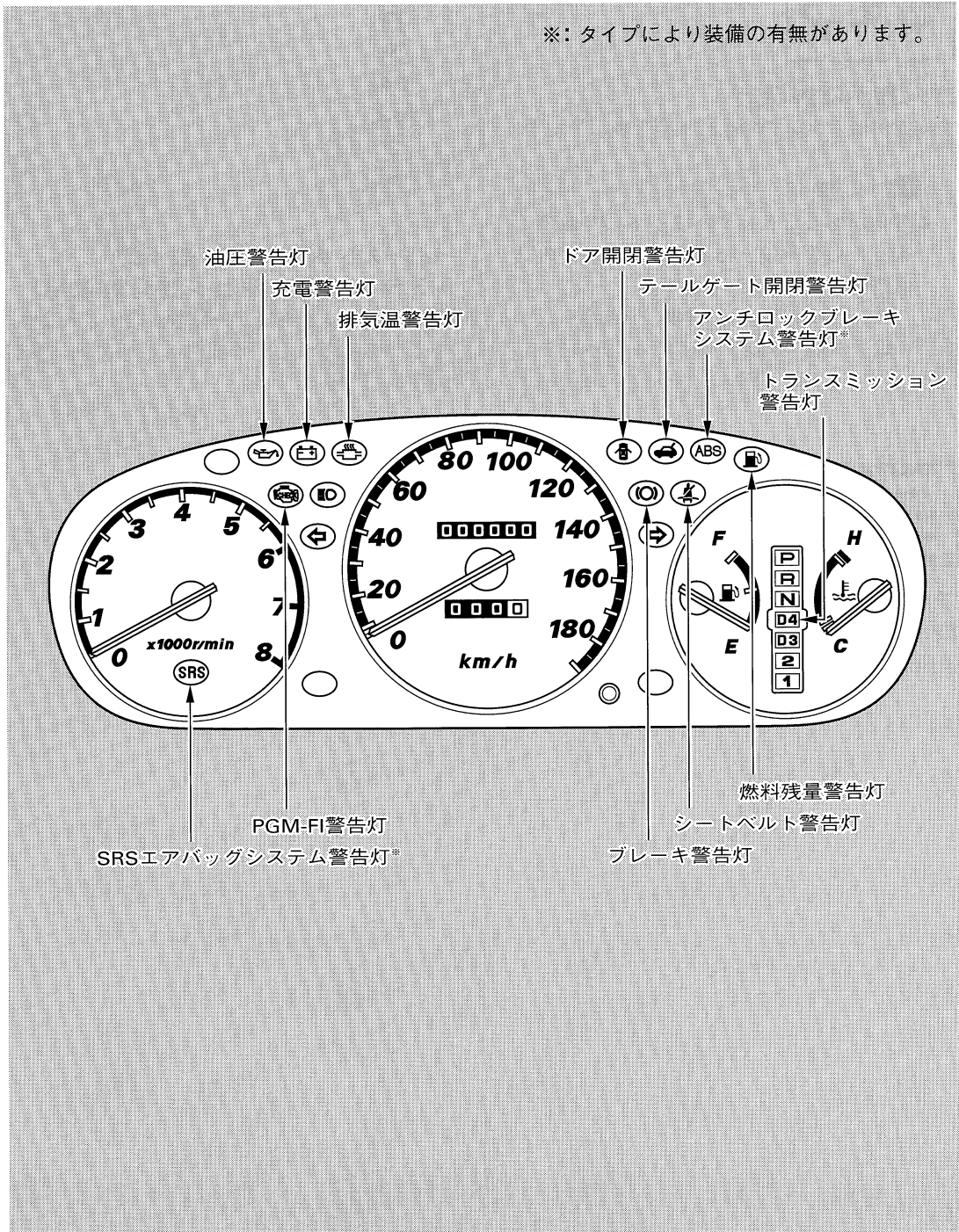
使用中のセレクトレバー位置が表示されます。トランスミッションが異常のときには、が点滅します。

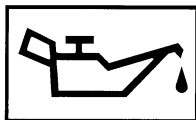
トランスミッション警告灯 →67ページ

警告灯

イラストは代表例を掲載しています。

※：タイプにより装備の有無があります。



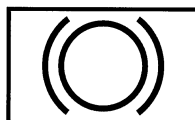


油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。

アドバイス

- エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。
エンジンオイルが減っていないのに点灯したときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにホンダ販売店へご連絡ください。
- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



ブレーキ警告灯

駐車ブレーキレバーが完全に戻っていないときやブレーキ液量がいちじるしく減少しているときに点灯します。

アドバイス

- 走行中点灯したときや駐車ブレーキを解除しても消灯しないときは、ブレーキ液量を点検し、下限より下がっていたらただちにホンダ販売店へご連絡ください。
- ブレーキ液量が下限以下になっていないのに点灯するときや、駐車ブレーキをかけても点灯しないときは、お早めにホンダ販売店で点検を受けてください。

D4

トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯兼用)

トランスミッションが異常のときに点滅します。

アドバイス

- 運転中に点滅したときは、急発進、急加速を避けてただちにホンダ販売店で点検を受けてください。

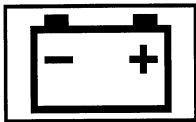


PGM-FI警告灯

エンジン制御システムが異常のときに点灯します。

アドバイス

- 運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにホンダ販売店で点検を受けてください。

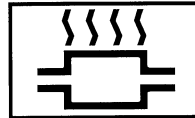


充電警告灯

充電システムが異常のときに点灯します。
(排気温警告灯も同時に点灯します。)

アドバイス

- 運転中に点灯した場合は、電気の消費を減らすため、ヒーター・エアコンスイッチ、リヤデフロスタースイッチを“OFF”にして、ただちにホンダ販売店で点検を受けてください。



排気温警告灯

触媒装置の温度が異常に高いときに点灯します。

知識

- 充電警告灯が点灯すると排気温警告灯も同時に点灯します。この場合は充電システムの異常を知らせています。

走行中に点灯したときは、枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10分以上エンジンを止めて、冷えるまでお待ちください。

アドバイス

- 警告灯が点灯した状態で運転は続けしないでください。触媒装置を焼損することがあります。
- 走行中に一度点灯した警告灯は、触媒装置の温度が下がっても修理するまで消灯しません。
触媒装置保護のため、急発進、急加速などの無理な運転を避け、50km/h以下の速度で、最寄りのホンダ販売店まで走行し点検を受けてください。

**シートベルト警告灯**

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまで点灯し続けます。運転席シートベルトを着用しないでエンジンスイッチを“II”にすると、ブザーが約6秒間鳴ります。

**燃料残量警告灯**

燃料タンク内のガソリン残量が9 l 前後になったときに点灯します。

燃料の補給 →39ページ

**ドア開閉警告灯**

ドアが完全に閉まっていないときに点灯します。
ドアを完全に閉めてください。

**テールゲート開閉警告灯**

テールゲートが完全に閉まっていないときに点灯します。
テールゲートを完全に閉めてください。

SRS

SRSエアバッグシステム警告灯

SRSエアバッグシステム装備車

SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

→93ページ

ABS

アンチロックブレーキシステム (ABS) 警告灯

ABS装備車

ABSが異常のときに点灯します。

→95ページ

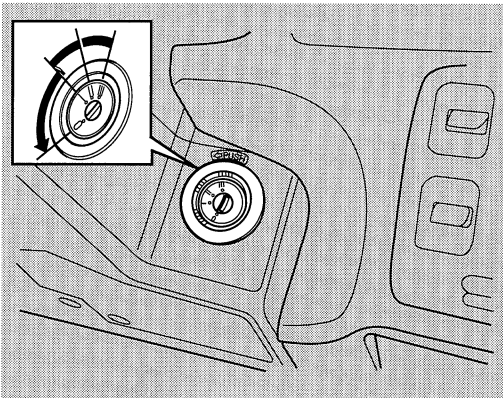
警告灯の電球切れの点検

エンジンスイッチを“II”にしたとき、下記の警告灯類が点灯するのが正常です。

- 油圧警告灯
(エンジン始動後消灯)
- ブレーキ警告灯
(駐車ブレーキレバーを完全に戻すと消灯)
- トランスミッション警告灯
(数秒後消灯)
- PGM-FI警告灯
(数秒後消灯)
- 充電警告灯
(エンジン始動後消灯)
- 排気温警告灯
(エンジン始動後消灯)
- SRSエアバッグシステム警告灯
(約6秒後消灯)
- アンチロックブレーキシステム
(ABS)警告灯
(数秒後消灯)

スイッチの使いかた

エンジンスイッチ



0

キーを抜き差しする位置です。
“I”でキーを押し込んで“0”まで回してキーを抜けば、ハンドルは固定されます。

I

エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリを使用するときの位置です。

II

運転するときの位置です。

III

エンジン始動位置です。
始動したら、キーから手を離してください。自動的に“II”に戻ります。

“0”から“I”にキーが回らないとき
ハンドルを左右に回しながらキーを回せば容易に回ります。

知識

- エンジンを止めた状態で“II”のまま、長時間放置しないでください。
バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 車から離れるときは、バッテリー保護のため必ず“0”にしてください。

●キー抜き忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“I”または“0”でキーを差し込んだまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りキーの抜き忘れを知らせます。

●キーインターロックについて

キーを抜くときは、セレクトレバーをⓂに入れます。

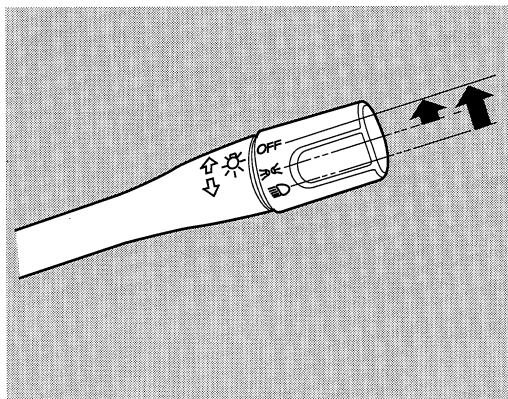
知識

- セレクトレバーがⓂ以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

ライトスイッチ

●ライトの点灯・消灯

エンジンスイッチの位置に関係なく次のように点灯、消灯します。



ライト名 スイッチ位置	前照灯	計器類照明灯 車幅灯・尾灯 番号灯
OFF	—	—
☀	—	点灯
☀	点灯	点灯

📖 知識

- エンジンが止まっている状態で、ライト類を点灯したままにしないでください。バッテリーあがりの原因となります。

●ライト消し忘れ警告ブザー

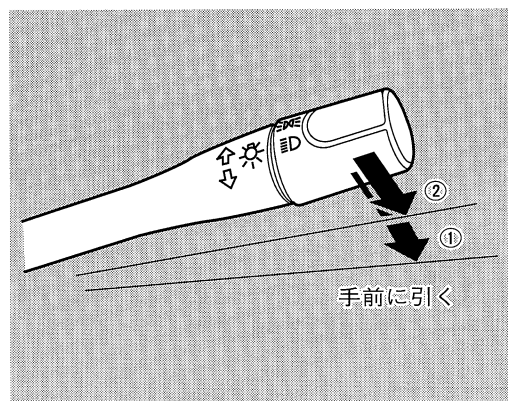
エンジンスイッチが「I」または「0」で、ライトを消し忘れたまま車を離れようとしたとき（運転席ドアを開けたとき）、ブザーが鳴りライトの消し忘れを知らせます。

●前照灯の上向き（ハイビーム）と下向き（ロービーム）の切り換え

レバーを①の位置まで引くと上向き下向きの切り換えができます。遠くまで照らしたいとき上向きにします。表示灯が点灯して上向きであることを知らせます。

前照灯の上向き（ハイビーム）表示灯

→65ページ



📖 知識

- 対向車のあるときや市街地走行など、上向きが不適切なときは下向きにします。

●追越合図

レバーを軽く②の位置まで引いている間、前照灯の上向きが点灯します。先行車に合図を送るときなどに使います。

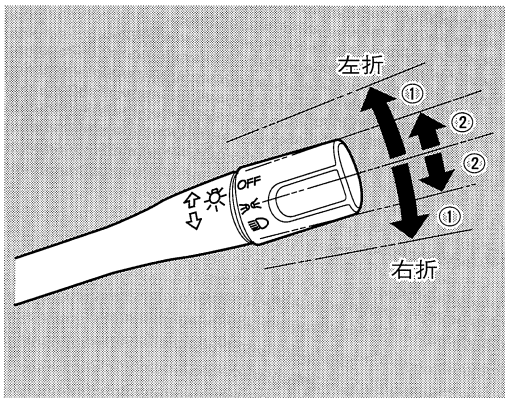
ライトスイッチの位置に関係なく使えます。

📖 知識

- 前照灯が上向き（ハイビーム）のときは作動しません。

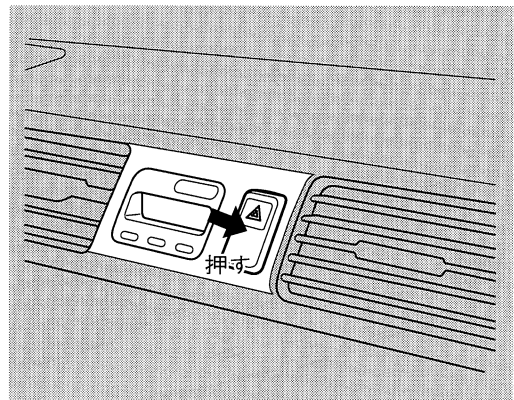
方向指示器スイッチ

エンジンスイッチが「II」のとき使えます。
ふだんは①の位置で使います。
この位置ではハンドルの切り角が小さいときには戻らない場合もあります。戻らないときは手で戻してください。
車線変更などでは②の位置に軽く手で押さえながら使います。



非常点滅表示灯スイッチ

スイッチを押すとすべての方向指示器のランプが点滅します。
故障でやむをえず路上駐車するとき使います。



知識

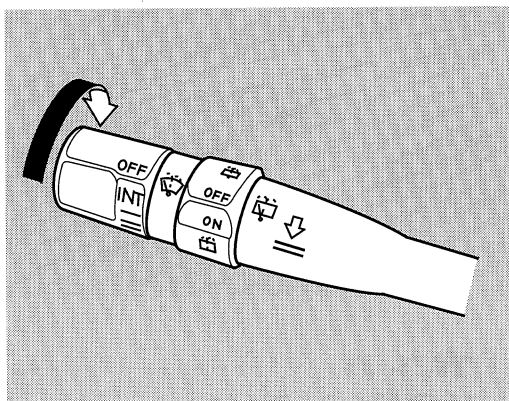
- 非常時にのみお使いください。
完全充電の新しいバッテリーでも約2時間以上使うとバッテリー容量が低下し、エンジンの始動ができなくなります。

ワイパー／ウォッシャー スイッチ

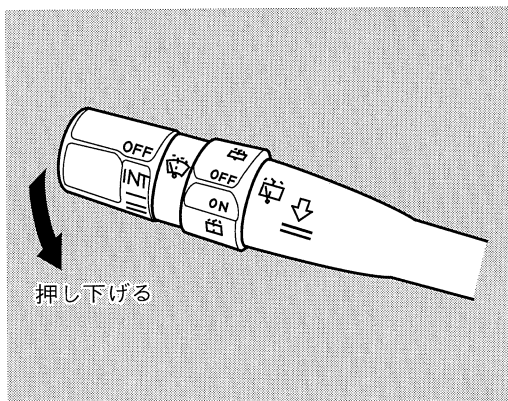
エンジンスイッチが“II”のとき使えます。

●前面ガラス

ワイパースイッチ



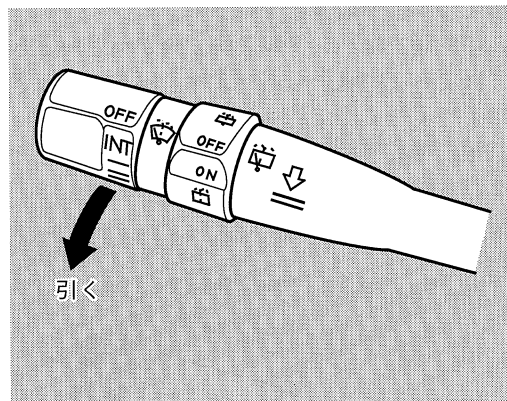
- OFF……………停止
- INT(間欠)……………雨量の少ないとき
- (低速)……………普通雨量のとき
- =(高速)……………雨量の多いとき



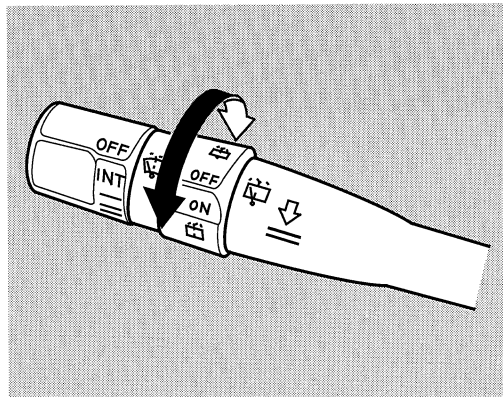
レバーを押し下げている間、高速で作動します。
霧や小雨のときなどに使うと便利です。


ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。



●後面ガラス



- OFF……………停止
- ON……………ワイパーが作動します。
- ……………スイッチを回している間、ウォッシャー液が噴射します。

⚠ 注意

- 寒冷時は前面ガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。ウォッシャー液が凍りつき視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

デフロスター →102、107ページ

📖 知識

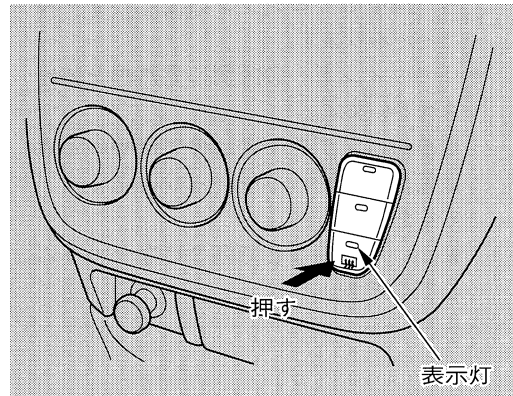
- 空ぶきをしないでください。ガラス面に傷をつけたり、ブレード(ゴム部)を傷めたりします。
- ウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを切ってください。ウォッシャー液がないまま動かすとポンプの故障の原因となります。
- 寒冷時、ブレード(ゴム部)がガラス面に張りつくことがありますのでヒーターで前面ガラスを暖めてください。凍りついたまま動かすとブレード(ゴム部)を傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。


デフロスター →102、107ページ

- ワイパーアームを起こした状態でワイパーを動かさないでください。立てたまま動かすと、ワイパーがガラスに強くあたりガラスが傷つくおそれがあります。

リヤデフロスタースイッチ

エンジンスイッチが“II”のとき使えます。リヤデフロスターはスイッチを押すと“ON”になり、同時に作動表示灯が点灯し後面ガラスが暖められ曇りが取れます。もう一度スイッチを押すと“OFF”になり、作動表示灯は消灯します。



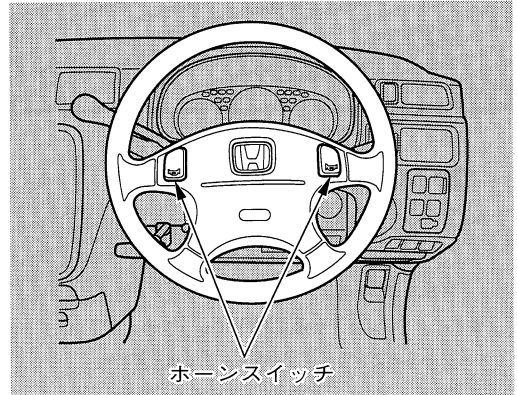
 知識

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたら“OFF”にしてください。“ON”のままであっても、一定時間経過後自動的に“OFF”になります。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- リヤウィンドーの内側に電熱線が装着されています。電熱線は傷つきやすいので清掃のときは電熱線に沿ってやわらかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。

ホーンスイッチ

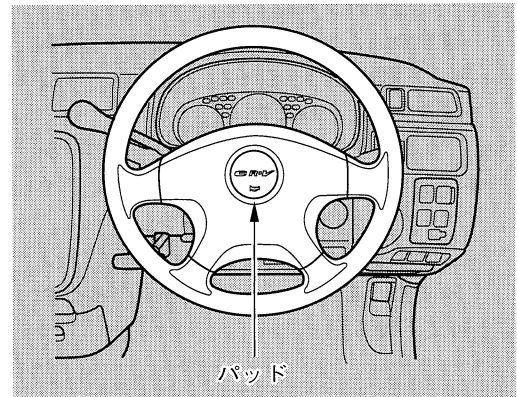
SRSエアバッグシステム装備車

ハンドルにあるスイッチを押すとホーンが鳴ります。



SRSエアバッグシステム非装備車

ハンドルのパッドを押すとホーンが鳴ります。

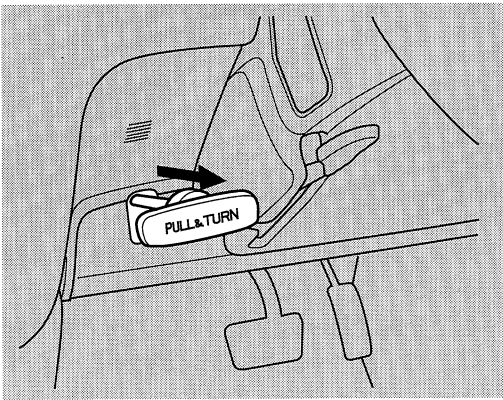


エンジンのかけかた

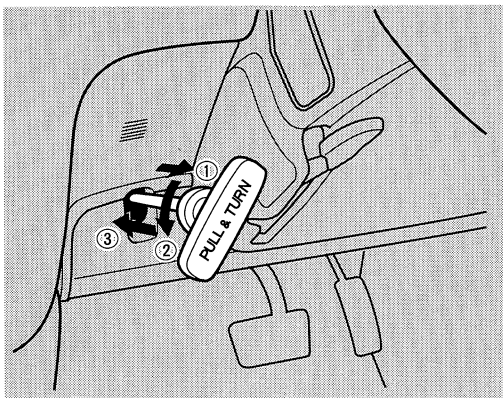
エンジンをかける前に

- 駐車ブレーキ
(パーキングブレーキ)

駐車ブレーキをかけるとき
ハンドルをいっぱいに引きます。



駐車ブレーキを解除するとき
ハンドルを手前に引しながら約45°左へ回転させ、そのまま前方へ戻します。



⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま走行しないでください。
ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

📖知識

- 駐車ブレーキを確実に解除するために、ハンドルを完全に戻してから手を放してください。
- 駐車ブレーキを解除するときは、ハンドルを手前に引いてから回さないと約100°までロック状態を保持します。それ以上回せば解除されます。
- 駐車するときは、車が動き出さないように必ず駐車ブレーキをかけてください。

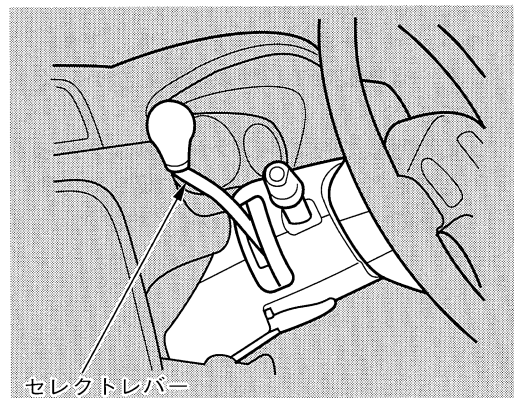
寒冷時の駐車ブレーキの取り扱い

→178ページ

●セレクトレバー

駐車ブレーキをかけ、セレクトレバーが④の位置にあることを確認してください。

セレクトレバーの操作 →79ページ



エンジンのかけかた

⚠ 警告

- 車庫や屋内などの換気の悪いところではエンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

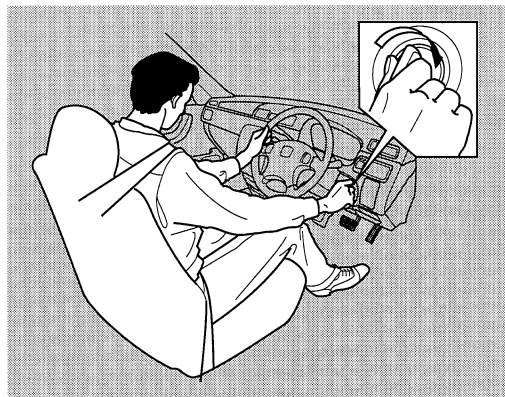
🚗 アドバイス

- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は、排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずホンダ販売店で点検を受けてください。

🎓 知識

- 消費電力の大きいライト類、ヒーター・エアコン、リヤデフロスターのスイッチは“OFF”にした方が始動は容易になります。
- 寒い日や数日以上運転しなかったときは、エンジン保護のため必ず暖機が完了して(水温計の針が動き出して)から走行してください。
- バッテリーあがりを防ぐため、スターターは連続して15秒以上回さないでください。
15秒回してもエンジンが始動しなかったときは、一度キーを“I”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。

- ① アクセルペダルを踏まずに、エンジンが始動するまでスターターを回してください。



- ② エンジンがあたたまっていると始動に時間がかかることがあります。アクセルペダルを半分程度踏み込んだまま、スターターを回してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを徐々に戻してください。
- ③ エンジン始動後は、PGM-FIの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。

運転のしかた

セレクトレバーの操作

- それぞれの位置のはたらき

P パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。
キーを抜く位置。

知識

- セレクトレバーがP以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

R リバース

車を後退(バック)させる位置。
チャイムが鳴り、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。

N ニュートラル

中立位置。
(エンジン始動できますが、安全のためNで行ってください。)

D4 **D3** ドライブ

通常の走行をする位置。
(1速から4速まで自動的に変速されます。)

上り坂、下り坂に使う位置。
(1速から3速まで自動的に変速されます。)

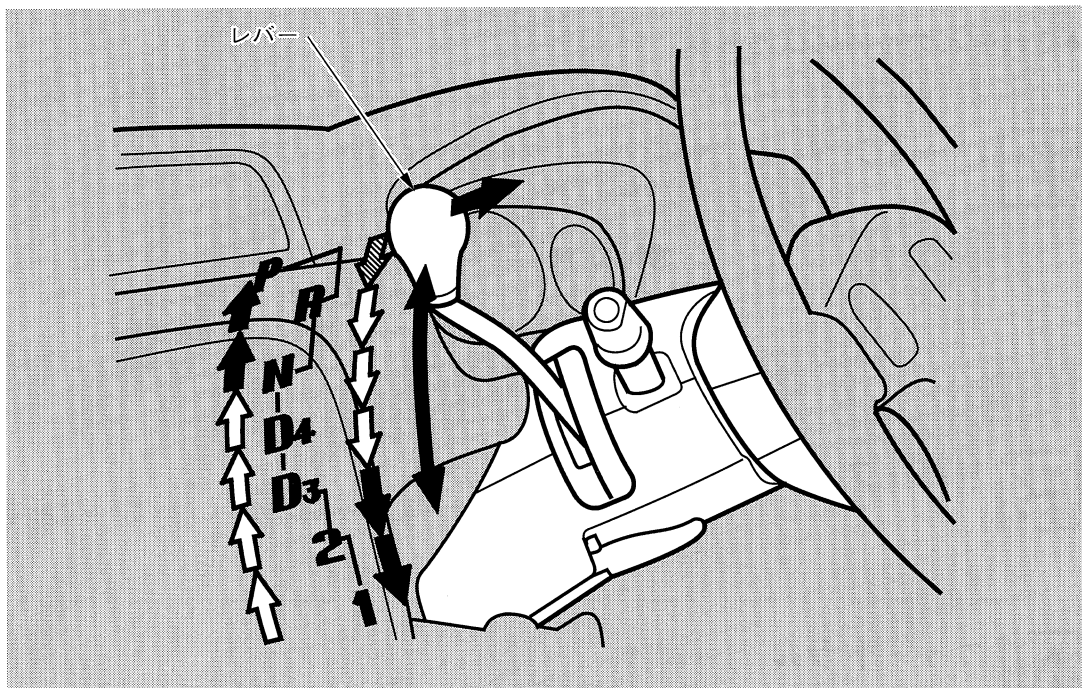
2 セカンド

エンジンブレーキが必要なときや、雪道などの滑りやすい路面での発進に使う位置。
(2速のまま変速されません。)

1 ロー

強力なエンジンブレーキが必要なときに使う位置。
(1速のまま変速されません。)

●セレクトレバーの動かしかた



ブレーキペダルを踏んだまま、レバーを手前に引いて操作します。



そのままレバーを操作します。



レバーを手前に引いて操作します。

📖 知識

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- Ⓔ**のときは、レバーを引いたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチが“**I**”または“**0**”のときは、ブレーキペダルを踏んでも**Ⓔ**から他の位置に切り換えられません。
- いつもレバーを引いて操作すると意に反して**Ⓔ****Ⓕ****Ⓖ****Ⓗ**に入れてしまうおそれがあります。
 ⇕ の操作は、レバーを引かずに動かす習慣をつけてください。

●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各セレクトレバー位置での速度範囲内で切り換えを行ってください。

セレクトレバーの位置	速度範囲	変速範囲
D4	0 km/h～	1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 速
D3	0 km/h～	1 ↔ 2 ↔ 3 速
2	0 ～ 100km/h	2 速固定
1	0 ～ 60km/h	1 速固定*

*:急激なエンジンブレーキによるショックを避けるため50km/h以上で1へ切り換えた場合は、一旦2速に入ります。

⚠注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。
シフトダウンする際の車速には、十分注意してください。

🎓知識

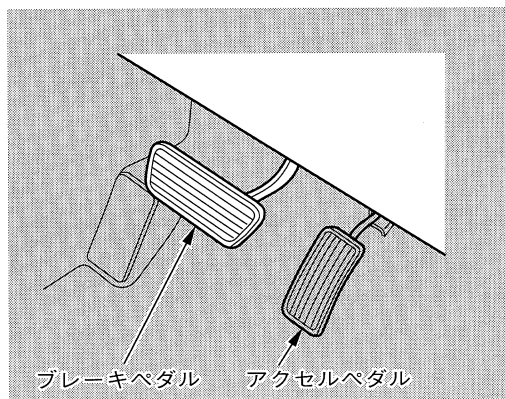
- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じるがありますが、異常ではありません。

オートマチック車の 運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り換えを自動化したもので、その分、操作の負担が軽くなり、運転が楽になりますが、運転の基本を十分理解し、正しく操作する習慣をつけてください。

エンジンをかける前に

正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。



知識

- ペダルの踏みまちがいを防ぐため、ペダルの位置を実際に踏んでみて足におぼえさせておくことが重要です。また、不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。
- 車を少し移動させるときにもペダルが確実に踏めるように、正しい運転姿勢をとりましょう。

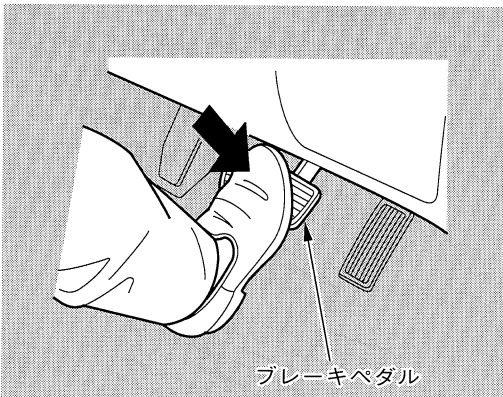
エンジン始動

- ① 駐車ブレーキがかかっていることを確認。
- ② セレクトレバーがPに入っていることを確認。

知識

- Nでも始動できますが、安全のため駆動輪が固定されるPで行ってください。

- ③ ブレーキペダルを右足で踏んで始動。

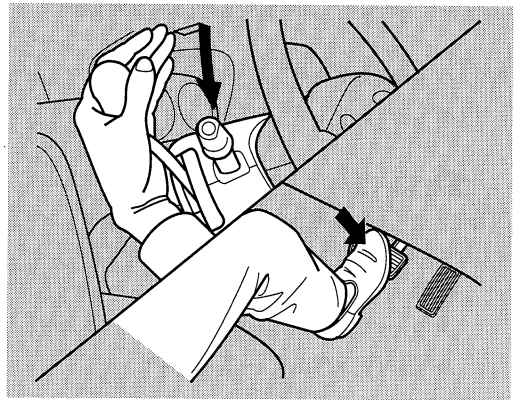


知識

- 始動時にアクセルペダル操作が必要な場合は、始動後、右足でブレーキペダルを踏んでください。

発進

- ① 右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを前進はD(またはS)、後退はRに入れる。



注意

- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故の原因となります。

知識

- セレクトレバーをP/N以外に入れると、クリーブ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。ブレーキペダルを踏んでください。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでください。
- セレクトレバーを引いたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。

- ②レバーの位置をメーター内のセレクトポジション表示灯で再確認。
- ③駐車ブレーキをもどす。
- ④ブレーキ警告灯が消灯したことを確認。
(→67ページ)
- ⑤ブレーキペダルを徐々に離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。

🎓 知識

- マニュアル車は、発進時の速度を、クラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車は、アクセル操作のみで行うので、アクセル操作は慎重に行ってください。

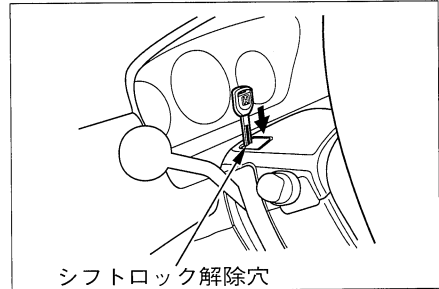
急な坂道での発進

セレクトレバーの位置をメーター内のセレクトポジション表示灯で確認し、

- ・駐車ブレーキをかけたままブレーキペダルを離し、
- ・アクセルペダルをゆっくり踏んで、
- ・車が動き出す感触を確認しながら、
- ・駐車ブレーキをもどして発進。

🎓 知識

- 万一、ブレーキペダルを踏んでも🔒から他の位置に切り換えられないときは、エンジンスイッチからキーを抜き、シフトロック解除穴にキーを差し込み、押しながらレバーを操作してください。



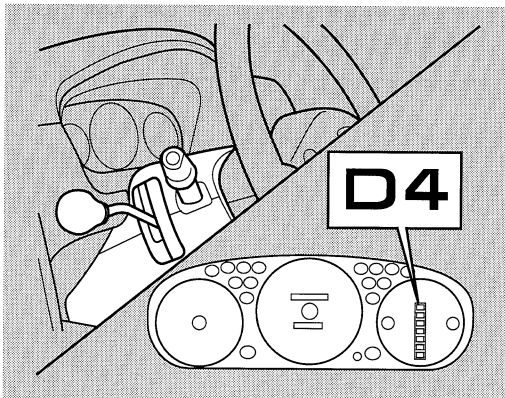
走行

走行中はセレクトレバーを④にしないでください。

知識

- ④にするとエンジンブレーキが全くきかなくなるため、思わぬ事故の原因になります。また④にしても燃費の差はほとんどありません。

通常走行



セレクトレバーを④にして走行します。アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、1速から4速まで自動的に変速されます。

注意

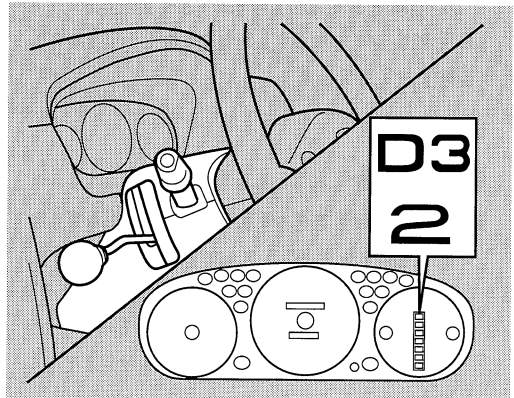
- 高速走行中に②または①に入れないでください。急激なエンジンブレーキがかかり、タイヤがスリップしたり、エンジンが過回転になり故障することがあります。

急加速したいとき

アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速します。

上り坂走行

坂の勾配に応じ、セレクトレバーを④または②にしておく、エンジン回転数の変化が少ない、なめらかな走行ができます。



下り坂走行

下り坂を④のまま走行すると、エンジンブレーキのききが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。このようなときには、セレクトレバーを④または②にします。

さらに強力なエンジンブレーキが必要なときは、①にします。

注意

- フットブレーキを使いすぎるとブレーキが過熱して、ききが悪くなるおそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では、必ずエンジンブレーキを併用してください。

エンジンブレーキ →17ページ

停車

- ① ④のままブレーキペダルをしっかりと踏んでおく。
必要に応じて駐車ブレーキをかける。



アドバイス

- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でP/N以外に入れた状態で、アクセルをふかしながら車を停止させたりしないでください。トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。



知識

- 急な上り坂での停車はクリーブ現象で前へ進もうとする力よりも車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、駐車ブレーキをかけてください。
- セレクトレバーがP/N以外でエアコンスイッチが入っている場合などは、エンジン回転数が断続的に高くなりクリーブ現象が強まります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏み込んでください。
- セレクトレバーが中立の位置にあってもエンジンが冷えているときは、トランスミッションオイルの粘性により車がわずかに動き出すことがありますので、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じて駐車ブレーキをかけてください。

- ② 停車時間が長くなるときはセレクトレバーをNに入れる。

⚠ 注意

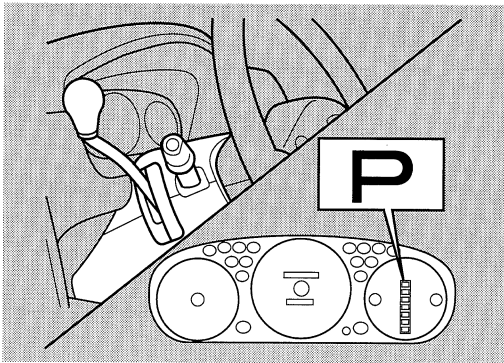
- 停車中、空ぶかしをしないでください。万一、セレクトレバーがP/N以外の場合、思わぬ急発進の原因になります。

🎓 知識

- 停車後、再発進するときは、思い違いのないようセレクトレバーが④にあることを確認してください。

駐車

- ①車を完全に止める。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、駐車ブレーキをかける。
- ③セレクトレバーをPに入れる。



知識

- 駐車の際は、セレクトレバーが必ずPに入っていることを確認してください。セレクトレバーがP以外のときは、駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

- ④エンジンを止める。

注意

- エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクトレバーがP/N以外に入っていたとき、クリーブ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。

アドバイス

- 車が完全に止まらないうちにPに入れないでください。トランスミッション破損の原因となります。

ほかに気をつけたいこと

車を少し移動させるとき

このような場合でも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

この場合、体をうしろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルは確実に踏めるよう注意してください。



3

安全装備

SRSエアバッグシステム	90
アンチロックブレーキシステム (ABS)	94
四輪駆動機構(4WD)	95
その他の安全装備	96

SRSエアバッグシステム (運転席／助手席用シート ベルト補助乗員保護装置)

注文装備

SRSエアバッグシステムは、エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃(正しくシートベルトを着用していてもハンドルに顔面があたり、けがをするような場合)を感知するとシステムが作動し、エアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和する構造になっております。

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。

SRSエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。
必ず、シートベルトを着用してください。

*SRS：サプリメンタルレストRAINTシステム
(Supplemental Restraint System)の略で
補助拘束装置の意味

⚠ 警告

- SRSエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。
シートベルトをしていないと衝突などのときエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

次のような場合、エアバッグが膨らんでも乗員保護の効果が無いので、システムは作動しません。

- ・ 横方向、後部からの衝突
- ・ 転覆
- ・ シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突

また、次のような衝突の場合、システムが正常であっても作動しないことがあります。

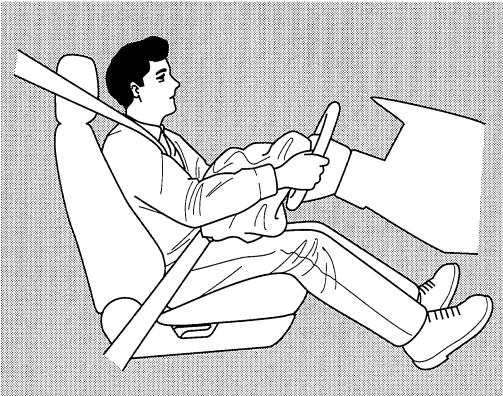
- ・ 出合い頭、電柱、立木などへの衝突
- ・ トラックなどへの潜り込み
- ・ 部分的な衝突や斜め方向からの衝突

🏠 知識

- 膨らんだエアバッグはすぐにしぼみません。視界を妨げません。
- エアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。
- エアバッグは一度膨らむと再使用できません。
ホンダ販売店で交換してください。
- ハンドルまわり、インストルメントパネルまわりやセンターコンソール付近の修理、カーステレオ等用品の取り付けおよびダッシュボード周辺の板金塗装および修理をする場合は、SRSエアバッグシステムに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダ販売店にご相談ください。
- SRSエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずホンダ販売店にご相談ください。正しく取り扱わないとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。

●運転席用SRSエアバッグシステム

エアバッグの効果を十分に発揮させるため、正しい運転姿勢がとれる範囲でシートを後ろに下げます。

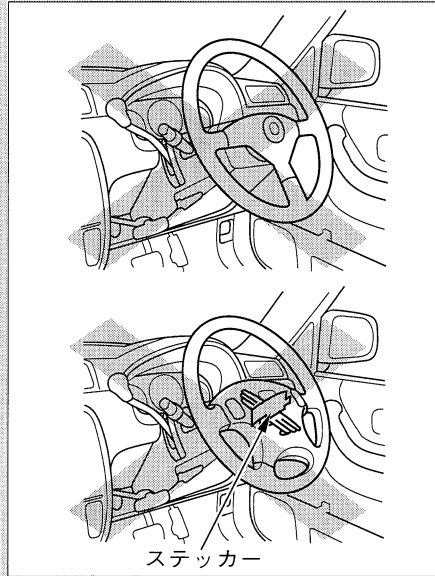


⚠ 警告

- ハンドルに顔や胸などを近づけていると、エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりすると正常に機能しなくなります。



- エアバッグの取りはずし、分解などはしないでください。不適切にあつかうと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。

●助手席用SRSエアバッグシステム

助手席用SRSエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。

エアバッグの効果を十分に発揮させるため、助手席同乗者はシートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにしてください。



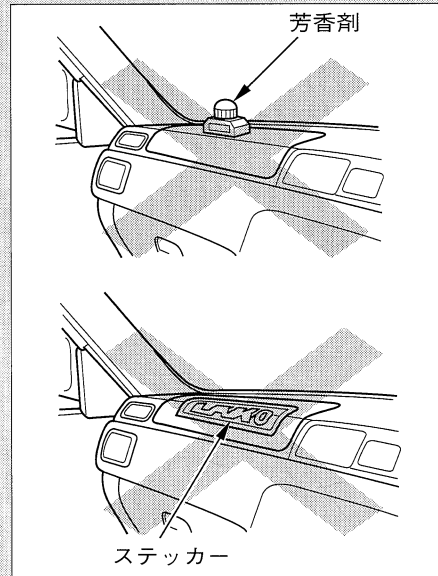
⚠警告

- インストルメントパネルに顔や胸などが近づかないようにシートを後ろに下げてください。また、インストルメントパネルに手や足などを置かないでください。
エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- インストルメントパネル上面にステッカー類をはったり、アクセサリや芳香剤などを置かないでください。また、前面ガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物がとぶことがあり危険です。

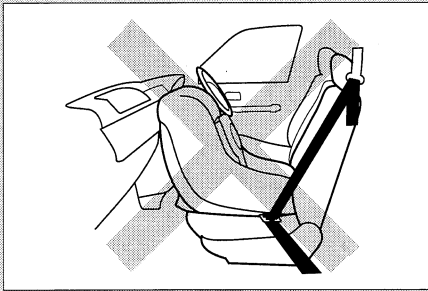


- エアバッグの取りはずし、分解などはしないでください。不適切にあつかうと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。

⚠ 警告

●助手席用SRSエアバッグシステム装備車の助手席には、ベビーシートを取り付けたり、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。エアバッグが膨らむ際、ベビーシートや、チャイルドシートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

また、やむをえず前向きに取り付ける場合は、エアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。

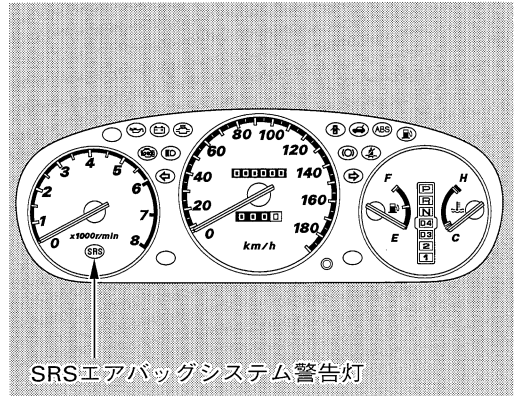


●定期点検について

SRSエアバッグシステムは、性能を維持するため、定期的に点検が必要です。点検は、お車を最初に登録してから10年後に1回目を、その後は5年ごとに受けてください。

●SRSエアバッグシステム警告灯

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



SRSエアバッグシステム警告灯

エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

●アドバイス

●警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダ販売店で点検を受けてください。

- ・運転中に点灯したとき
- ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき

必要なときにエアバッグが膨らまないおそれがあります。

アンチロックブレーキシステム(ABS)

注文装備

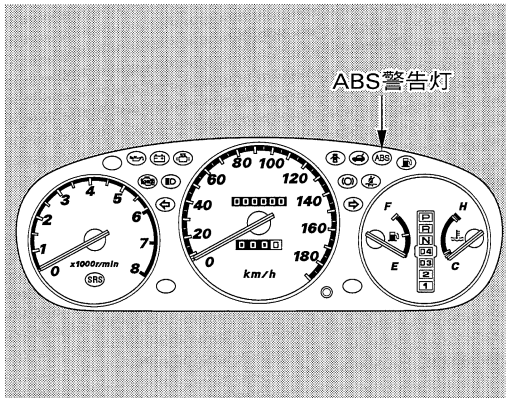
アンチロックブレーキシステムは、急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする装置です。ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これはアンチロックブレーキシステムが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。

知識

- この装置は制動距離を短くするためのものではありません。ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。また、ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、ハイドロプレーニング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。
- 悪路、砂利道、深い新雪などの路面では、ABSの装備されていない車両に比べて制動距離が長くなる場合があります。このような道路条件では速度は控えめにして車間距離を十分にとって運転してください。
- エンジン始動時やエンジンが冷えているときの発進時に、エンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。
- 低速(約10km/h以下)ではABSは作動せず、普通のブレーキと同じ作動になります。
- タイヤは必ず四輪とも同一指定サイズのものをお使いください。サイズ(外径)の異なるタイヤを混用すると、ABSが正常に機能しなくなることがあります。

●アンチロックブレーキシステム (ABS) 警告灯

メーター内に組み込まれており、ABSが異常のときに点灯します。



エンジンスイッチを「II」にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダ販売店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき
 - ・エンジンスイッチを「II」にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき
- なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。(ABSとしての作動はしません)

四輪駆動機構(4WD)

四輪駆動車(4WD車)は積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において二輪駆動車(2WD車)に比べて走破性にすぐれています。万能ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転を心がけてください。

4WD車は、オフロードやラリー走行を目的とした車ではありません。必ず、次のことをお守りください。

- ・砂地、ぬかるみ等、前輪が空転しやすいところでの連続走行はしないでください。
- ・渡河などの水中走行はしないでください。
- ・ブレーキ性能は2WD車と比べてほとんど差がないので、滑りやすい路面での走行には十分車間距離をとってください。

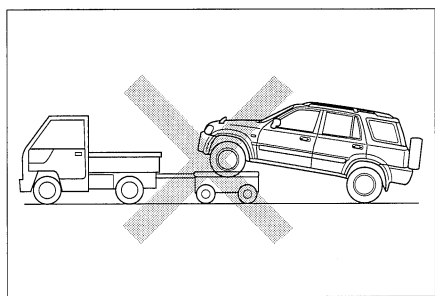
🎓 知識

- 4WDの状態で行走中に車輪の空転が続いてシステム内の油温が上昇すると、システム保護のため4WDから2WDに切り換わることがあります。しばらくして油温が下がると、4WDに復帰します。

アドバイス

- 四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響をあたえます。
- けん引する場合、前輪または後輪を台車に乗せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。駆動装置が破損したり、車輪が台車から飛び出すおそれがあります。

けん引→143ページ



その他の安全装備

ほかに、次のような安全装備を採用しています。

●シフトロック装置

セレクトレバーの誤操作防止を助けます。

(→23ページ)

●外気温インジケーター

気温表示により、寒冷時の路面凍結のおそれを伝えます。

(→124ページ)

●後席3点式シートベルト

上半身も拘束する3点式シートベルトを後席(外側2座席)にも採用しています。

(→56ページ)

●シートベルト警告灯

シートベルトの未着用をランプで知らせ、ベルトの着用を促します。

(→69ページ)

●ドアビーム

側面から外力が加わったときに、ドアの変形を抑える効果があります。

●ロールオーバーバルブ

車が転倒したとき、燃料タンクからの燃料流出を防止します。

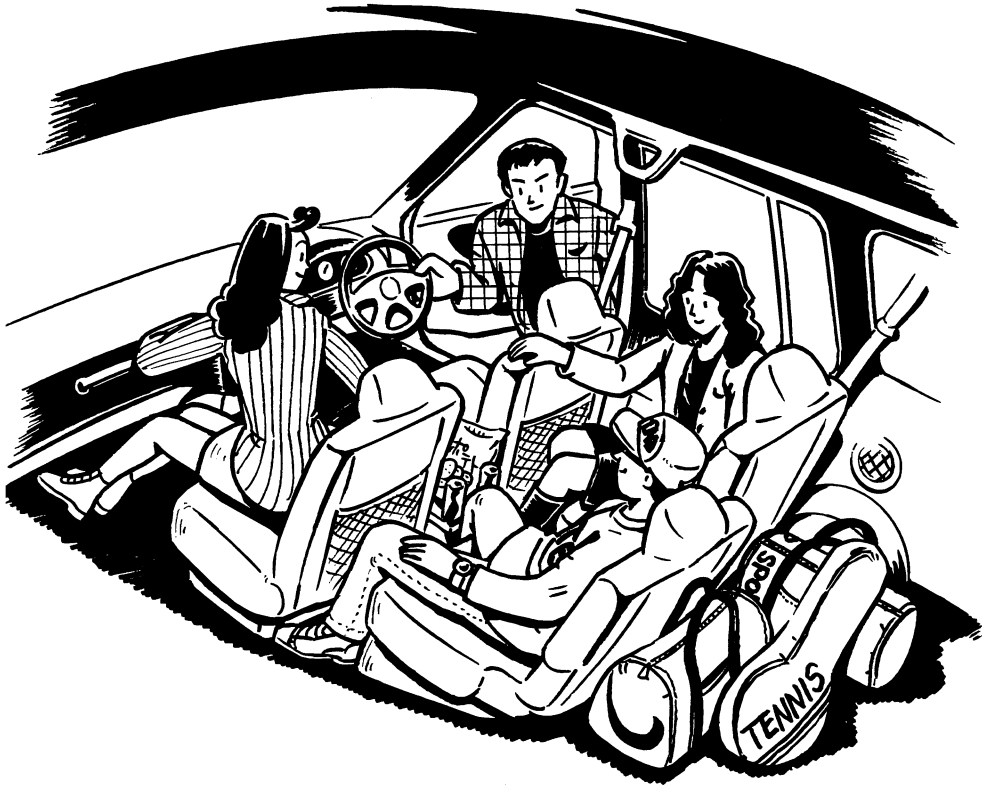
●難燃性材料使用の内装

フロアカーペットやシートなどには、燃え広がりにくい素材を採用しています。

●リヤワイパー

雨天時の後方視界の確保に効果があります。

(→74ページ)



4

ドライブを快適にする装備

ヒーター・エアコン

吹き出し風の調節	99
オートエアコン	100
オートヒーター	105

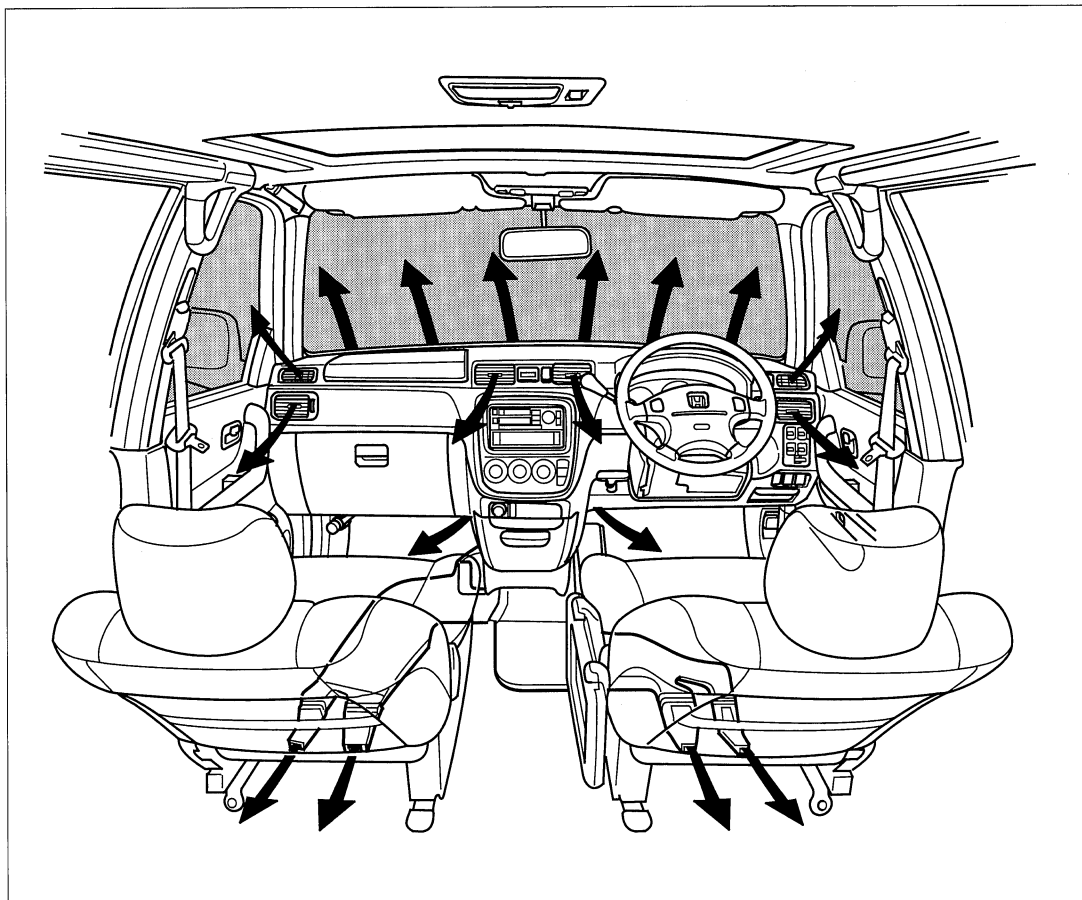
オーディオ

上手な使いかた	109
アンテナ	111
AM/FMラジオ一体式	
カセットステレオ	112

室内装備品

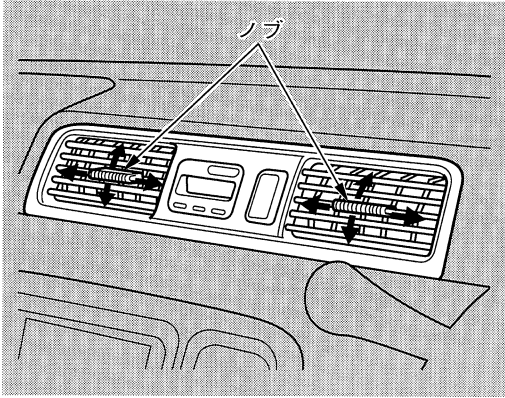
時計/外気温表示	123
室内灯	124
テールゲート照明灯	125
スポットライト	125
エンジンスイッチ照明灯	125
シガレットライター	126
灰皿	127
サンバイザー	128
センターテーブル	128
ビルトインテーブル	130
小銭入れ(コインボックス)	132
小物入れ	132
荷物フック	135
アクセサリースOCKET	136

ヒーター・エアコン



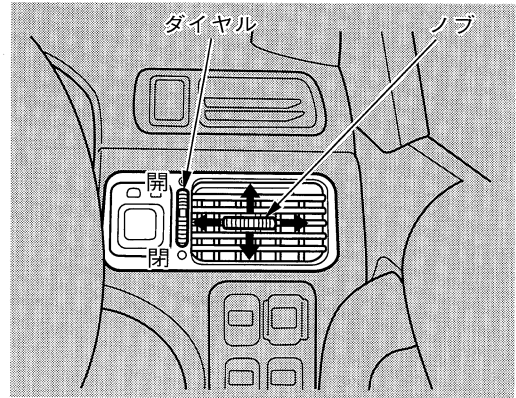
吹き出し風の調節

ノブを上下または左右に動かして、吹き出し風の向きを調節します。



側面の吹き出し口の開閉は、ダイヤルで行います。

送風が必要なときは、ダイヤルを“開”のほうに回します。

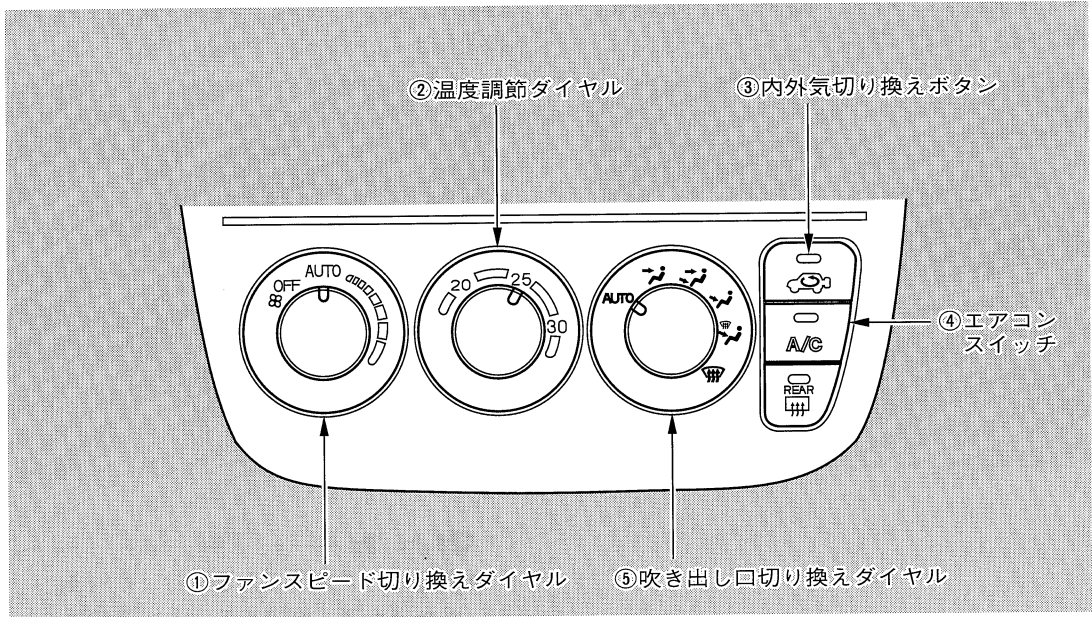


知識

- 側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風がガラスに直接当たるよう両側の吹き出し口の向きを調節すれば、より早く曇りを取ることができます。

オートエアコン

タイプ別装備



① ファンスピード切り換えダイヤル

スイッチの位置	OFF	AUTO	-----
風量	停止	自動切換	弱↔強

② 温度調節ダイヤル

ダイヤルを左右に動かし、室内の温度を調節します。
表示数字は室温設定時のめやすとなります。

③ 内外気切り換えボタン

ボタンを押してボタン内の表示灯が点灯すると内気循環になり、もう一度ボタンを押して表示灯が消灯すると外気導入になります。通常の暖房時はガラスの曇りを防ぐため外気導入で使い、トンネルや渋滞地域などで外気が汚れているときは一時的に内気循環にしてください。


④ エアコンスイッチ

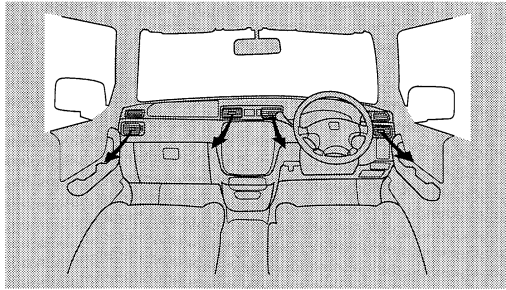
ファンスピード切り換えダイヤルが“OFF”以外のとき、エアコンスイッチを押すと、エアコンが作動し表示灯が点灯します。もう一度押すと切れます。冷房や除湿暖房をするときに使います。


⑤吹き出し口切り換えダイヤル

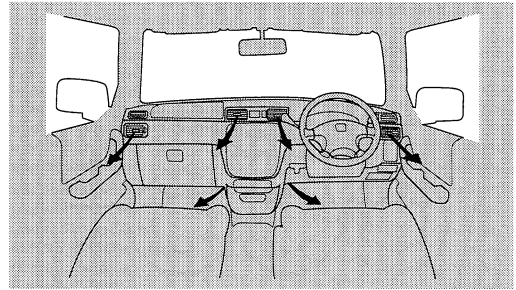
“AUTO”にすると、吹き出し口は自動で切り換わります。ただし、側面の吹き出し口からいつでも風が出ます。


その他の吹き出し口は次のようになります。

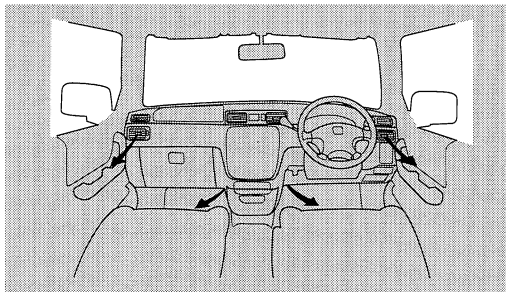
 上半身に送風したいとき




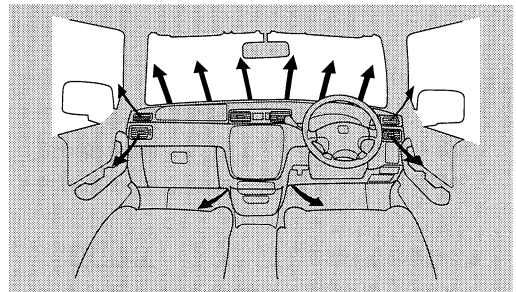
 上半身、足元に送風したいとき



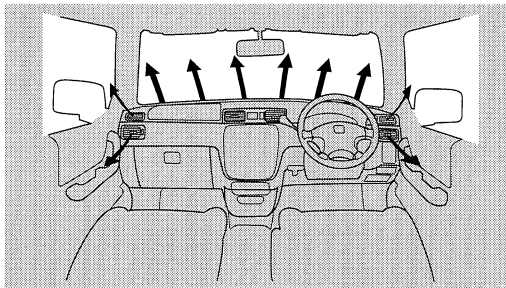
 足元に送風したいとき



 足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



 窓ガラスの曇りを取りたいとき

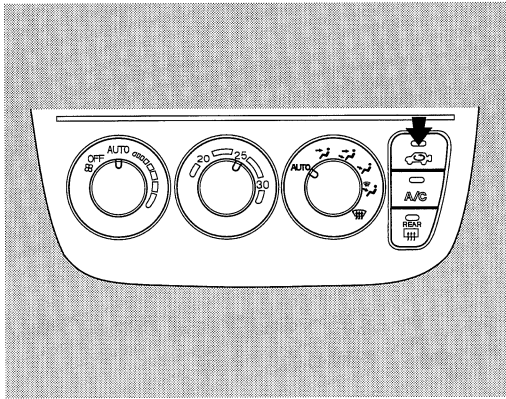


●使いかた

温度調節ダイヤルを希望する温度位置にし、各ボタン／ダイヤルを図の位置にします。内外気切り換えボタンは外気導入(ボタン内の表示灯消灯)にします。

冷房や除湿暖房をするときは、エアコンスイッチを入れます。

吹き出し口の切り換えおよび風量、風の温度の調節が自動的に行われます。

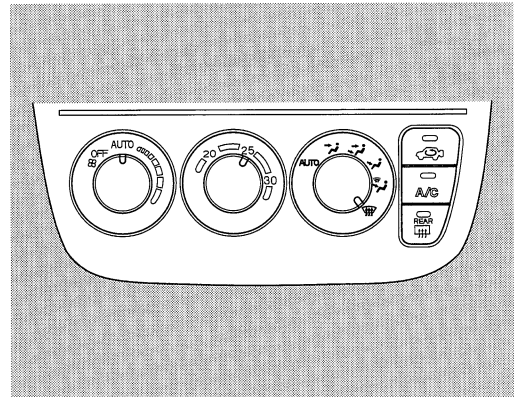


📖 知識

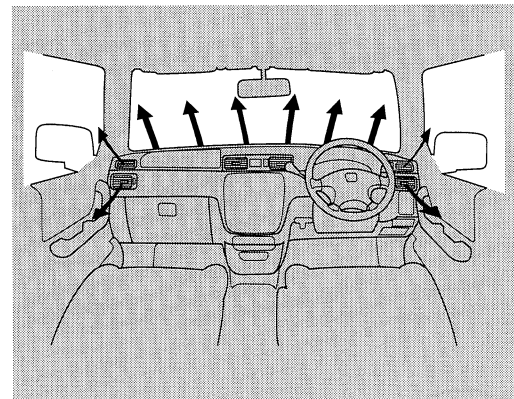
- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートエアコン作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望の温度に設定したら、温度調節ダイヤルをむやみに動かさないでください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、熱気を追い出すため窓を開け、冷房を開始してください。

前面／側面ガラスの霜取り (デフロスター)、曇り取り

各ダイヤルを図の位置にします。自動的にエアコンが作動し、外気導入に切り換わります。




下図のように温風が吹き出してガラスの曇りを取ります。



夏期の曇り止めには温度調節ダイヤルを適度に調節します。

🎓 知識

- 吹き出し口切り換えダイヤルを“”にしているときは、温度調節ダイヤルを左いっぱい(最大冷房)付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇り、視界の妨げになります。

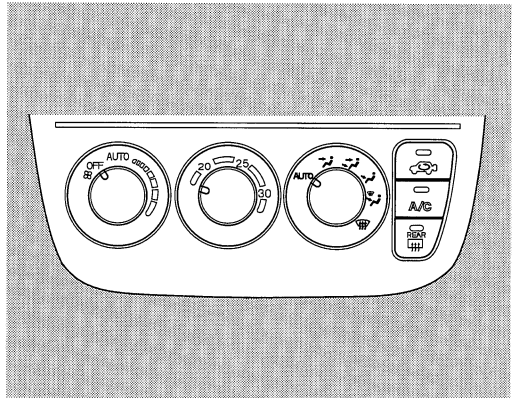
急速に霜を取りたいときは内外気切り換えボタンを内気循環(ボタン内の表示灯点灯)にし、温度調節ダイヤルを右いっぱい(最大暖房)にしてファンスピード切り換えダイヤルを右いっぱいにします。

🎓 知識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。

●使用しないとき

ファンスピード切り換えダイヤルを“OFF”にします。



●冷房を常用しないとき

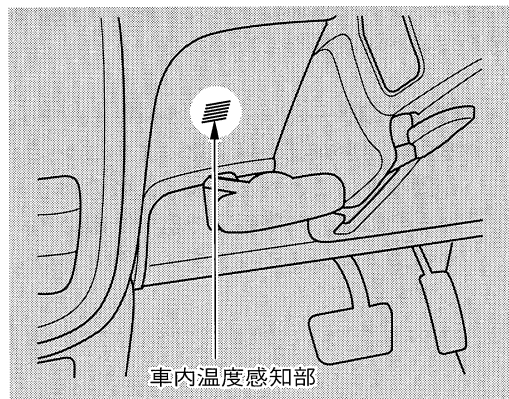
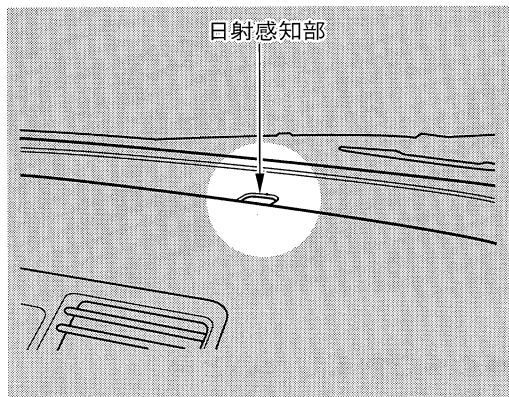
装置各部のオイルをきらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

🎓 知識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入れると作動します。

●温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。



●エアクリーンフィルター

エアコンには、空気中のちり・ほこり・粉じん等を集じんするエアクリーンフィルターが取り付けられています。

エアクリーンフィルターの交換は、通常2年または24,000kmごとに、ホンダ販売店で行ってください。

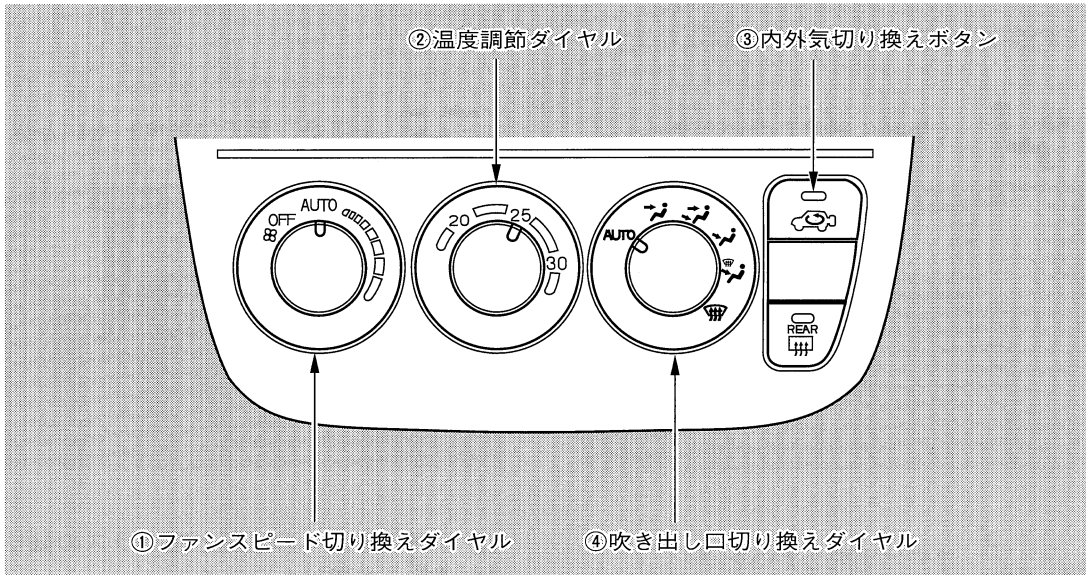
ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。

- ・エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。ホンダ販売店で点検を受けてください。

オートヒーター

タイプ別装備

オートヒーターは、エアコンが装備されていないので、冷房機能はありません。



① ファンスピード切り換えダイヤル

スイッチの位置	OFF	AUTO	-----
風量	停止	自動切換	弱↔強

② 温度調節ダイヤル

ダイヤルを左右に動かし、室内の温度を調節します。

表示数字は室温設定時のめやすとなります。

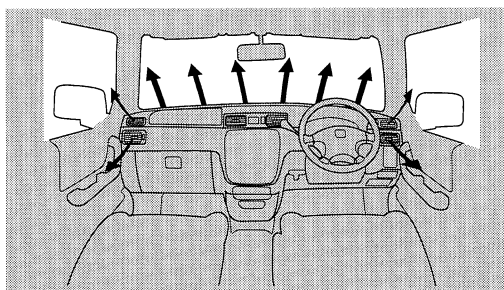
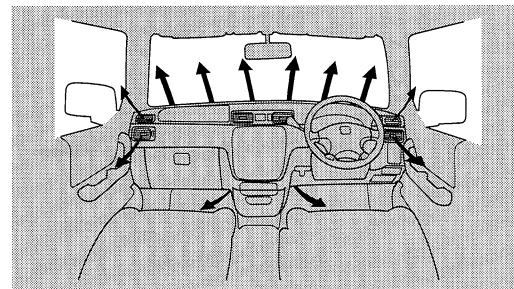
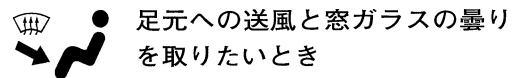
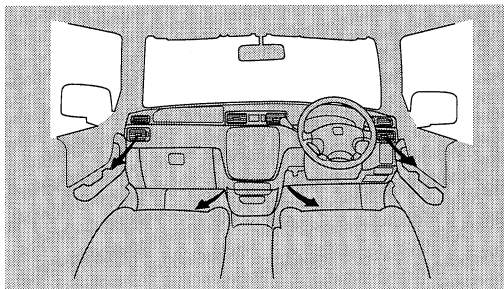
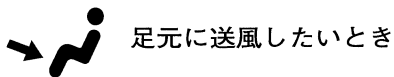
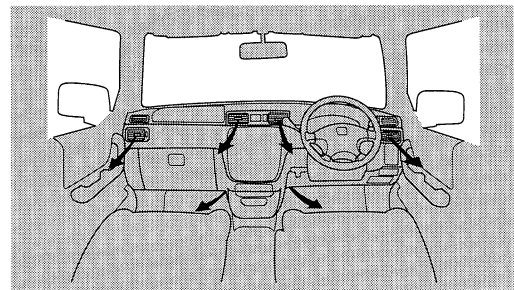
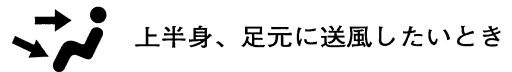
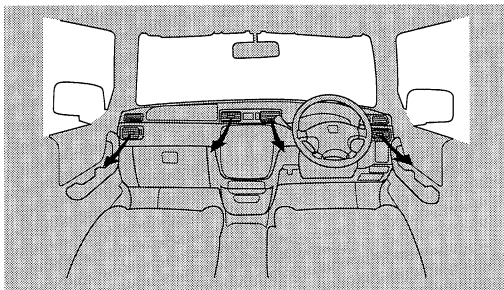
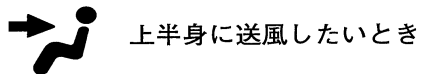
③ 内外気切り換えボタン

ボタンを押してボタン内の表示灯が点灯すると内気循環になり、もう一度ボタンを押して表示灯が消灯すると外気導入になります。通常の暖房時はガラスの曇りを防ぐため外気導入で使い、トンネルや渋滞地域などで外気が汚れているときは一時的に内気循環にしてください。

④吹き出し口切り換えダイヤル

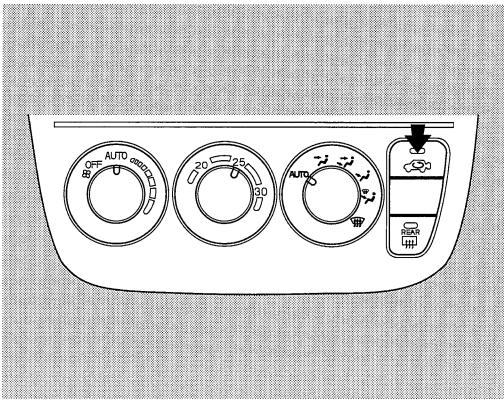
“AUTO”にすると、吹き出し口は自動で切り換わります。ただし、側面の吹き出し口からはいつでも風が出ます。

その他の吹き出し口は次のようになります。



●**使いかた**

温度調節ダイヤルを希望する温度位置にし、各ボタン／ダイヤルを図の位置にします。内外気切り換えボタンは外気導入(ボタン内の表示灯点灯)にします。吹き出し口の切り換えおよび風量の調節などが自動的に行われます。

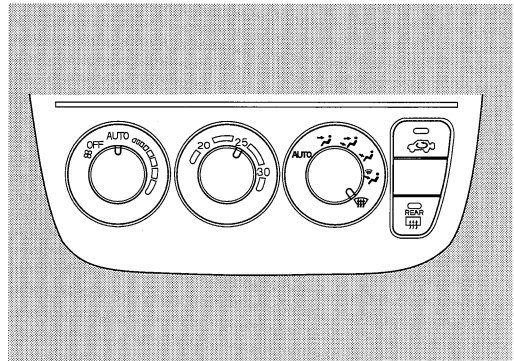


📖 **知識**

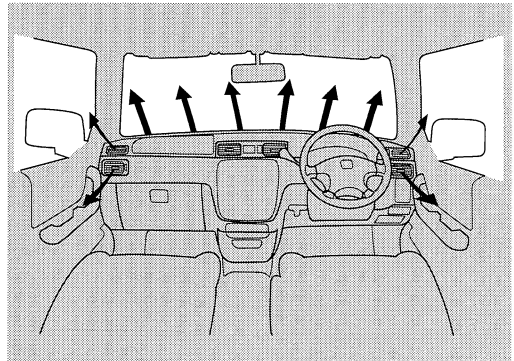
- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートヒーター作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望の温度に設定したら、温度調節ダイヤルをむやみに動かさないください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。

**前面／側面ガラスの霜取り
(デフロスター)、曇り取り**

各ダイヤルを図の位置にします。自動的に外気導入に切り換わります。



下図のように温風が吹き出してガラスの曇りを取ります。



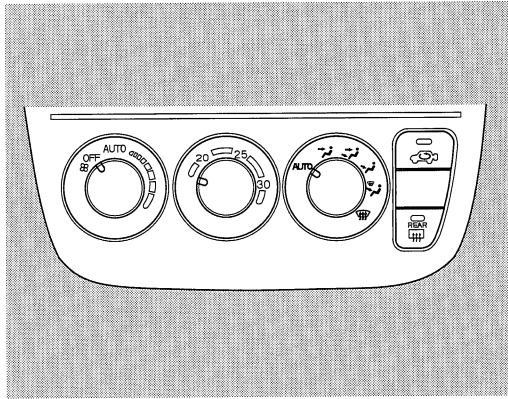
急速に霜を取りたいときは内外気切り換えボタンを内気循環(ボタン内の表示灯点灯)にし、温度調節ダイヤルを右いっぱい(最大暖房)にしてファンスピード切り換えダイヤルを右いっぱいにします。

📖 **知識**

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。

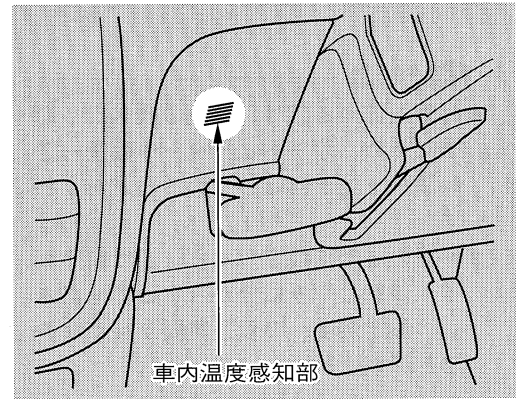
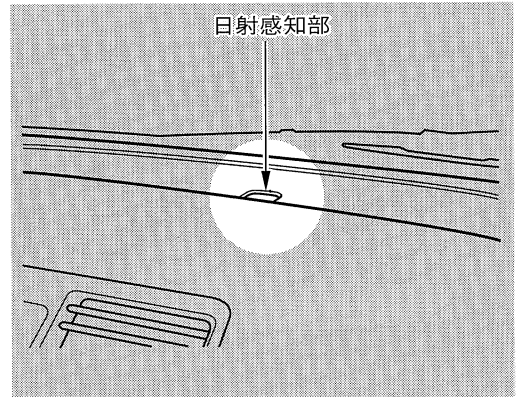
●使用しないとき

ファンスピード切り換えダイヤルを“OFF”にします。



●温度感知装置

オートヒーターには、温度感知装置がついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。



オーディオ

上手な使いかた

知識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。
車外の音が聞こえない状態では安全運転の妨げとなります。
また、運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。

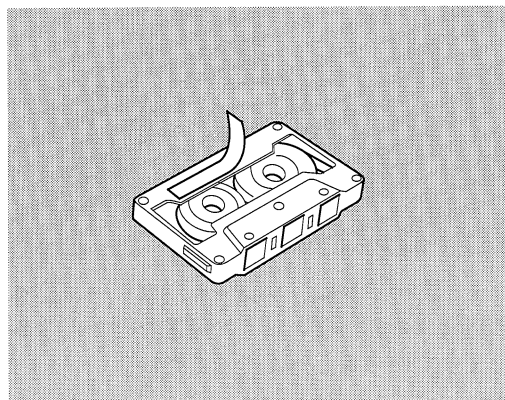
●ラジオについて

ラジオの受信については、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

●カセットについて

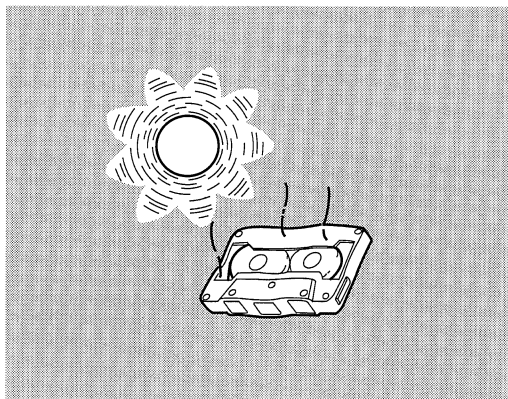
次のようなカセットテープは、故障の原因になりますので、ご使用はお避けください。

- ・ ラベルがはがれかけていたり変形したカセットテープを使用すると、回転不良を起こしたりテープが取り出せなくなる場合があります。

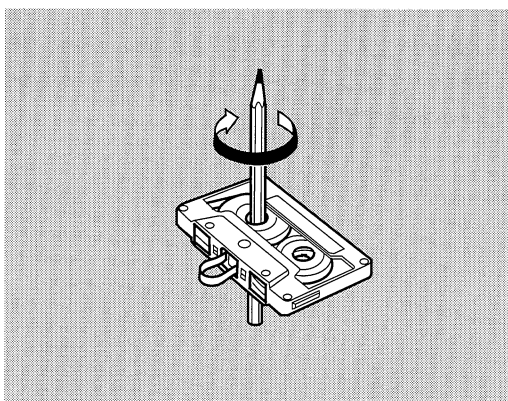


- ・ 120分以上のテープは非常に薄いため、伸びたり、プレーヤーに巻き付いたりする場合があります。

カセットテープは、変形したり録音が消えてしまわないようにほこり、直射日光や磁気のあるものの近くを避けてケースに入れ保管してください。



カセットテープは、プレーヤーにテープが巻き込まれたりしないように鉛筆などでたるみをとってから差し込んでください。



音が歪んだり高音が出にくくなった場合は、市販のクリーニングテープなどでプレーヤーの手入れをしてください。

●CDについて

下記マークのついていないディスクおよび円形以外のディスクは使えません。



ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどを行うことがあります。

ディスクの変形を避けるため、直射日光や高温多湿を避けてケースに入れ保管してください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびを行うことがあります。

寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露(水滴)が生じ、正しく作動しなくなることがあります。その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿をしてからお使いください。

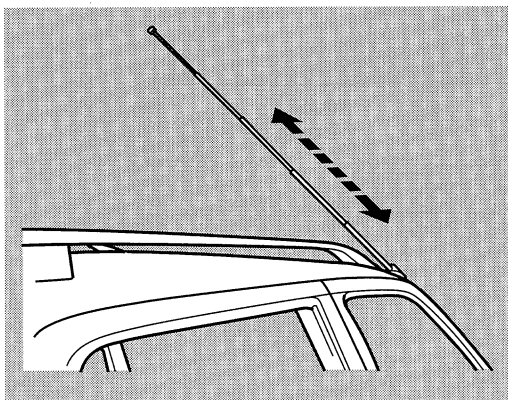
🎓 知識

- ディスクは必ず円形のものをお使いください。
円形以外のディスクを使用すると故障の原因となります。

アンテナ

●手動アンテナ

ラジオを聞くときはアンテナをいっぱいまで伸ばします。



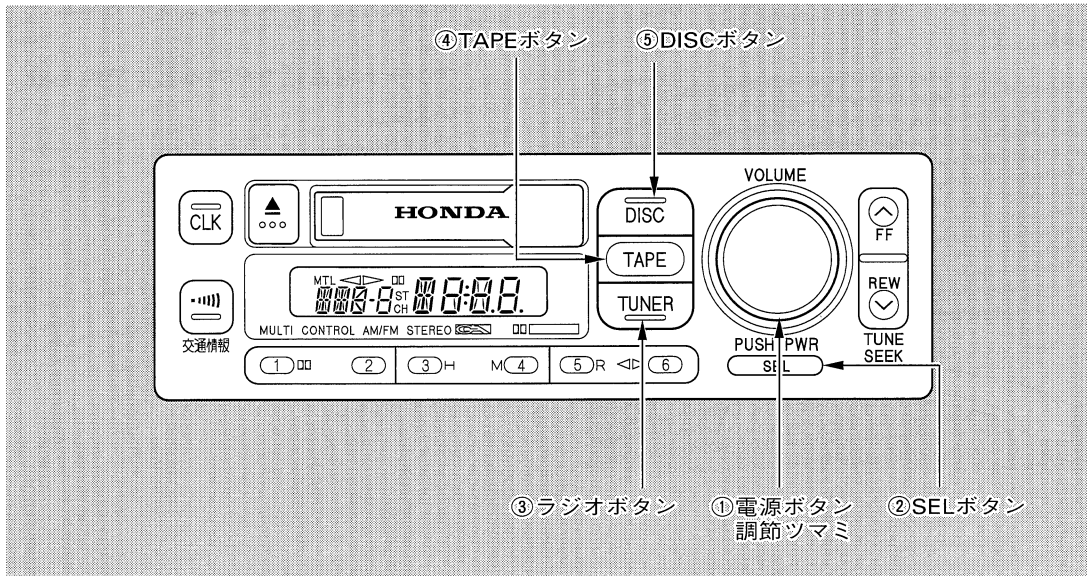
🎓 知識

- 屋根の低い場所、洗車場などではアンテナを伸ばしたままにしないでください。アンテナを曲げたりすると伸縮性を損います。

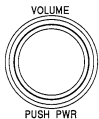
AM/FMラジオ一体式カセットステレオ

注文装備

●基本操作



電源



エンジンスイッチが「I」または「II」のとき、電源が入ります。電源ボタン①を押すごとに「ON」↔「OFF」が切り換わります。

音量調節



調節ツマミ①で調節します。右へ回すと音量は大きくなり、左へ回すと小さくなります。

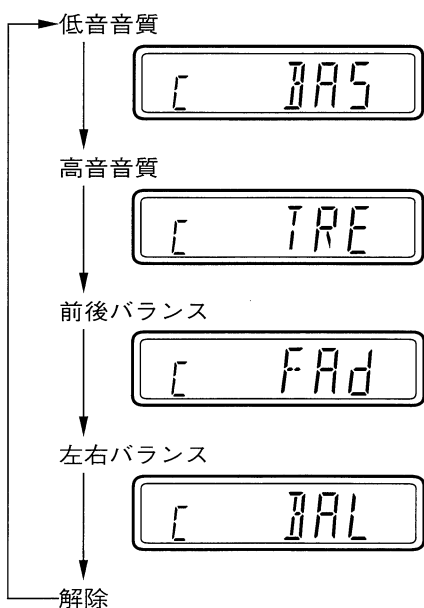
知識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全運転の妨げとなります。また、運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。

音質調節、バランス調節

SEL

SELボタン②を押して切り換え、調節つまみ①で調節します。



SELボタンを押すたびに切り換わります。
調節つまみは右に回すと強調され、左に回すと弱まります。

知識

- 調節後約5秒すぎると自動的に解除されます。
- 調節位置が中央のときに表示部に“C” (センター)を表示します。

モードの切り換え

各モードボタンで切り換えます。

- ラジオボタン③

TUNER

ラジオに切り換わります。

- TAPEボタン④

TAPE

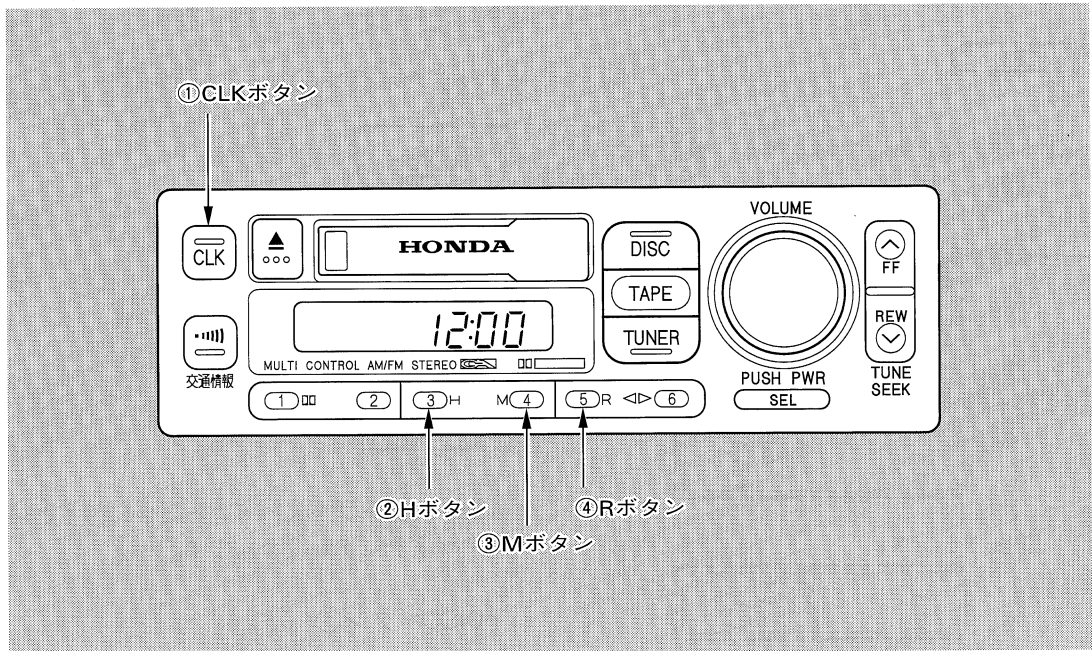
カセットテープが入っているときに押すと、テープ演奏に切り換わります。

- DISCボタン⑤

DISC

別売のCDチェンジャーやCD/MDプレーヤー等を接続しているときに押すと、それらのディスク演奏に切り換わります。

●時計



表示の切り換え



“CLK”ボタン①を押すと時刻が表示され、もう一度押すと消えます。

時刻表示をしているときにラジオの選局操作をすると、表示部は選局された周波数が数秒間表示され、自動的に時刻表示となります。

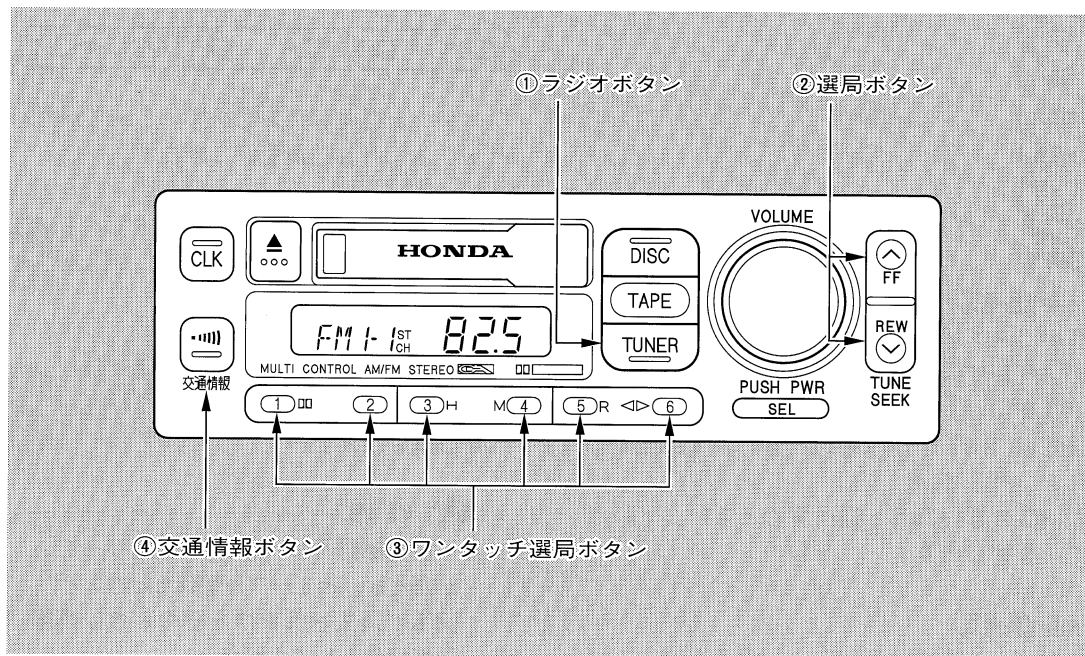
表示の合わせかた

1. “CLK”ボタン①を“ピッ”という電子音がするまで押します。時刻表示が点滅します。「時」の調整は“H”ボタン②を「分」の調整は“M”ボタン③を押して行います。
2. “CLK”ボタン①をもう一度押します。時報に合わせるときは、“R”ボタン④を押します。

🏠 知識

- オーディオの電源が“OFF”のときも時刻合わせはできますが、“CLK”ボタンを押しても“ピッ”という電子音はしません。

●ラジオの使いかた



ラジオ受信のしかた



ラジオボタン①を押します。

AM/FMの切り換え

ラジオボタン①を押してAMまたはFM(FM1、FM2)を選択します。表示部にバンド表示灯が点灯します。

FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、表示部に“ST”のFMステレオ表示灯が点灯します。

選局のしかた



• 手動選局

選局ボタン②を軽く押します。

押すたびに受信周波数が少しずつ変わり選局できます。

周波数の高いほうへ選局するときは、上のボタンを押します。

周波数の低いほうへ選局するときは、下のボタンを押します。

• 自動選局

選局ボタン②を“ピッ”という電子音がするまで押して離すと自動選局し、放送を受信すると止まります。

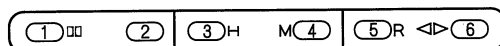
周波数の高いほうへ選局するときは、上のボタンを押します。

周波数の低いほうへ選局するときは、下のボタンを押します。

📖 知識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

• ワンタッチ選局



ワンタッチ選局ボタン③を押すとあらかじめセットされた放送が受信できます。

〈セットのしかた〉

ワンタッチ選局ボタン③にAM 6局、FM12局 (FM1、FM2それぞれ6局)まで記憶させることができます。

1. 選局ボタン②で選局します。
2. ワンタッチ選局ボタン③のいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

📖 知識

- 一度電源が切れた場合(バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

交通情報

ラジオを聞いているときやカセットテープ・CDを演奏中でもワンタッチで交通情報を受信することができます。

あらかじめ2つの受信周波数(1620kHz、1629kHz)がセットされています。

• 聞きかた

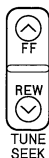


交通情報

交通情報ボタン④を押します。

表示部に“TI”と受信周波数が表示されます。

• 受信周波数の切り換え



選局ボタン②を押します。

押すたびに受信周波数が1620kHzと1629kHzとに交互に切り換わります。

• 解除のしかた

交通情報ボタン④をもう一度押します。

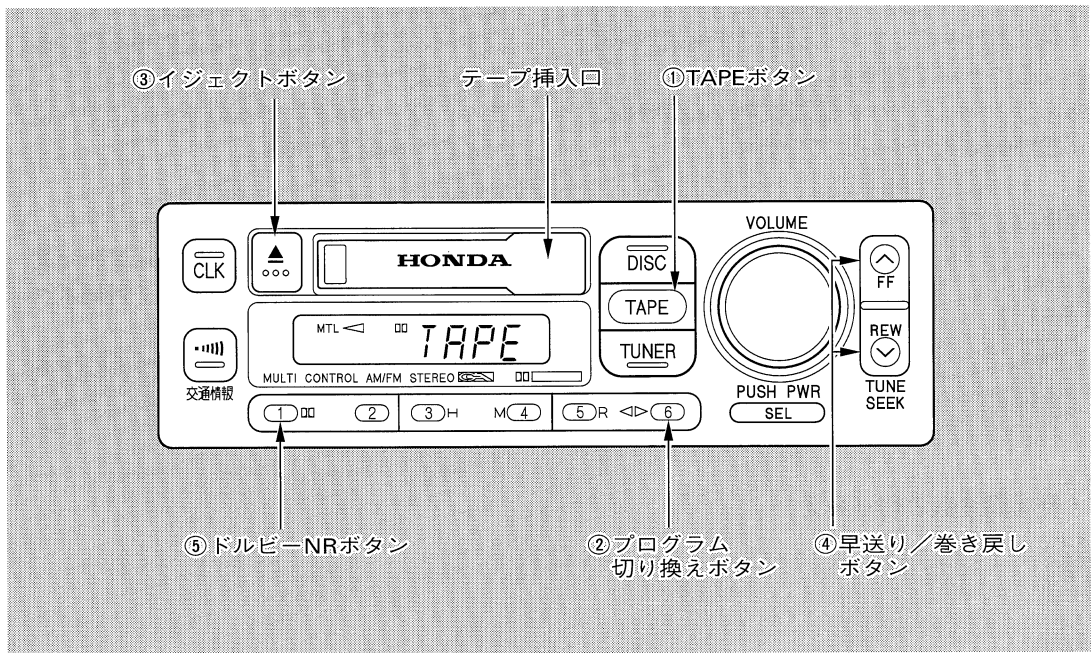
表示部の“TI”が消灯し、交通情報を聞く前の状態に戻ります。

また、モードボタンで他のモードに切り換えたときも解除されます。

知識

- 交通情報ボタンを使って交通情報を聞いているときは、ワンタッチ選局ボタン③による選局はできません。
- 交通情報ボタンにあらかじめセットされている受信周波数を変えることはできません。

●カセットプレーヤーの使いかた

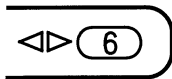


テープの聞きかた

カセットテープを挿入口に差し込みます。テープが差し込まれているときはTAPEボタン①を押します。

表示部に“◀”または“▶”のテープ走行表示灯が点灯し、テープ演奏が開始されます。

走行方向の切り換え



演奏の途中で走行方向を切り換えたいときは、プログラム切り換えボタン②を押します。テープの片面が終了したときは、自動的にもう一面の演奏を開始します。

テープの取り出し



イジェクトボタン③を押すとカセットテープが押し出されます。

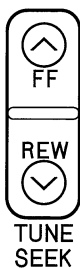
ラジオやCDプレーヤーの電源が“ON”のとき、テープ演奏前にセットされていた状態に切り換わります。

本体の電源が“OFF”のときでもイジェクトボタン③を押すとテープを取り出すことができます。

◆ 知識

- テープ演奏中に他のモードに切り換えても、テープは差し込まれた状態でイジェクトしません。

早送り、巻き戻し



早送り／巻き戻しボタン④で操作します。
早送りは上のボタンを軽く押します。このとき表示部には“FF”が表示されます。
巻き戻しは下のボタンを軽く押します。このとき表示部には“REW”が表示されます。
早送り、巻き戻しを止めるときは、ボタンをもう一度押します。

頭出し演奏

早送りや巻き戻しのときに早送り／巻き戻しボタン④を“ピッ”という電子音がするまで押し続けると、曲の頭出しができます。このとき、表示部の“FF”または“REW”の表示は点滅します。

知識

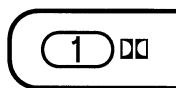
- 次の場合、頭出し機能がはたらかないことがあります。
 - 一曲と曲の間の音が無い部分が4秒以下のとき。
 - 一曲と曲の間に雑音が入っているとき。
 - 一曲の途中で音が無い部分があるとき。

オートテープセレクトター

ノーマルテープ、クロームテープ、メタルテープが使えます。

クロームテープ、メタルテープ使用時には表示部に“MTL”のメタル表示灯が点灯します。


ドルビーNR



ドルビーNRボタン⑤を押すと、ドルビーNR再生およびその解除ができます。

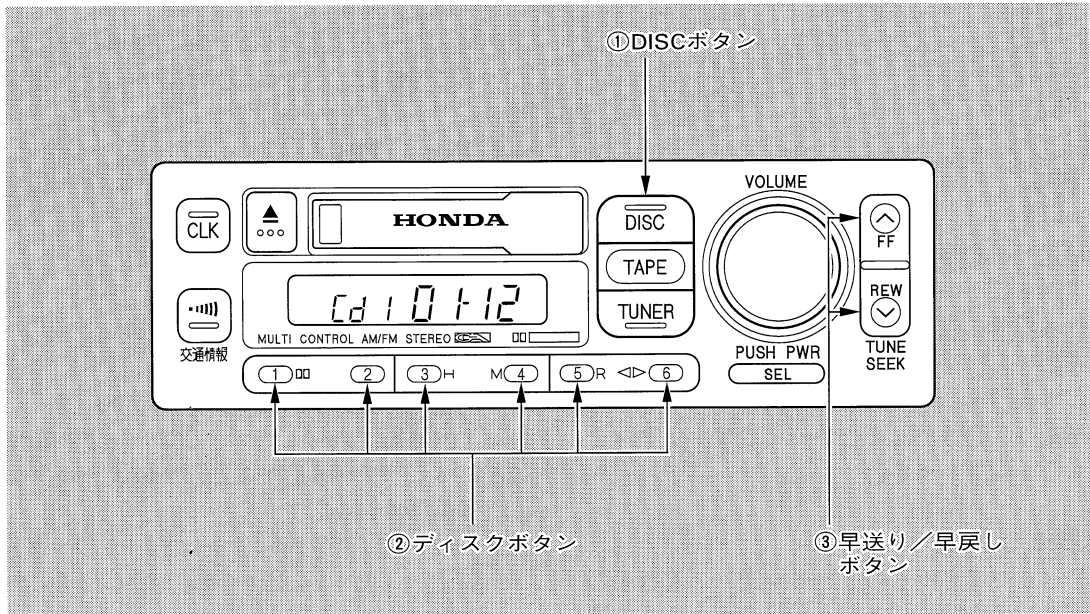
ドルビーNR再生中は、表示部に“NR”のドルビー表示灯が点灯します。ドルビーNR録音されたテープを再生すると、高域雑音の少ない演奏が楽しめます。

※ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー、DOLBY及びダブルD記号  はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。

●CDチェンジャーコントローラー、CD/MDプレーヤーの使いかた

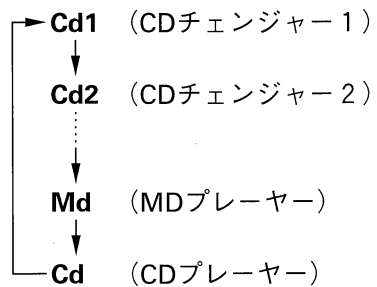
別売のCDチェンジャー、CD/MDプレーヤー等の接続時



ディスクの聞きかた

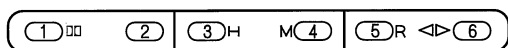
DISCボタン①を押して切り換えます。

ボタンを押すたびに接続されているプレーヤーに切り換わり、演奏が開始されます。



ディスクの呼び出し

CDチェンジャー接続時



ディスクボタン②を押すことで、演奏させたいディスクを呼び出すことができます。

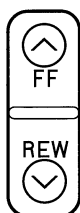
1～6枚目のディスクを選ぶときはディスクボタンを軽く押します。7枚目以降のディスクを選ぶときはディスクボタンを“ピッ”という電子音がするまで押します。

ディスクボタンに続けて早送り／早戻しボタン③を軽く押すと、トラックナンバーの指定もできます。

知識

- 7枚目以降のディスクを選ぶときは、ディスクボタンの1から6がそれぞれ7枚目、8枚目…になっています。

早送り、早戻し



TUNE
SEEK

早送り／早戻しボタン③で操作します。上のボタンを押し続けている間早送りされ、下のボタンを押し続けている間早戻しされません。

スキップ、リプレイ



TUNE
SEEK

スキップ、リプレイは早送り／早戻しボタン③を押して表示部のトラックナンバーを聞きたい曲番にします。

・スキップ

演奏中の曲より先の曲を聞くと、上のボタンを押します。

演奏中のディスクの最後の曲のときにスイッチを押すと、そのディスクの最初の曲になります。

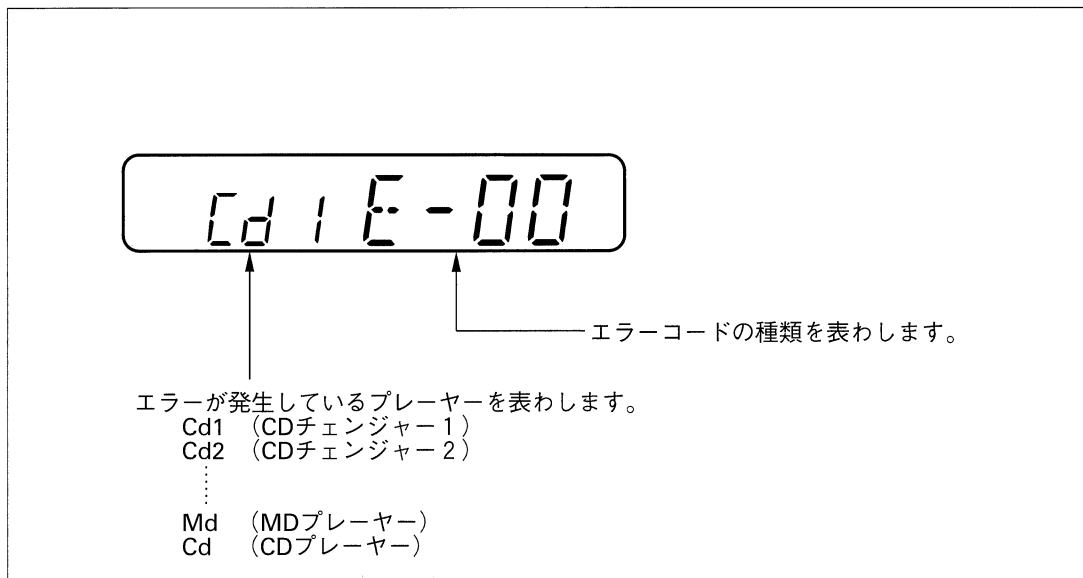
・リプレイ

演奏中の曲より前の曲を聞くと、または演奏中の曲を初めから聞くと、下のボタンを押します。

演奏中のディスクの最初の曲のときにスイッチを押すと、そのディスクの最後の曲になります。

エラーコード

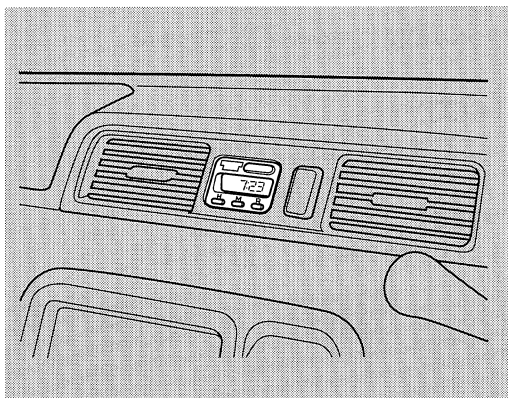
パネル表示部にエラーコードが表示されたときは、表示されているディスクのプレーヤーの取扱説明書をご覧になり、点検してください。



エラーコード	原因
E-00	ディスクマガジンやディスクの装着や取り出しができない等、機械的な不具合
---H	プレーヤー内部の温度上昇による不具合

室内装備品

時計／外気温表示



●時刻表示

エンジンスイッチが“II”で表示されます。

表示の合わせかた

「時」の調整

“H”ボタンを押している間、「時」の早送りができます。

「分」の調整

“M”ボタンを押している間、「分」の早送りができます。

「時報合わせ」

時報と同時に“R”ボタンを押すと時報に合わせるができます。

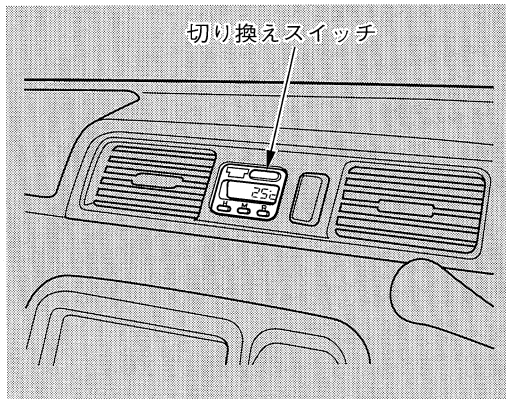
(例) 1:01～1:29の場合は1:00に
1:30～1:59の場合は2:00になります。

知識

- 「秒」表示はありませんが、“RESET”ボタンを押すと0秒から作動を始めます。
- バッテリーの取り外し、ヒューズ切れなどで電源が切れ、再び電源が接続されると“1:00”の表示から始まります。正しい時刻に合わせてください。

●外気温表示

切り換えスイッチを押して外気温表示にします。
もう一度スイッチを押すと、時計表示に戻ります。



外気温が下がってきて3°C以下になったとき、温度表示が約10秒間点滅します。(時計表示のときでも、一時的に外気温表示になります。)路面が凍結しているおそれがありますので、注意して運転してください。

🎓 知識

- フロントバンパー付近の外気温を測定しているため、エンジンルームや路面の熱の影響を受けやすい停車中や渋滞中などは正しい外気温を表示しないことがあります。

室内灯

“ON”

ドアの開閉に関係なく点灯します。

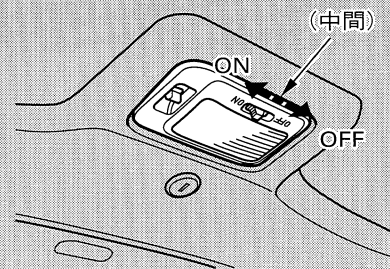
(中間)

ドアを開いたときのみ点灯します。

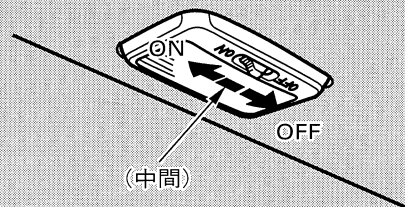
“OFF”

ドアの開閉に関係なく消灯します。

サンルーフ装備車



サンルーフ非装備車



🎓 知識

● キーレスエントリー装備車

“中間”位置のときに、キーレスエントリー用発信器でドアを解錠すると、同時に室内灯が点灯します。

テールゲート照明灯

“ON”

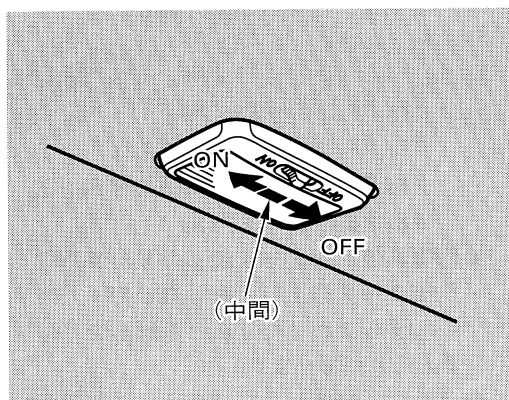
テールゲートの開閉に関係なく点灯します。

(中間)

テールゲートを開いたときのみ点灯します。

“OFF”

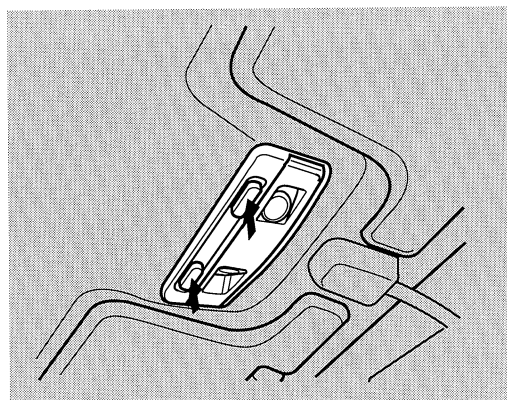
テールゲートの開閉に関係なく消灯します。



スポットライト

スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

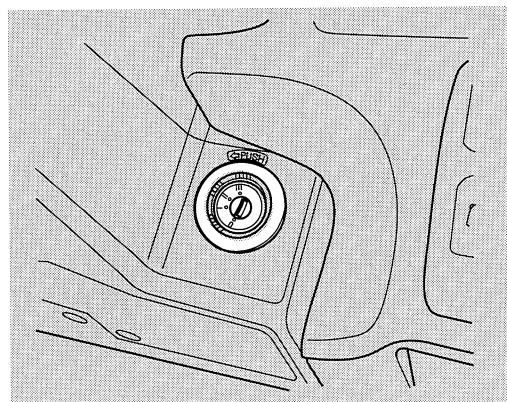
夜間、車を止めて地図などを見るときに便利です。



エンジンスイッチ照明灯

運転席ドアを開けると点灯します。

運転席ドアを閉めると数秒後に消灯します。

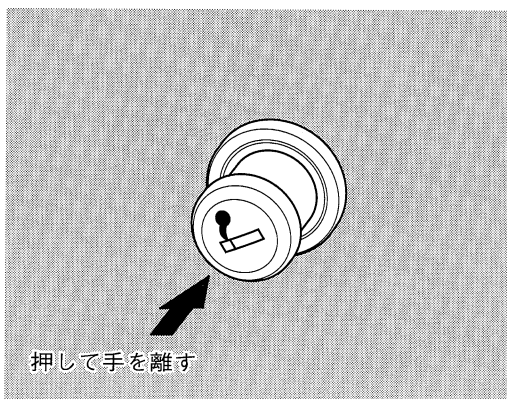


シガレットライター

エンジンスイッチが「I」または「II」のときだけ使えます。

ライターを押し込んで、手を離し、元の位置に戻るまで待ちます。

ヒーター部が赤熱すると自動的に戻ります。



ライター使用後は灰皿で灰を落としてからすみやかに元に戻してください。

⚠ 注意

- シガレットライターの金属部分には触れないでください。
やけどをするおそれがあります。

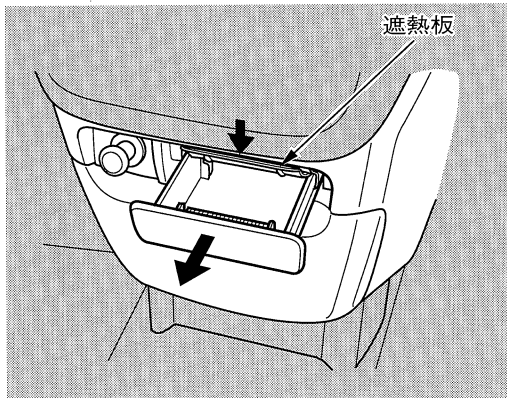
🎓 知識

- シガレットライターの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ライターを押し込んだあと、押さえ続けしないでください。
 - ・ヒーター部に灰や異物が付着したまま使用しないでください。
 - ・ライターのさし込み口からは、ホンダ純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。
- 他の車のライターを使ったり、自車のライターを修正したりしないでください。戻らなったり、とび出したりするおそれがあります。
- ライターを押し込んでから、30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き出し、ホンダ販売店で点検を受けてください。

灰皿

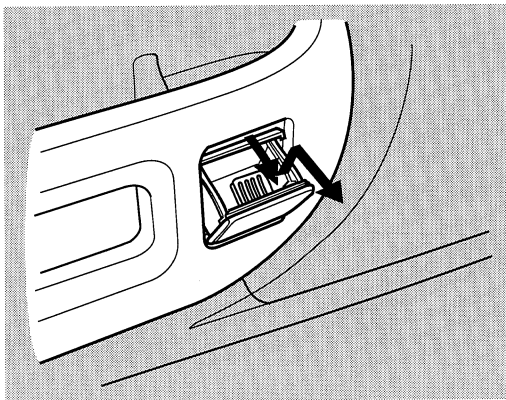
●前席用

清掃するときは遮熱板を下に押さえながら外します。



●後席用

清掃するときは図の状態を取り外します。

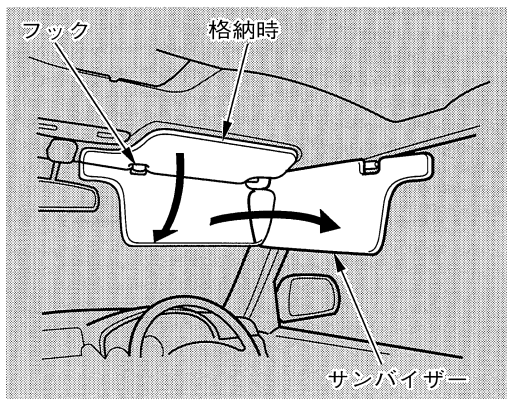


⚠注意

- タバコ、マッチなどは確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
また、吸いがらをためすぎたり、紙くずなどの燃えやすいものを入れないでください。
タバコの火が燃え広がるおそれがあります。

サンバイザー

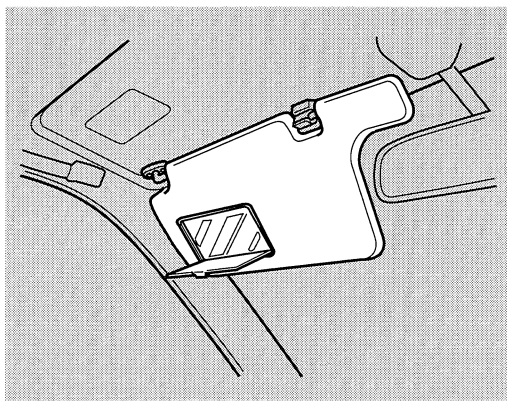
サンバイザーを横にするときは、フックから外して行います。



●バニティミラー(化粧鏡)

タイプ別装備

サンバイザーに鏡があります。
お化粧のときなどに便利です。

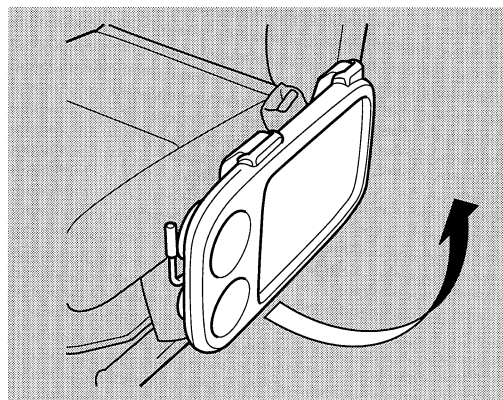


センターテーブル

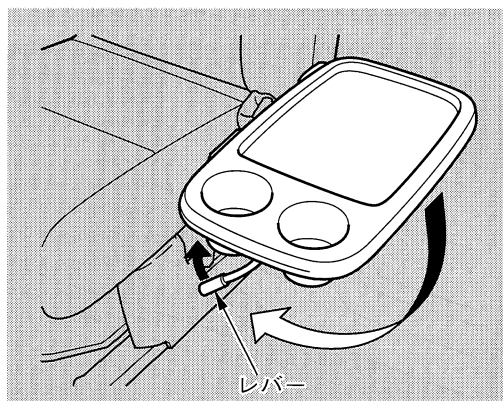
タイプ別装備

●使いかた

上に引き起こして固定します。



元に戻すときは、レバーを引いてテーブルをおろします。



📖 知識

- テーブルの上に乗ったり、下にもぐったり、重い物を置くなど無理な力をかけないでください。
破損や変形などの原因になります。
- 走行中にテーブルの上に物を置いておくと、落ちたり飛び出すことがあります。

●カップホルダー

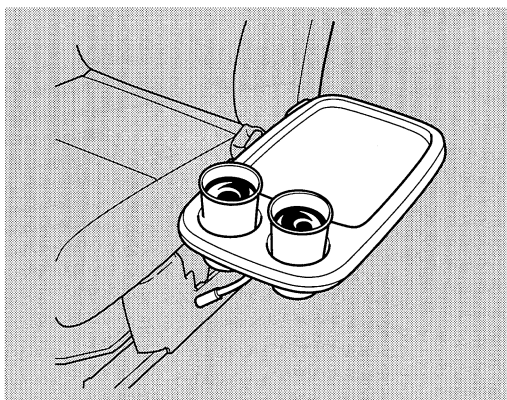
カップなどを置くときに使います。

📖 知識

- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。
熱い飲み物などはやけどのおそれがありますので注意してください。
- 飲み物がラジオ、カセットデッキ等にかかるると、故障の原因となりますので注意してください。

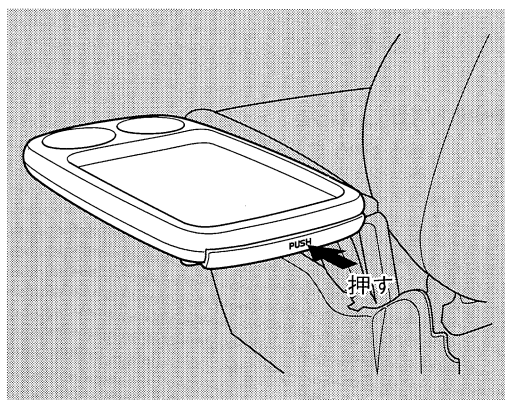
前席用

センターテーブルを起こして使います。

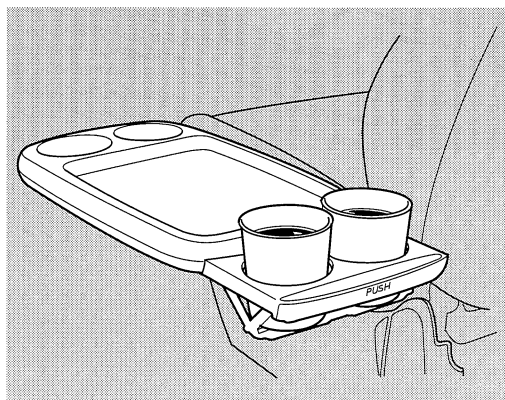


後席用

①矢印部を押すと少し手前に出てきます。



②完全に引き出します。



格納するときは、そのまま押し込みます。

📖 知識

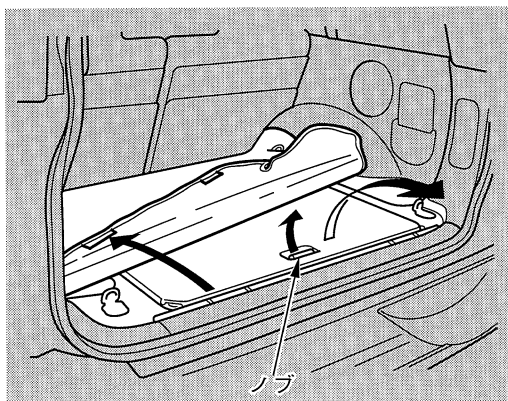
- カップホルダーに手をついたり荷物を置くなど無理な力をかけないでください。
- 飲み物が入っている状態でテーブルをおろさないでください。

ビルトインテーブル

トランクルーム内のリッドを取り出してテーブルとして使えます。

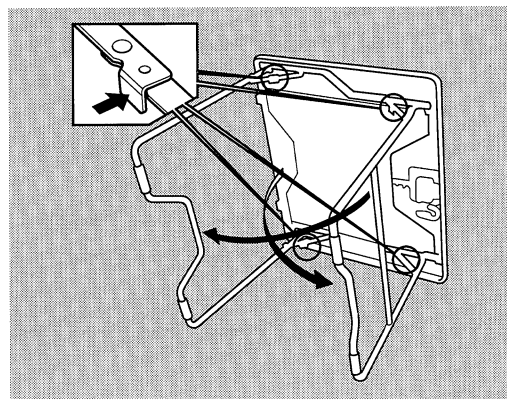
●取り出しかた

カーペットをめくり、ノブを引いて取り出します。

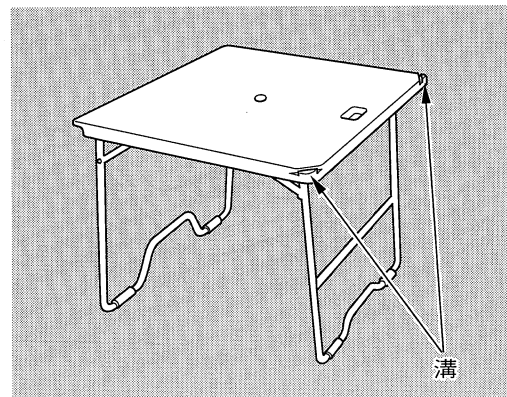


●テーブルの組み立てかた

テーブルの足をいっぱいにかき、確実にロックします。

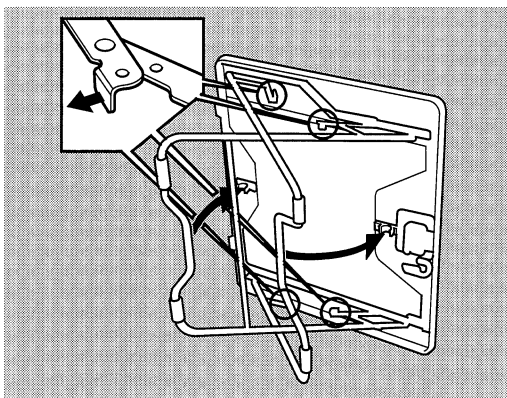


テーブルの端2か所に、小物や袋をかけられる溝があります。

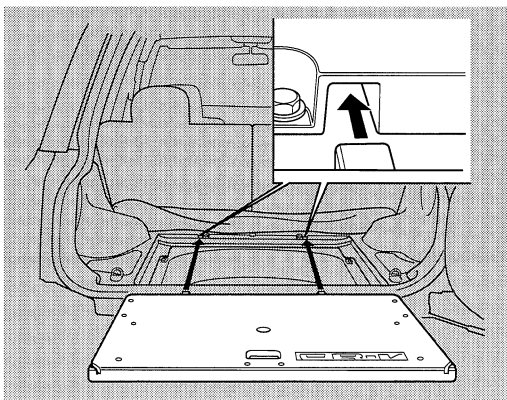


●収納のしかた

- ①テーブルのロックを外して足をたたみ、確実に固定します。



- ②テーブルの突起部をトランクルームの切り欠き部に合わせ確実に取り付けます。



⚠注意

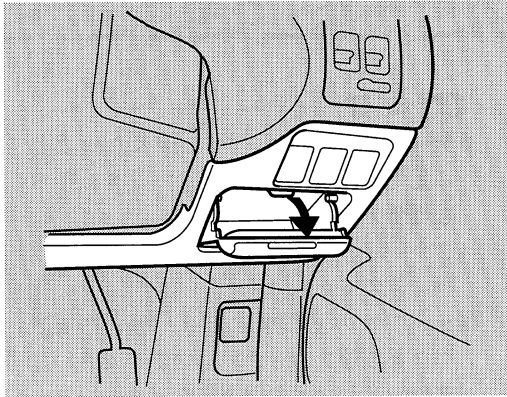
- テーブルを組み立てたり、収納するときは、指などはさまないように十分注意してください。

📖知識

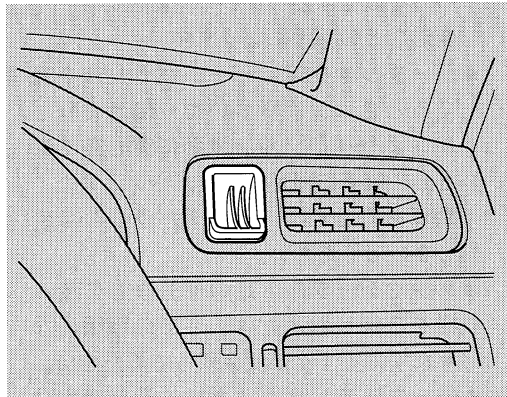
- テーブルを使うときは、倒れないように足をいっばいに開き、なるべく平らな場所でお使いください。
また、テーブルの端の溝に重い物をかけないでください。
- テーブルの上に乗ったり、重い物を置くなど無理な力をかけないでください。
破損や変形などの原因になります。
- テーブルの上に熱い物を直接のせたり、たき火や調理器具など高熱になるころのそばでは使わないでください。
変形などの原因になります。
- テーブル中央部にビーチパラソルを立てるときは、ぐらついたり倒れたりしないようパラソルを地面に突き差すなどして確実に固定してください。また、風があるときは、ビーチパラソルは使わないでください。
- ノブやテーブルの足の部分などに飲み物をこぼしたときは、さびの原因になりますのですぐに拭き取ってください。
- テーブルをしまうときは、汚れや水分を拭き取り、元の場所に確実に固定してください。

小銭入れ(コインボックス)

ふたを下げると開きます。小銭などを入れておくと有料道路の料金所などで便利です。



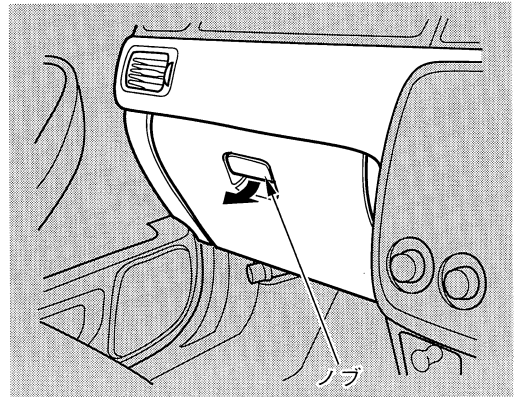
●コインホルダー サンルーフ非装備車



小物入れ

●グローブボックス

ノブを引くと開きます。

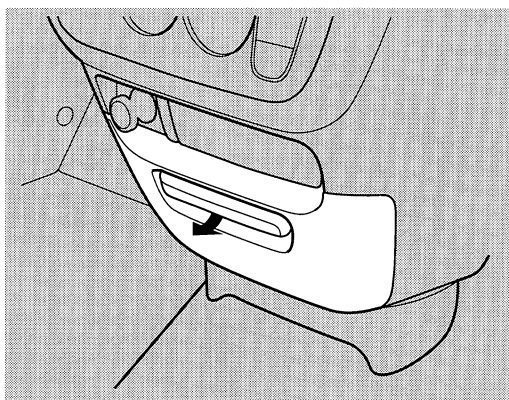


⚠ 警告

- 走行中は、グローブボックスのふたを必ず閉めてください。
グローブボックスのふたが開いていると、衝突したときなどにふたにぶつかったり、内部の物が飛び出したりして思わぬ事故につながります。

●センターポケット

ノブを引くと開きます。

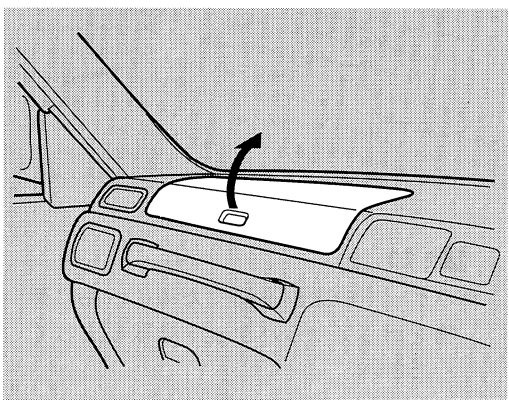

 知識

- ナビゲーションシステム装備車は、カセットプレーヤーがあります。

●アシスタントポケット

SRSエアバッグシステム非装備車

ノブを押して開けます。

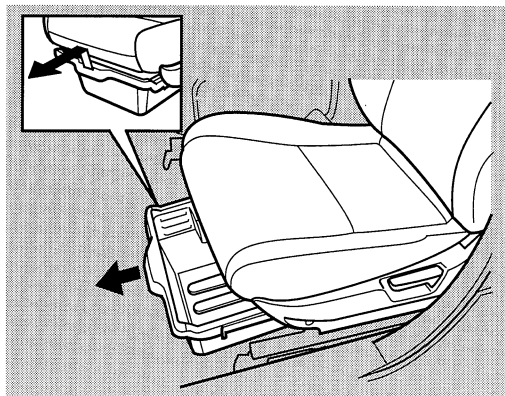


●シートアンダーボックス

(助手席のみ)

タイプ別装備

前端部を上を持ち上げながら、引き出します。



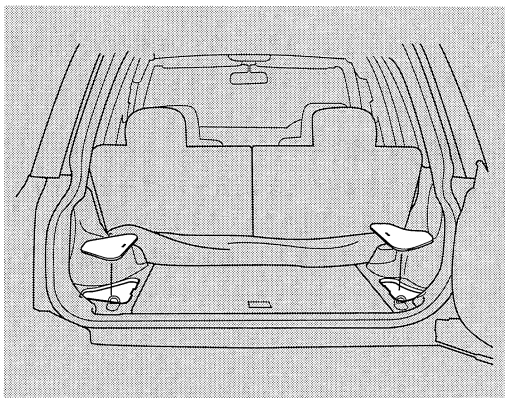
前側は、カードやティッシュボックスを置くのに便利です。

 知識

- シートアンダーボックスを引き出した状態で、上に乗ったり無理な力をかけないでください。
破損や変形などの原因になります。

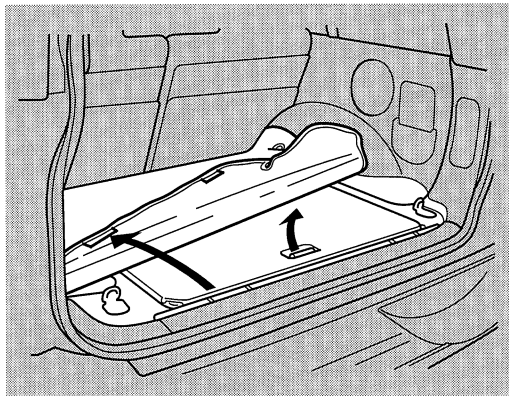
●カーゴフロアポケット

左右

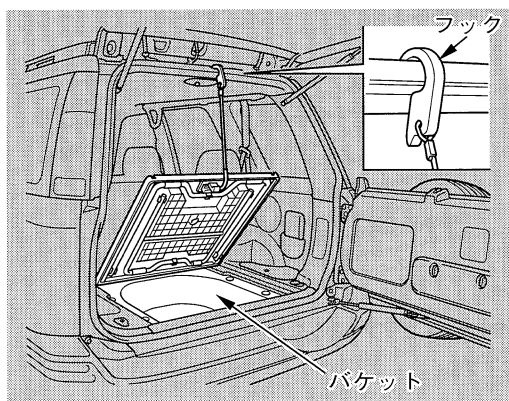


中央

ノブを引いてリッドを開けます。



リッドを開けたままにしておきたいときは、フックを外して図の位置にかけます。

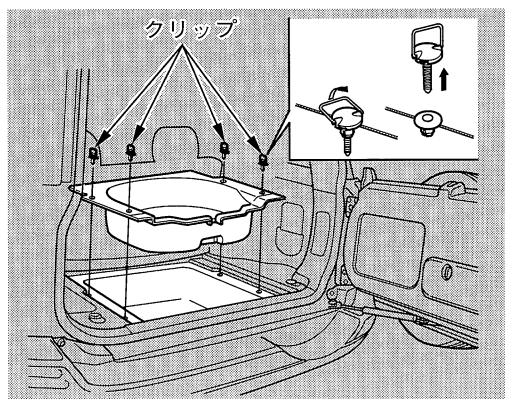


バケットは防水構造のため、水着などのぬれたものを入れるのに便利です。

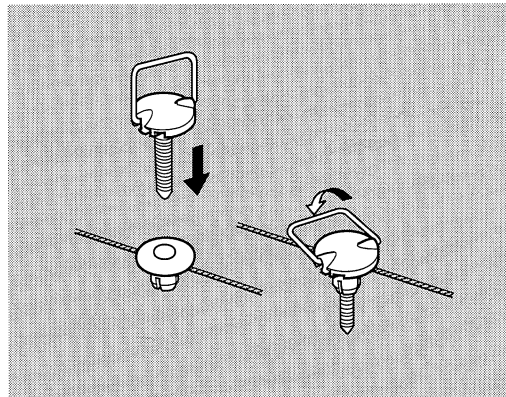
知識

- フックをかけたままテールゲート(ハッチガラス)を閉めないでください。フックや車体などに損傷を与えます。

- バケットの取り出しかた
クリップを4か所引き抜き、バケットを取り出します。



クリップを取り付けるときは、クリップを差し込んでリングを倒します。

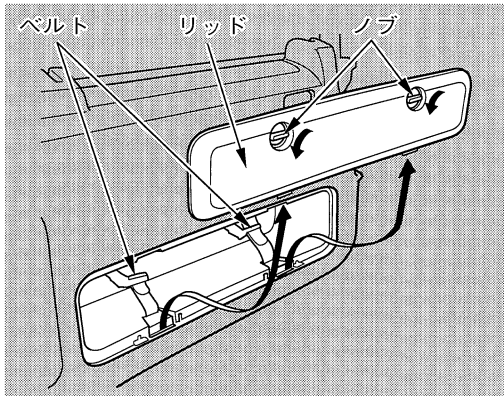


知識

- バケットの変形を防ぐために、先に荷物を出してからバケットを取り出してください。

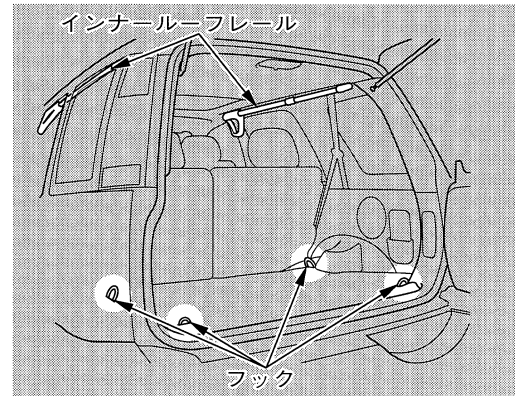
●テールゲートポケット

ノブを回してリッドを外します。
荷物は、ベルトで固定できます。



荷物フック

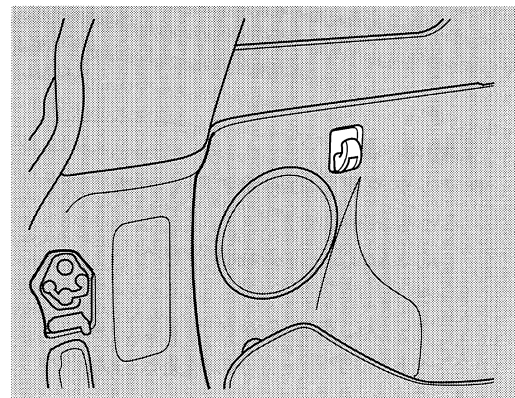
荷物を固定するときに使います。



🎓 知識

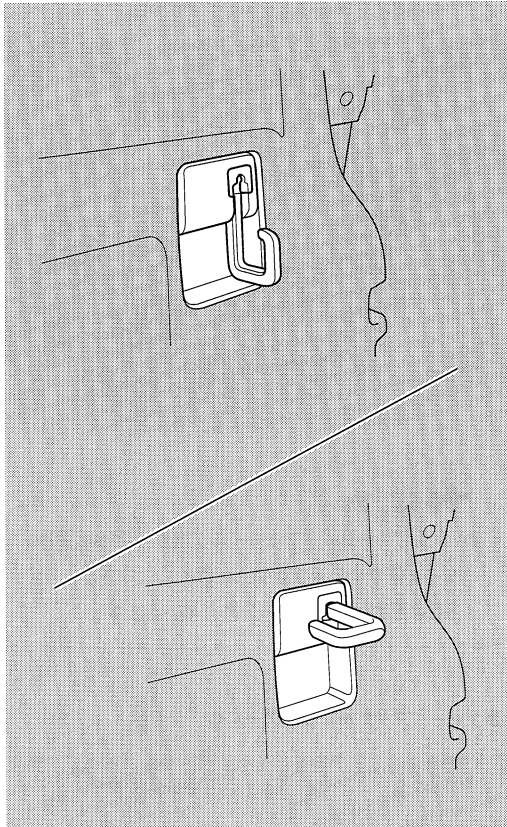
- インナールーフレールには、長時間強い力をかけつけないでください。樹脂部が変形することがあります。

●カーゴサイドフック



●フレキシブルカーゴフック

図のように引き出したり、起こして使えます。



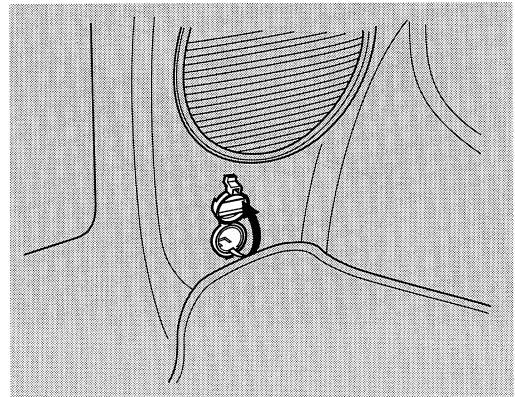
📖 知識

- フックや車体の破損を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・約3 kg以上の荷物はかけないでください。
 - ・フックに荷物をかけたままテールゲート(ロアゲート)の開閉はしないでください。

アクセサリースOCKET

カバーを外して使用します。

定格120W(12ボルト、10アンペア)まで使用できます。



📖 知識

- ホンダ純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。
バッテリーあがりやアクセサリースOCKETの損傷の原因となります。
- バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でご使用ください。
- シガレットライターは差し込まないでください。発熱するおそれがあります。
- アクセサリースOCKETを使わないときは、異物の侵入を防ぐためカバーを閉めてください。



5

万一のとき

工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所	138
工具の種類	139
発炎筒について	139

故障したとき

踏切で動けなくなったとき	140
高速道路で故障したとき	140
道路で動けなくなったとき	141
故障の修理について	141

事故が起きたとき

けん引

けん引されるとき (ロープによるけん引)	143
故障車をけん引するとき	145

パンクしたとき

ジャッキの取り扱い	146
スペアタイヤ	148
タイヤ交換	148

警告灯が点灯したとき

オーバーヒートしたとき

電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき	153
ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき	155
サンルーフが作動しないとき	161

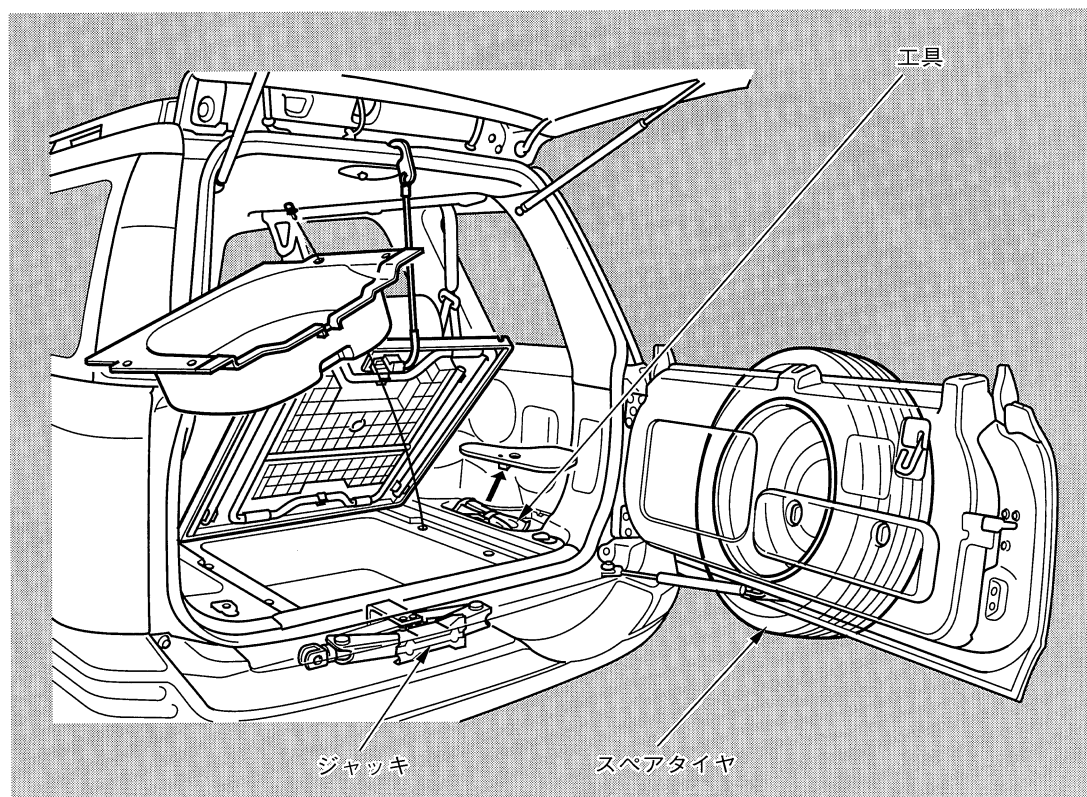
こんなことでお困りのとき

* 全国のホンダ販売店およびJAFの電話番号は別冊の「サービス網一覧」に記載してあります。

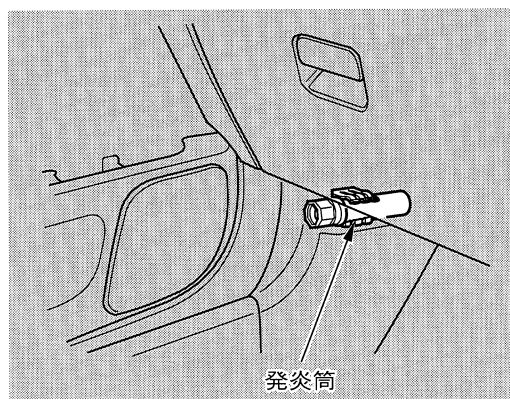
工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所

●工具・スペアタイヤ

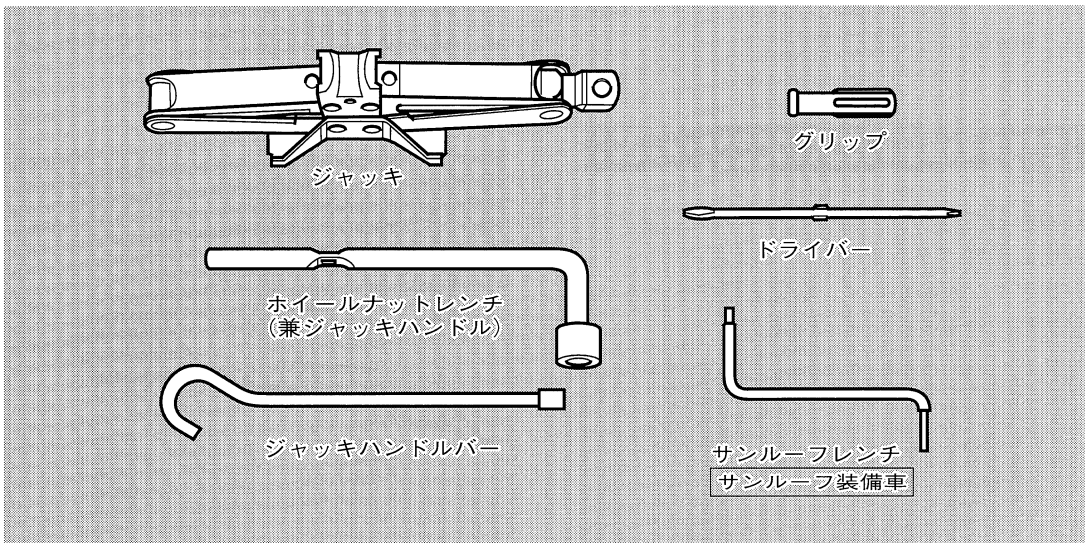


●発炎筒



発炎筒は助手席足元にあります。

工具の種類



知識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

発炎筒について

高速道路、踏切などの危険な場所で故障したときに使います。

発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- ・ 使いかた
- ・ 使用上の注意
- ・ 発炎時間
- ・ 有効期限

警告

- ガソリンなどの燃えやすいもののそばでは使わないでください。
火災や爆発のおそれがあります。

注意

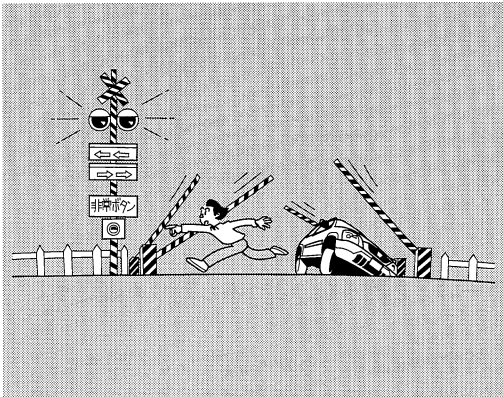
- お子さまにいじらせないでください。
いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 発炎筒を使うとき顔やからだに向けてとやけどなどをすることがあるのでおやめください。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。
トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

故障したとき

車を路肩に停め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板(または停止表示灯)、発炎筒を使い、後続する車に故障車とわかるようにします。

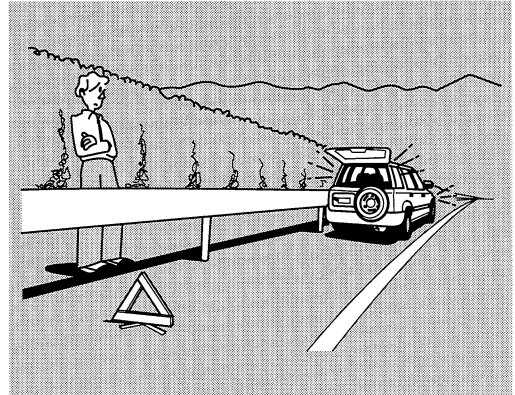
踏切で動けなくなったとき

脱輪などで踏切内で動けなくなったときは、踏切の非常ボタンを押してください。非常ボタンがわからず、緊急を要するときは、発炎筒で合図をしてください。



高速道路で故障したとき

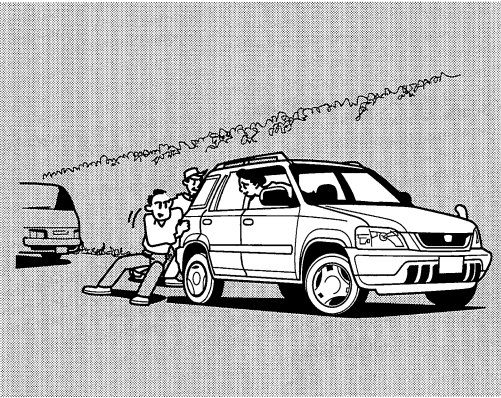
車を路側帯に寄せ、非常点滅表示灯を点滅させ、車両後方に停止表示板(または停止表示灯)を置いて表示してください。法律で義務づけられています。



人は車からおりて、安全な場所に避難してください。

道路で動けなくなったとき

一般道路で動けなくなったときは、付近の人に安全な場所まで押してもらってください。



故障の修理について

ホンダ販売店へお申しつけください。



お持ちこみいただければ、簡単なものはその場で修理いたします。長くかかるものは、予定をお知らせします。

お持ちこみのむずかしいときには電話でご連絡ください。

遠出などのときは全国どこでもホンダ販売店へご連絡ください。

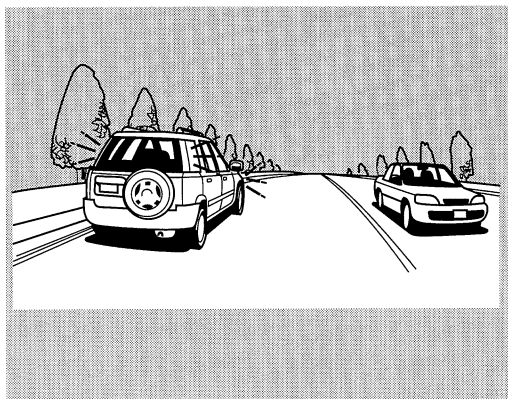
ホンダ販売店およびJAFの電話番号については別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

事故が起きたとき

あわてずに次の処置をとります。

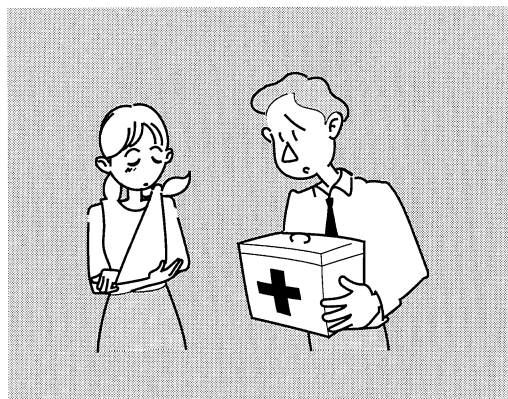
①事故の続発を防ぐ。

- ・他の交通の妨げにならないような安全な場所(路肩、あき地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。



②負傷者がいる場合は、応急手当を行う。

- ・医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。
この場合、とくに頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故の心配があるときは安全な場所に移動させます。



知識

- 外傷がなくても医師の診断を受けましょう。後になってから後遺症が出るおそれがあります。

③警察へ連絡する。

- ・事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。



④相手方、事故の状況をメモする。

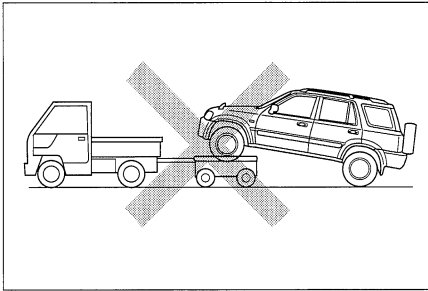
⑤ご購入された販売店や保険会社へ連絡する。

けん引

けん引は専門業者に依頼し、できるだけ四輪を持ち上げて行ってください。

アドバイス

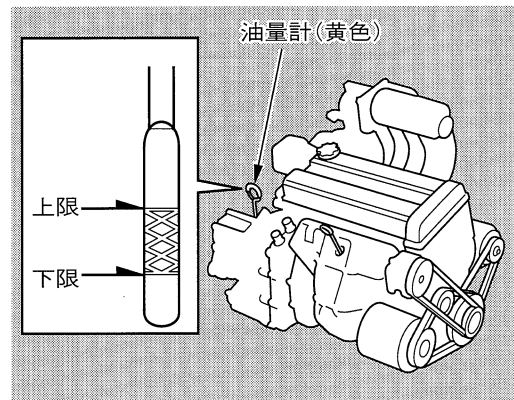
- 車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、必ず四輪を持ち上げてけん引してください。
- 前輪または後輪を台車に乗せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。
駆動装置が破損したり、車輪が台車から飛び出すおそれがあります。



けん引される時 (ロープによるけん引)

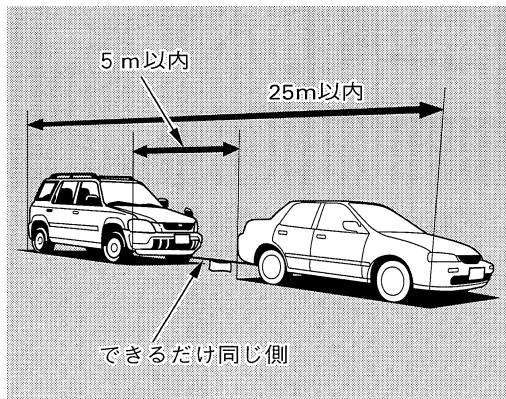
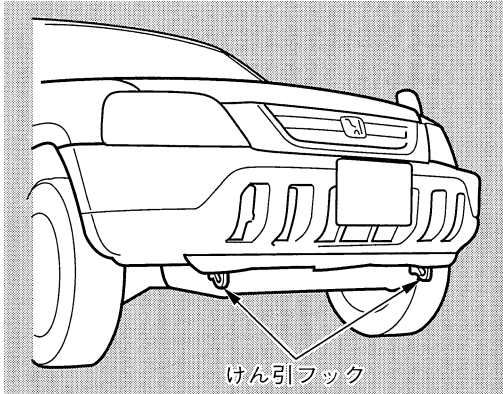
やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合は、次の方法で行ってください。

- ①トランスミッションオイルの量が目盛りの上限と下限の間にあるかを点検します。



下限より下がっている場合は、四輪を持ち上げてけん引してください。

- ②ロープをけん引フックにかけ、ロープ中央部に白い布(0.3m平方以上)を付けます。



- ③セレクトレバーはN(ニュートラル)に、エンジンスイッチは“I”または“II”にします。
- ④駐車ブレーキを解除し、けん引されます。けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。
- ⑤速度30km/h以下、走行距離80km以内でけん引してください。

🚗 アドバイス


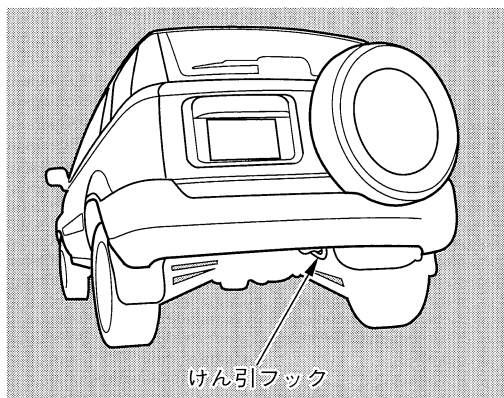
- けん引フックにロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
 - スポーツグリル装着車は、スポーツグリルにロープをかけないでください。
 - ・けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使ってけん引されるときは、車体に当たる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。そのままけん引されると、バンパーに傷をつけるおそれがあります。

 知識

- エンジンが停止している状態でのけん引は、次のことに気をつけてください。
 - ・ ブレーキの倍力装置がはたらかなくなるので、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・ パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなるので、ハンドル操作が重くなります。
- 長い下り坂では、ブレーキ部の温度が上がりブレーキがきかなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。

故障車をけん引するとき

やむをえず故障車をけん引するときは、自車より重い車のけん引は避けてください。

 アドバイス

- けん引フック以外のところにロープをかけてけん引しないでください。

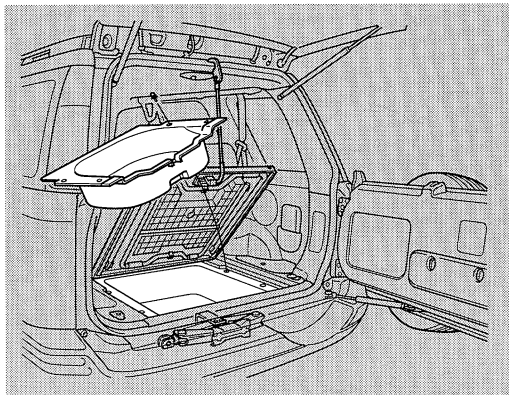
パンクしたとき

ジャッキの取り扱い

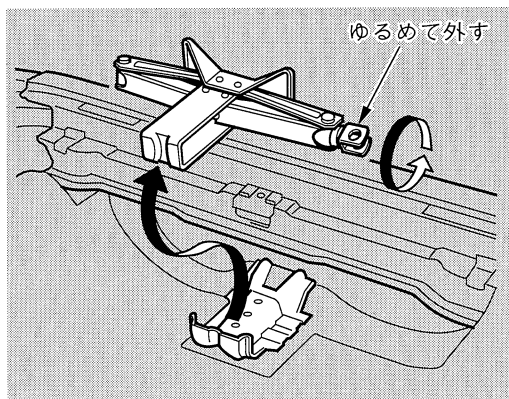
●ジャッキの取り出しかた

- ①カーゴフロアバケットを外します。
カーゴフロアバケットの外しかた

→134ページ



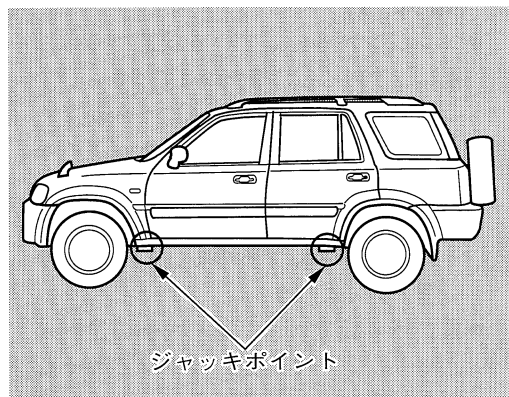
- ②ジャッキをゆるめて外します。



知識

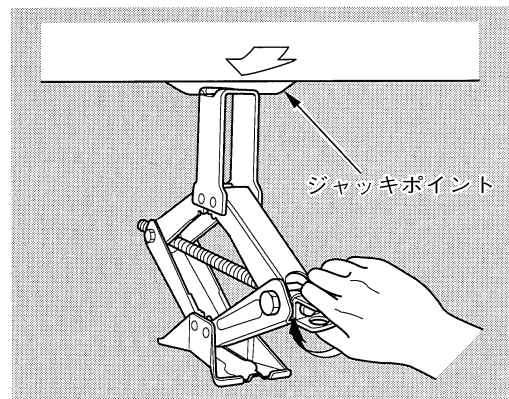
- ジャッキを格納するときはドライバーなどで無理に締めないでください。ジャッキ取り付け部が変形するおそれがあります。

●ジャッキをかける位置

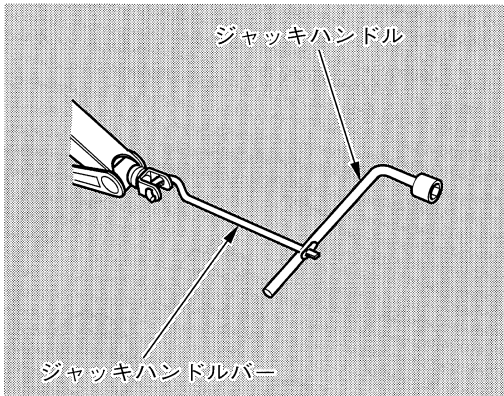


●ジャッキのかけかた

- ①地面が固い平らなところに車を停めます。
- ②駐車ブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。
- ③ジャッキを地面に置き、手で回してジャッキの溝がジャッキポイントに入るまで上げます。



- ④ ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤと地面が少し離れるまで車体を上げます。



⚠ 警告

- 車がジャッキだけで支えられているときは、不安定な状態にあるので車の下に入ったりしないでください。
万一、ジャッキが外れると、思わぬ事故につながります。

⚠ 注意

- ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守ってください。
 - ・ エンジンをかけたままにしない。
 - ・ 地面が固い平らなところ以外ではかけない。
 - ・ 指定された位置以外にかけない。
 - ・ 人や荷物をのせたままにしない。
 - ・ ジャッキの上や下に物をいれたりしない。
 - ・ タイヤ交換やタイヤチェーン脱着以外には使用しない

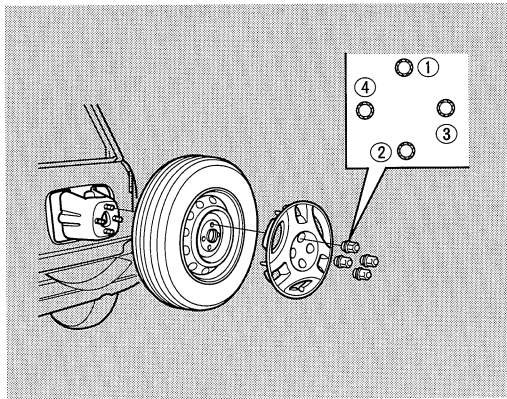
🎓 知識

- この車に搭載されているジャッキをお使いください。他のジャッキでは、支えられる重量(呼荷重)が不足したり、形状が合わないことがあります。

スペアタイヤ

●取り外しかた

ホイールナットレンチで図の番号順にナットをゆるめて外します。



●取り付けかた

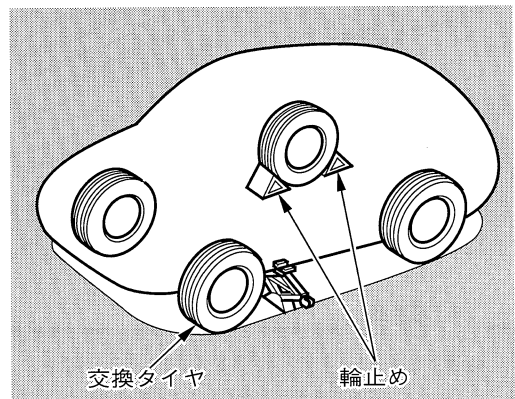
取り外したときの逆の手順で取り付けます。

(参考)ホイールナット締め付けトルク:

5-6 kgf·m

タイヤ交換

- ①車を安全な場所に止め、工具類、スペアタイヤを取り出します。
- ②駐車ブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。



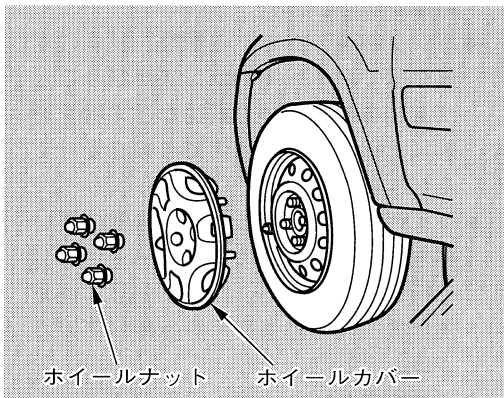
- ③スペアタイヤは交換するタイヤ近くの車体の下にホイール表面を上にして置きます。
 - ④ジャッキをセットします。
- 146ページ
- ⑤ホイールナットをホイールナットレンチで少し(約1回転)ゆるめます。



- ⑥タイヤと地面が少し離れるまでジャッキで車体を上げます。



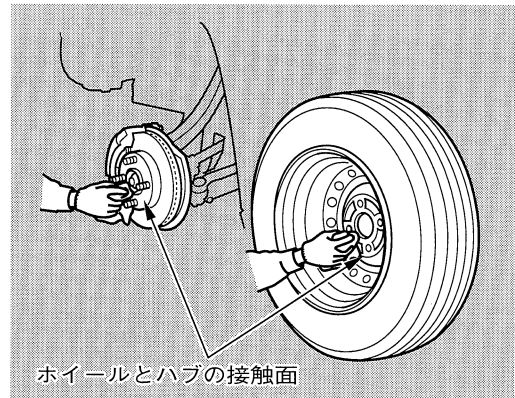
- ⑦ホイールナット、ホイールカバー(タイプ別装備)を外し、タイヤを外します。



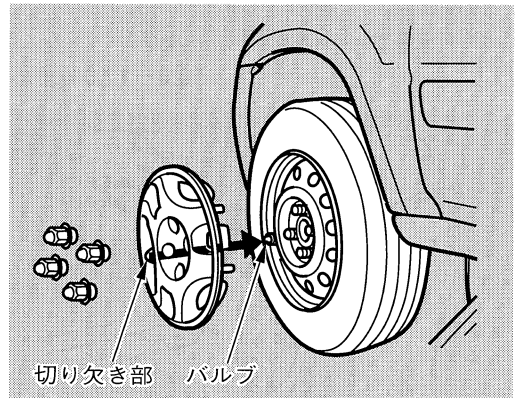
知識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

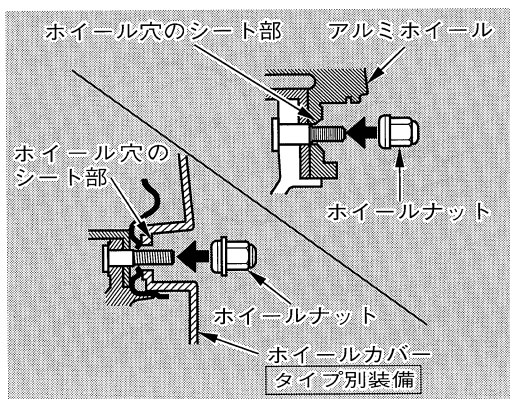
- ⑧スペアタイヤのホイールと、ハブの接触面のよごれをふき取ります。



- ⑨ホイールカバー(タイプ別装備)を取り付けるときは、切り欠き部がバルブの位置にくるようにします。



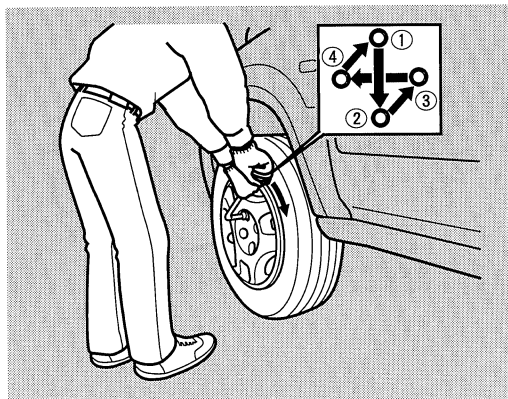
- ⑩ ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



- ⑪ ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にあたり、ホイールナットをしっかりと締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク:

10.0-12.0 kgf-m



🚗 アドバイス

- 四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響を与えます。

📖 知識

- この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダ販売店にご相談ください。
- レンチを足で踏んだり、パイプなどを使って必要以上に締め付けないでください。
トルクがかかりすぎることがあります。
- **アルミホイール装備車**
パンク修理などでホイールを取り付け直したときには、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- パンク修理、タイヤの摩耗、リムの変形などでホイールバランスが狂うことがあります。車体の振動などの異常を感じたらホンダ販売店で点検を受けてください。
- タイヤ交換は安全のため、地面の硬い平らな場所で、他の交通に十分注意して行ってください。必要に応じて停止表示板、非常点滅表示灯を使ってください。
- 必ず指定サイズ、同一種類のタイヤを使ってください。指定サイズ以外のタイヤや種類の異なるタイヤを使うと安全性を損じます。
- スペアタイヤの空気圧は使うときに調整してください。
やむをえず、未調整のまま走る場合は、速度を控えめにしてください。
タイヤの空気圧 →188ページ
- ホイールカバー(タイプ別装備)は、ホイールナットを外さないと取り外しができません。ドライバーなどで無理にこじらないでください。

警告灯が点灯したとき

運転中、警告灯が点灯(点滅)したときは安全な場所に停車して下記の処置を行ってください。

警告灯	警告灯の名称	処 置
	油圧警告灯	エンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。 エンジンオイルが減っていないのに点灯したときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにホンダ販売店へご連絡ください。 →67ページ
	ブレーキ警告灯	ブレーキ液量を点検し、下限より下がっていたらホンダ販売店へご連絡ください。 →67ページ
	トランスミッション警告灯(点滅)	急発進、急加速を避けてただちにホンダ販売店で点検を受けてください。 →67ページ
	PGM-FI警告灯	高速走行を避けてただちにホンダ販売店で点検を受けてください。 →68ページ
	充電警告灯	エアコン、リヤデフロスタースイッチを“OFF”にして、ただちにホンダ販売店で点検を受けてください。 →68ページ
	排気温警告灯	枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10分以上エンジンを止めて触媒装置を冷やしてください。一度点灯した警告灯は、修理するまで消灯しません。ただちにホンダ販売店で点検を受けてください。 →68ページ
	SRSエアバッグシステム警告灯	すみやかにホンダ販売店で点検を受けてください。 →93ページ
	アンチロックブレーキシステム(ABS)警告灯	すみやかにホンダ販売店で点検を受けてください。 →95ページ

オーバーヒートしたとき

次のようなときは、オーバーヒートです。

- ・水温計の針が“H”の目盛に入ったり、エンジンの力が急に落ちる。
- ・エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている。

⚠ 警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けないでください。

蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

●処置のしかた

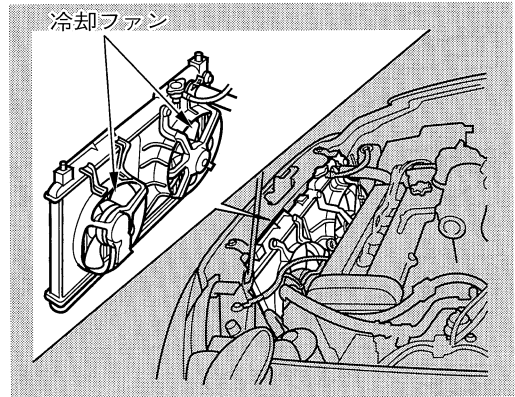
- ①車を安全な場所に停めます。
- ②エンジンをかけたままボンネットを開けて風通しをよくします。



🎓 知識

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジンを止めます。蒸気が出なくなったらボンネットを開け、エンジンをかけてください。

- ③冷却ファンの作動を確認し、水温計の針が下がってきからエンジンを止めます。冷却ファンが作動していないときはすぐにエンジンを止めてください。



🚗 アドバイス

- 冷却ファンが作動していない場合は、故障が考えられますので、ホンダ販売店へご連絡ください。

- ④エンジンが冷えてから、冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検します。
- ⑤冷却水量が不足していたら補給します。

⚠ 警告

- エンジンが十分に冷え、水温が下がるまでラジエーターキャップを外さないでください。冷却水には圧力がかかっているため、蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ⑥なるべく早くホンダ販売店で点検を受けてください。

電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- ・スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからない。
- ・ライトがいつもより極端に暗かったり、ホーンの音が小さい。

●処置のしかた

安全のため、押しがけはしないでください。救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動させます。

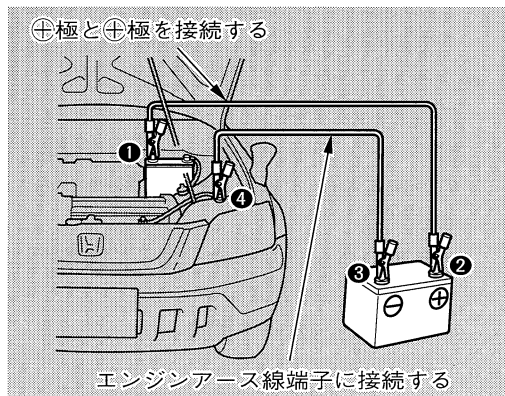
①ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1本目 ①自車のバッテリーの⊕端子

②救援車のバッテリーの⊕端子

2本目 ③救援車のバッテリーの⊖端子

④自車のエンジンのアース線端子



②救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。

③自車のエンジンをかけます。

④ブースターケーブルをつないだときと逆の順序で外します。

⑤ホンダ販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。

⚠ 警告

- バッテリーを取り扱うときは次のことを必ず守ってください。
バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・火気を近づけないでください。
 - ・帯電した体でバッテリーに触れないでください。
 - ・換気に十分注意し、換気の悪い場所では行わないでください。
 - ・バッテリーを充電するときは、すべてのキャップを外してください。
- ブースターケーブルをつなぐときは次のことを必ず守ってください。火花が出て、バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・自車のバッテリーの⊖端子に直接ケーブルをつながないでください。
 - ・⊕端子と⊖端子を間違えないでください。
 - ・ケーブルの先端どうしを接触させないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に着くとその部分が侵されますので十分注意してください。
万一、付着したときはすぐ多量の水ですくなくとも5分間以上洗浄し、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

📖 知識

- ブースターケーブルのクリップは、エンジン始動時などの振動で外れたりしないように確実に固定してください。また、ブースターケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分気をつけてください。
- オートマチック車は、押しがけはできません。
- 救援車には、12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。

ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき

バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れや電球(バルブ)切れが考えられます。

- ①エンジンスイッチを“0”の位置にします。
- ②ヒューズが切れていないかを点検します。
 - ・故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズボックスの表示で確認し、点検します。
- ③必要に応じて、ヒューズや電球を交換します。

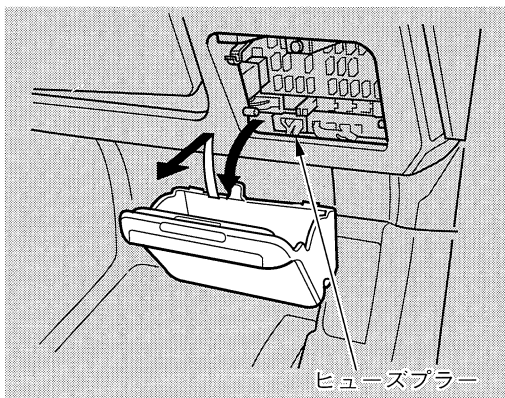
●ヒューズの点検、交換

ヒューズボックス

ヒューズボックスは、運転席足元およびエンジンルーム内にあります。

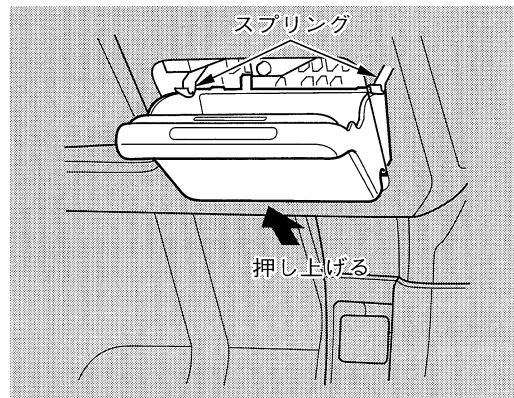
・運転席足元

コインボックスを開け、持ち上げながら手前に引いて取り外します。

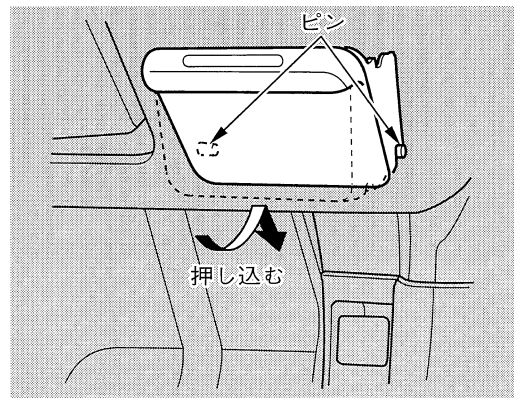


コインボックスを取り付けるときは、次の手順で行います。

- ①スプリングにポケットの溝を合わせて全体を押し上げます。

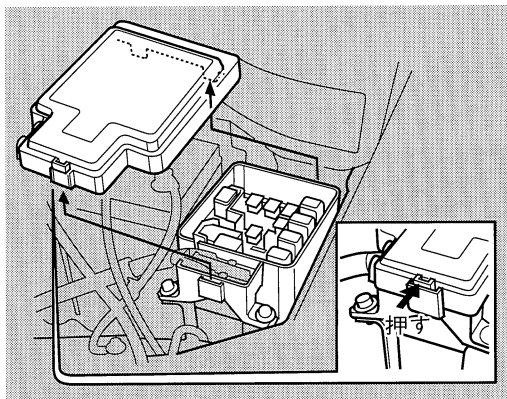


- ②下側を押し込み、両側のピンをポケットの溝に確実にセットします。

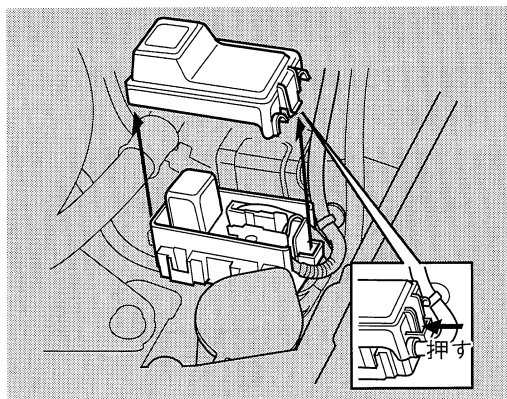


- ③コインボックスを閉めます。

• エンジンルーム内

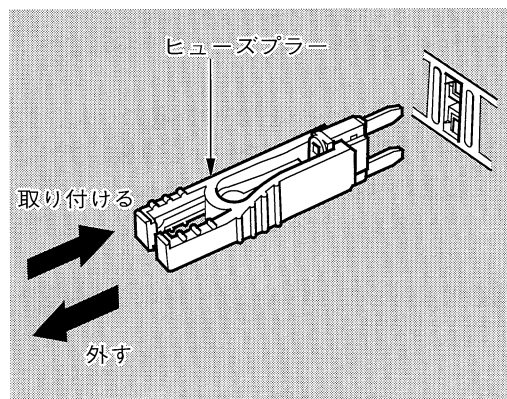


ABS装備車

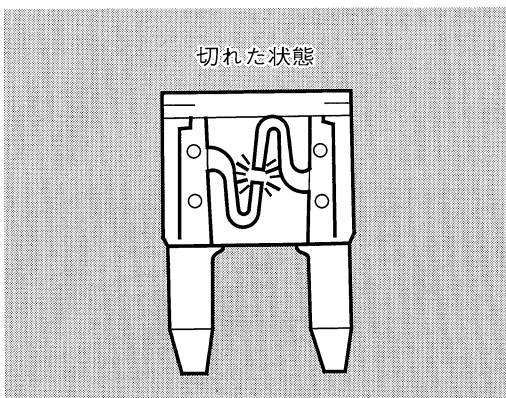


ヒューズの外しかた

備え付けのヒューズプラーでヒューズを外します。



ヒューズが切れているとき



ヒューズボックスの表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

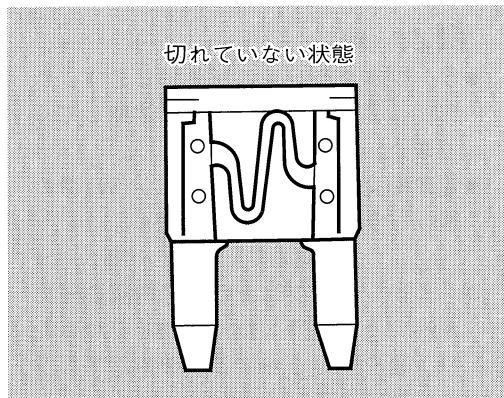
アドバイス

- 規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。配線コードなどを焼損させる原因となります。

知識

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダ販売店で点検を受けてください。

ヒューズが切れていないとき



- ライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。

電球(バルブ)の交換 →158ページ

知識

- 電球が切れていない場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダ販売店で点検を受けてください。
- ライト類以外の電気装置が作動しないときは、電気系統の異常が考えられますので、ホンダ販売店で点検を受けてください。

●電球(バルブ)の交換

🏠 知識

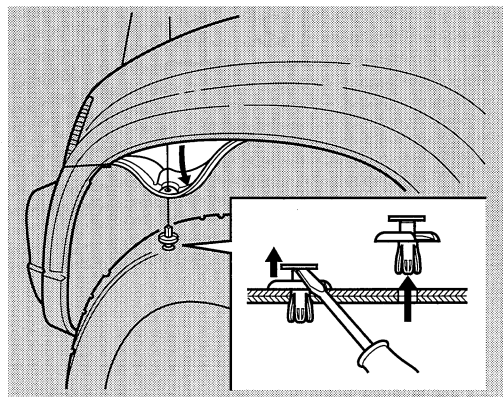
- ランプ本体やレンズを外すときは、ボディに傷を付けないように注意してください。
- 電球を交換するときはワット(W)数の違うものを使わないでください。

電球のワット数 →185ページ

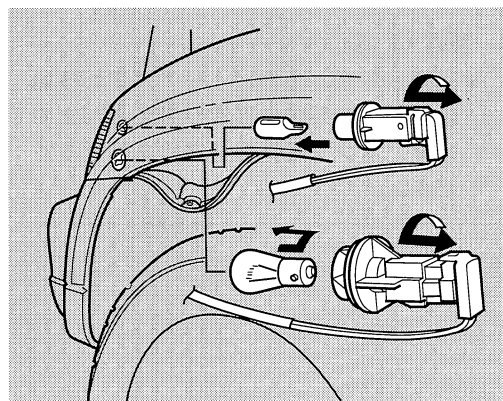
- ハロゲンバルブはガラス球内部の圧力が高いため、落したり、物をぶついたり、傷をつけたりと破損してガラスが飛び散ることがあります。取り扱いには十分に注意してください。また、ハロゲンバルブの電球の表面に手などが触れないようにしてください。使用時電球が高温になるため、油などが付着すると寿命が短くなります。触れた場合は、中性洗剤の薄い水溶液を柔らかい布に含ませてよくふき取ってください。
- レンズを取り付けるときは、ネジを締めすぎないようにしてください。レンズを破損するおそれがあります。

前面方向指示器／前面非常点滅表示灯、車幅灯

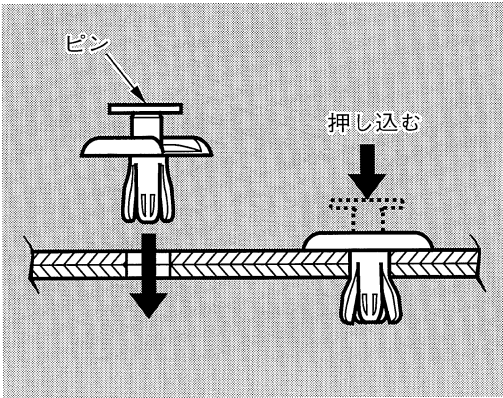
- ①交換する側と反対に、ハンドルをいっぱいに切ります。
- ②クリップを外してインナーフェンダーをめくります。



- ③ソケットを左に回して外し、前面方向指示器／前面非常点滅表示灯は電球を押しながら左に回して抜き取ります。車幅灯は、電球を抜き取ります。

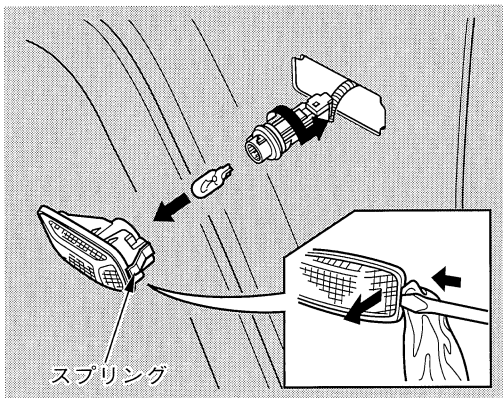


インナーフェンダーを固定するときは、クリップを中央部のピンを起こしたままインナーフェンダーに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。



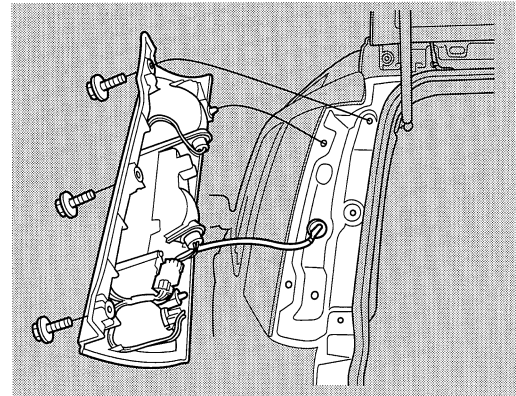
側面方向指示器／側面非常点滅表示灯

ドライバーの先端に布などを巻き、右側よりスプリングを押しながらランプ本体を外します。ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

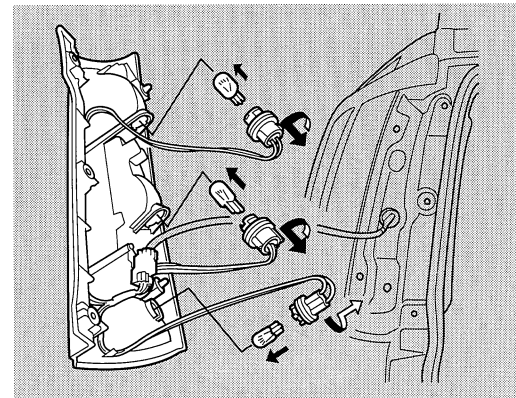


制動灯／尾灯、後面方向指示器／後面非常点滅表示灯、後退灯

①ネジを外してランプ本体を取り外します。

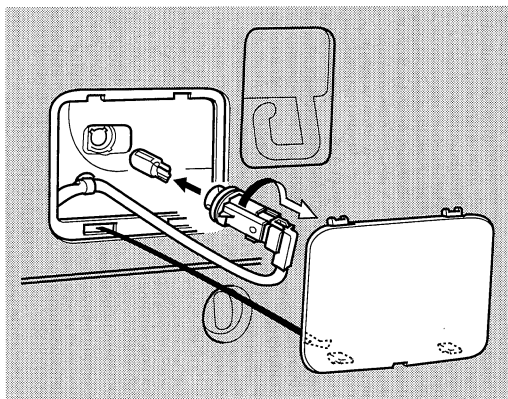


②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



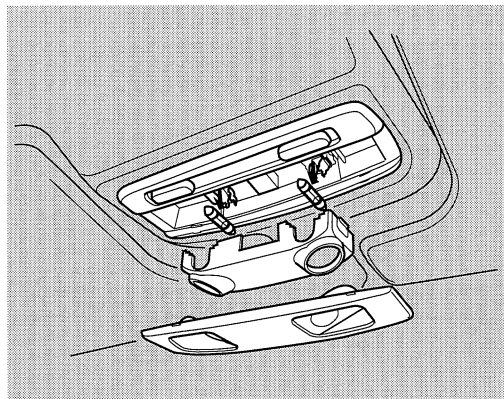
番号灯

ロアゲートにあるカバーを開け、ソケットを左に回して外し、電球を抜き取ります。



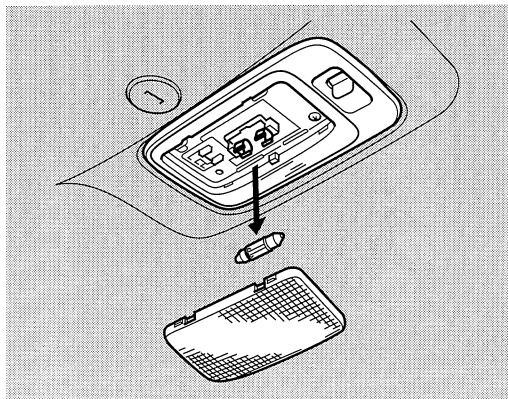
スポットライト

レンズを外し、内側のカバーを外して、電球を抜き取ります。



室内灯、テールゲート照明灯

レンズを外し、電球を抜き取ります。



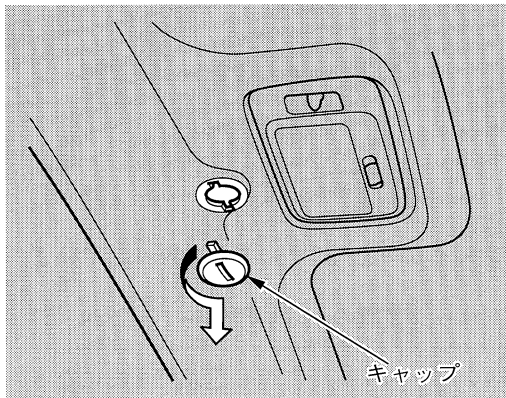
サンルーフが作動しないとき

サンルーフ装備車

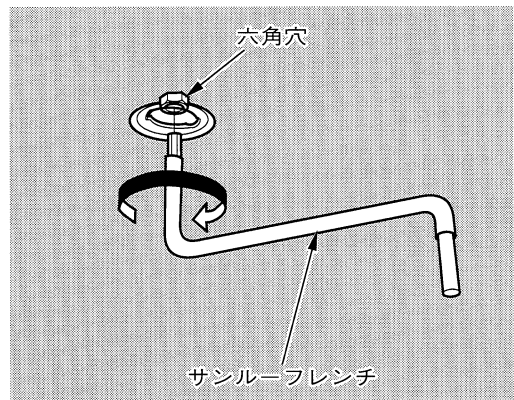
万一、電動でサンルーフが閉まらなくなった場合は、応急処置として工具袋内のサンルーフレンチを使って開めてください。

工具 →139ページ

- ①前席ルーフ中央のキャップをコインなどで回し、キャップの溝が図のように左右を向いたところで取り外します。



- ②六角穴にサンルーフレンチを差し込んで回します。

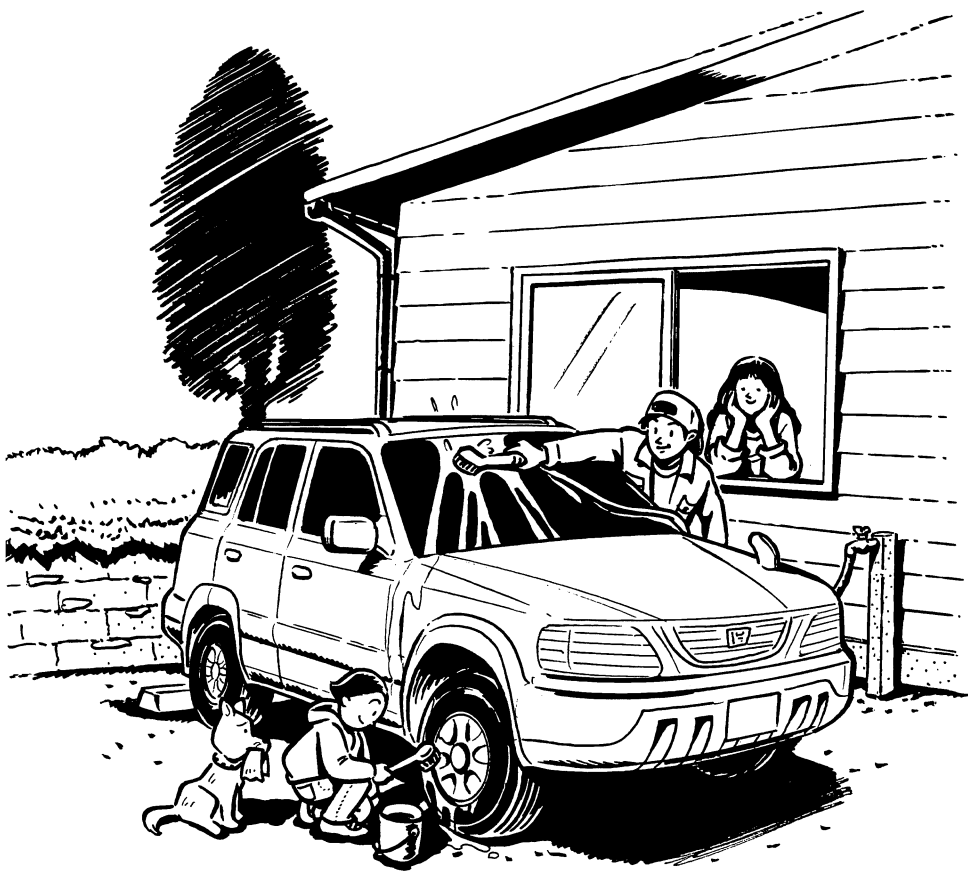


知識

- 応急処置後はホンダ販売店で点検を受けてください。

こんなことでお困りのとき

症 状	処 置
キーが回せない	<p>“0”から“I”にまわらないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。 エンジンスイッチ →71ページ <p>“I”から“0”にまわらないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セレクトレバーがPに入っていますか。 キーインターロックについて →71ページ
エンジンがかからない	<ul style="list-style-type: none"> ・セレクトレバーがPかNに入っていますか。 ・ガソリンが入っていますか。 (メーター内の燃料計で確認してください。) ・バッテリーがあがっていませんか。 バッテリーあがりのとき →153ページ
セレクトレバーがPから動かさない	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキペダルを踏んでから操作していますか。 (操作できないときは、キーをシフトロック解除穴に差し込み押しながらセレクトレバーを動かしてください。) ・エンジンスイッチを“II”にしてから操作していますか。 シフトロック装置の正しい理解を →23ページ
ドアを開けるとブザーが鳴る	<ul style="list-style-type: none"> ・キーをエンジンスイッチに差し込んだままになっていませんか。 キー抜き忘れ警告ブザー →71ページ ・ライトを消し忘れたままになっていませんか。 ライト消し忘れ警告ブザー →72ページ
キーを閉じ込めてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ・ホンダ販売店またはJAFへご連絡ください。
水温計の針が“H”の目盛に入った	<ul style="list-style-type: none"> ・オーバーヒートのおそれがあります。 (安全な場所に停車して、エンジンを冷やしてください) オーバーヒートしたとき →152ページ
エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている	
走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。 (ホンダ販売店で点検を行ってください。)



6

車の手入れ

点検・整備について……………164

お車を美しく保つために……………165

外装の手入れ

洗車のしかた……………166

ワックスをかけるとき……………167

樹脂塗装部品

(バンパーなど)の手入れ……………167

ガラスの手入れ……………167

タイヤについて……………168

アルミホイールについて……………170

内装の手入れ

液体芳香剤・

レザークリーナーについて……………171

車にあった部品の使用……………172

点検・整備について

車は走行するにしたがい、また時間が経過するとともに部品の劣化や摩耗などが進んでいき、適切な点検整備を行わないと、安全・快適に乗っていただけなくなるばかりか大気汚染や騒音の増加などを引き起こすことがあります。

このようなことから点検整備が必要であり、ドライバー(運転者)は点検整備を実施することが法律でも義務づけられています。

詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載してありますので、よくお読みになり必ず点検整備を行ってください。

●点検整備の種類

日常点検

日常の車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

点検時期の目安としては長距離走行前や洗車時、給油時などに実施します。

法定定期点検

年間走行距離が10,000 km程度の標準的な使用を前提に、12か月および24か月毎に実施する点検です。

法律で定められているものと、ホンダが指定するものがあります。

その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われ方をしたときの点検整備があります。

お車を美しく保つために

走行後は

- 塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としましょう。
- とび石などによる塗装面の傷は錆の原因となります。見つけたら早めに補修してください。

保管、駐車は

- 風通しのよい車庫や、屋根のある場所をおすすめします。

洗車を忘れずに

- 少なくとも月に一度は洗車しましょう。
- 次の場合は、必ず洗車してください。
 - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき、海岸地帯を走行したとき。
錆の原因となるので車体の下回り、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。
 - ・ コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などがついたとき。
化学変化で塗装面にむらができるので、中性洗剤で洗ってから水で完全に流し、必要に応じてポリシングワックス(ワックス乳液)で磨いてください。
ポリシングワックスは、ホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

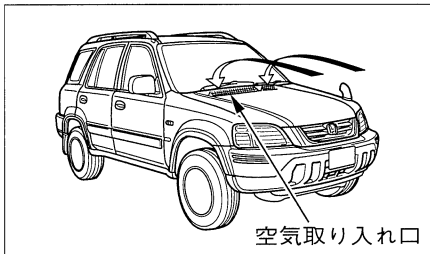
外装の手入れ

洗車のしかた

- ①十分に水をかけながら、下回り、足まわりの汚れを落とします。
- ②塗装面は屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム皮のような柔らかいもので洗います。
- ③汚れがひどいところは中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- ④水が乾かないうちに拭き取ります。

知識

- 故意に空気取り入れ口やエンジンルーム内の電気部品に水をかけないでください。
故障のもとになります。



自動洗車機を使うとき

知識

- 自動洗車機を使うと、ブラシの傷がつき光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。

- ・アンテナやドアミラーを格納して洗車してください。
- ・ホイールカバー装備車は、自動洗車機のホイール専用ブラシを使わないでください。十分水をかけスポンジまたはセーム皮のような柔らかいもので洗ってください。

コイン洗車機を使うとき

洗車ノズルと車体の距離を十分に離して洗車してください。

ドアガラスまわりは、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内へ水が侵入することがあります。

ワックスをかけるとき

月に一回程度または水をはじかなくなったときに行います。

洗車したあと、日陰か車体表面が体温以下になっているときにワックスをかけます。

- ・ワックスはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

📖 知識

- みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは使わないでください。
塗装面に細い傷が残ることがあります。

樹脂塗装部品 (バンパーなど)の手入れ

ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着すると、しみの発生や塗膜がはがれる原因となります。

すみやかに柔らかい布で拭き取ってください。

📖 知識

- 樹脂塗装部品の傷の補修をする場合は、ホンダ販売店にご相談ください。不適當な塗料を使うと塗膜を傷めます。

ガラスの手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーをお使いください。

- ・ガラスクリーナーはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

後面ガラスの内側を清掃するとき

リヤデフロスターに電熱線が装着されていますので、これに沿って柔らかい布で拭いてください。

タイヤについて

タイヤの異常摩耗、亀裂、損傷および指定外の空気圧は、乗り心地、操縦性、タイヤの寿命を損ないます。

また、摩耗したタイヤは雨天時の高速走行で通常よりもハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

・安全のため、こまめに点検を行ってください。

また、必ず指定サイズ、同一種類のタイヤをお使いください。

⚠ 警告

● 次のようなタイヤは使わないでください。

コントロールを失うことがあり、思わぬ事故につながります。

- ・ 摩耗限度を超えたタイヤ
- ・ 指定空気圧に調整されていないタイヤ

🚗 アドバイス

● 四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。

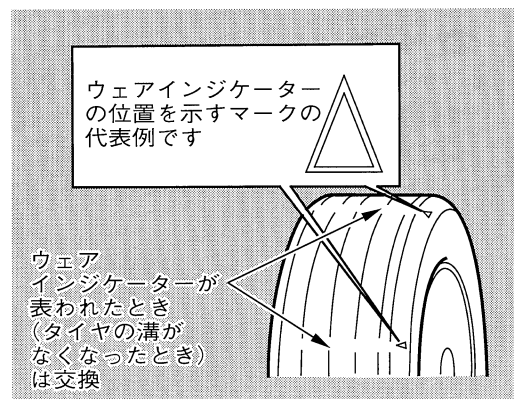
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響を与えます。

摩耗限界表示

(ウェアインジケーター)

ウェアインジケーターが表われたらタイヤを交換してください。

- ・ ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。



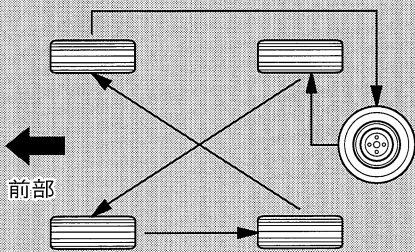
●位置交換(タイヤローテーション)

5,000kmごとにタイヤの位置を交換します。

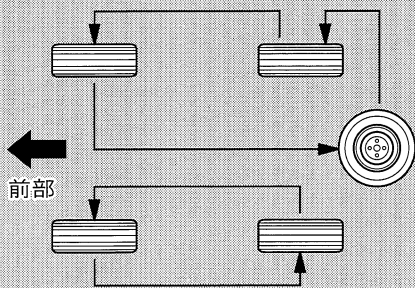
- ・同じ位置で長く走ると偏摩耗し、タイヤの寿命を縮めるだけでなく走行性、制動力にまで悪影響を与えます。

スペアタイヤを使う場合

回転方向が指定されていないタイヤの場合

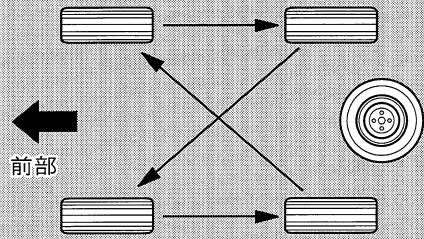


回転方向が指定されているタイヤの場合

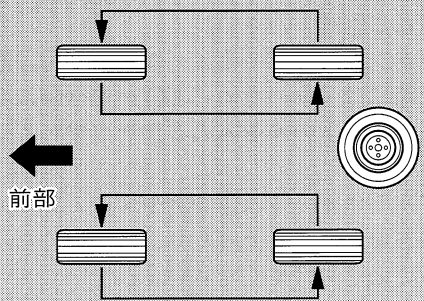


スペアタイヤを使わない場合

回転方向が指定されていないタイヤの場合



回転方向が指定されているタイヤの場合



アルミホイールについて

アルミホイール装備車

アルミホイールは一般的なスチールホイールと取り扱いかたが異なります。

アルミホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。

●取り扱い

- この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダ販売店にご相談ください。
- パンク修理などでホイールを取り付け直した際には、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- アルミホイールは傷つきやすいので歩道の縁石などに乗り上げたり、すり当てたりすることを避けてください。
- バランスウェイトやバルブはホンダ純正のアルミホイール専用品をお使いください。ホイールに傷をつけたり、機能を損なうことがあります。
- アルミホイールにタイヤチェーンを装着するときは、正しく装着してください。ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールに傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。

●手入れ

- アルミホイールは、塩分や汚れを嫌いますので、海水や道路凍結防止剤などが付いたときには、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを早めに落としてください。
- ホイールの光沢を維持するため、時々ワックス掛けをしてください。
- アルミホイールは傷つきやすいので、砂入り石鹸や硬いブラシを使わないでください。高速洗車機(ホイール専用ブラシ付きのもの)によるホイールの洗浄は避けてください。
- スチーム洗浄などで、熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。光沢を失うおそれがあります。

内装の手入れ

- ①中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
・飲食物などをこぼしたときは、すぐに汚れを落としてください。
- ②真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいに拭き取ります。
- ③直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。

🎓 知識

- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤は変色、しみなどの原因となるので使わないでください。
- 室内に水をかけないでください。
電気部品に水がかかると故障の原因となります。

液体芳香剤、 レザークリーナーについて

液体芳香剤、レザークリーナーはその成分によっては、樹脂部品、布材の変色、ひび割れを起こすことがあります。
取り扱いには十分ご注意ください。

🎓 知識

- 液体芳香剤はこぼさないように、容器を確実に固定してください。
芳香剤のご使用にあたっては固形タイプのものをおすすめします。
- レザークリーナーを使用したあとは、必ずかわいた布で軽くふき取ってください。
また、使用した布はそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

車にあった部品の使用

車の性能、品質を維持するために、ホンダ車に最も適したホンダ純正部品をお使いください。

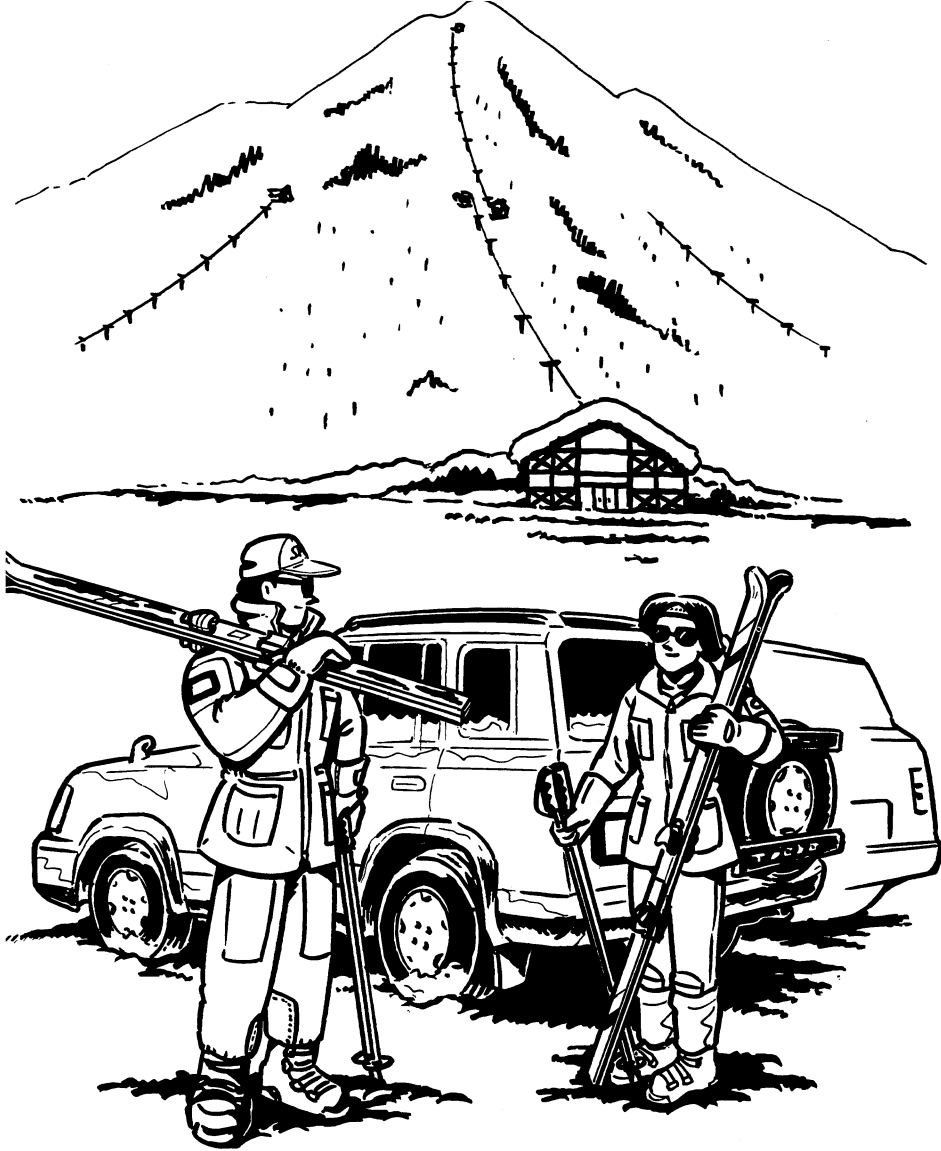
純正部品は厳しい検査を実施し、ホンダ車に適合するように作られています。

お求め、装着に際しては、ホンダ販売店にご相談ください。

- ・純正部品には、右のマークがついています。



- ・ホンダ純正部品以外の車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- ・車の改造はしないでください。不正改造は、法律に触れることはもちろん思わぬ事故を起こす場合があります。



7

車との上手なつきあいかた

積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ	174
運転するとき	175
駐車するとき	178
冬期の手入れ	179

こんなときは

雨の日の運転	180
夏場の取り扱い	181
経済走行のために	181
4WD車の運転	182

積雪・寒冷時の取り扱い

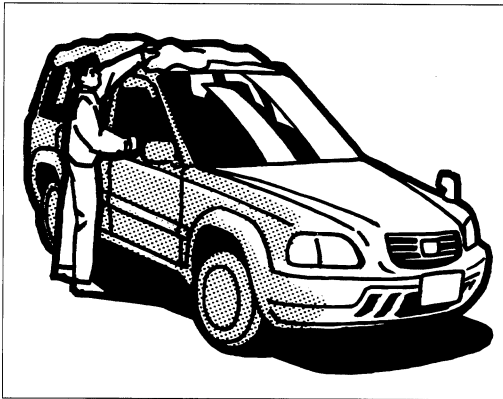
運転するまえ

●車に積った雪や着氷は取り除く

屋根に積った雪

走行時にガラス面に落ちた雪が視界の妨げとなり危険です。走行する前に取り除いてください。

- ・氷結している部分を無理に取り除くと塗装などを傷めます。氷が溶けてから取り除いてください。



ガラス面の雪や霜

プラスチックの板などを使うとガラスに傷をつけずに落とすことができます。

足まわりの着氷

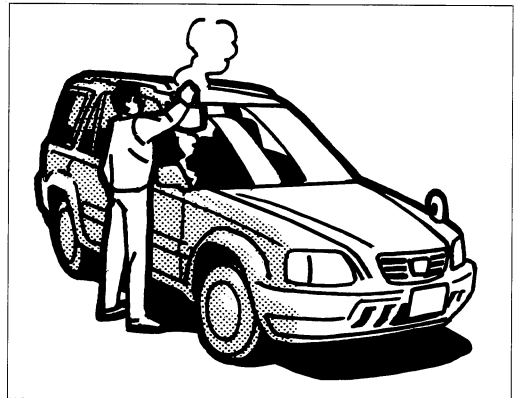
足まわりなどに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。

●凍結しているとき

ドアの凍結

無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたりするので、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。

- ・ドアキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。



お湯をかけたあとは、凍結防止のために水分をよくふき取ってください。

ワイパーの凍結(ガラス面が着氷、積雪しているとき)

ワイパーブレード(ゴム部)を損傷したり、モーターの故障となりますので、氷や雪を取り除いてから動かしてください。

●乗車するとき

靴にこびりついた雪をよく落としてから、乗車してください。

- ・ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。



運転するまえに

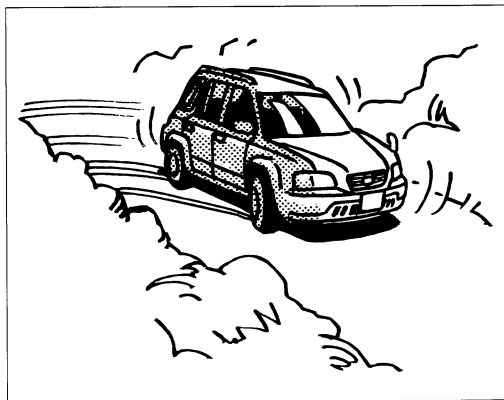
ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうか確認してください。

運転するとき

- 雪道や凍結路では、たいへん滑りやすくなっているため、速度を落とし車間距離を十分とって運転しましょう。

また、ハンドルやブレーキの操作はとくに慎重にしてください。

- ・急加速、急減速、急ブレーキや急ハンドルは横すべりを起こして方向性を失います。



- タイヤチェーン、冬用タイヤを装着して走行してください。

タイヤチェーンについて →177ページ

- ・冬用タイヤを装着するときは、四輪とも同じ種類のものに交換してください。
- ・地区条例により違いがありますので、その地区の条例に従ってください。

知識

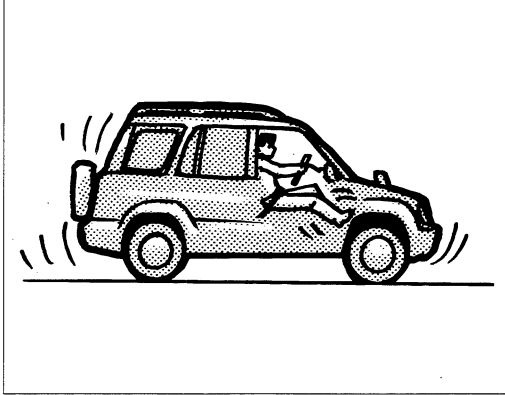
- 標準装着のタイヤはオールシーズンタイヤです。

雪道での性能も考慮してありますが、冬用タイヤではありません。雪道や凍結路では、タイヤチェーンや冬用タイヤを装着してください。

- 冬用タイヤを装着したときには、安全のため高速走行は避けてください。

●ブレーキのききについて

ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキのききが悪くなることがあります。その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。



◆ 知識

- ブレーキのききが回復しないときは、ブレーキ系統に異常が考えられますので、ただちにホンダ販売店で点検を受けてください。

●ウォッシャー液を噴射するとき

先にヒーターを使って前面ガラスを暖めてからウォッシャー液を噴射します。

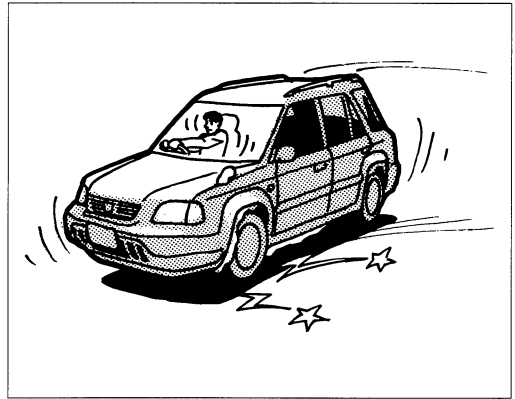
⚠ 注意

- 寒冷時は前面ガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。ウォッシャー液が凍りつき視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●ハンドルのきれについて (タイヤまわりの着氷)

フェンダー裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなる場合があります。

ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。



●タイヤチェーンについて

推奨タイヤチェーン

フェンダーやホイールの表面を傷つけるおそれがありますので、ホンダ純正スーパーグリップチェーンをお使いください。

お求めはホンダ販売店にお申しつけください。



アドバイス

- タイヤチェーンはタイヤに合った適正なものをお使いください。
推奨タイヤチェーン以外のものを使うと、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

標準的なタイヤチェーンの取り付けかた

前輪駆動を主とした四輪駆動なので、タイヤチェーンは前輪に装着してください。

後輪にはタイヤチェーンを装着しないでください。

タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。



知識

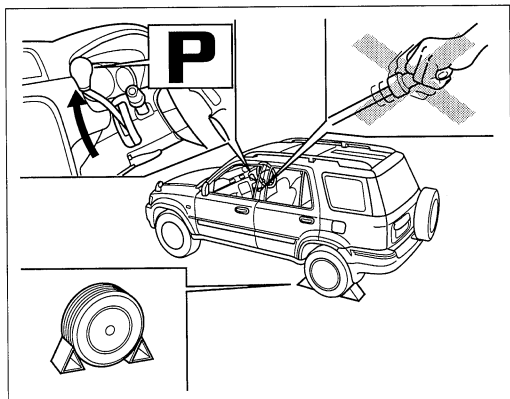
- タイヤチェーンは平らな所で他の交通に十分注意して取り付けてください。
必要に応じて非常点滅表示灯などを使ってください。
- タイヤチェーンを取り付けたときには、安全のため雪道、凍結路では30km/h以下の速度で運転してください。
なお乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したままで走行するのは避けてください。チェーンの摩耗を早めます。

駐車するとき

駐車ブレーキの凍結を防ぐために、駐車ブレーキは使わないでください。

セレクトレバーをPに入れます。

石などで輪止めをしておきます。



●屋外に駐車するとき

●エンジンの冷えすぎを防ぐために、車の前部を風下や日の当たる方向に向けて停めてください。

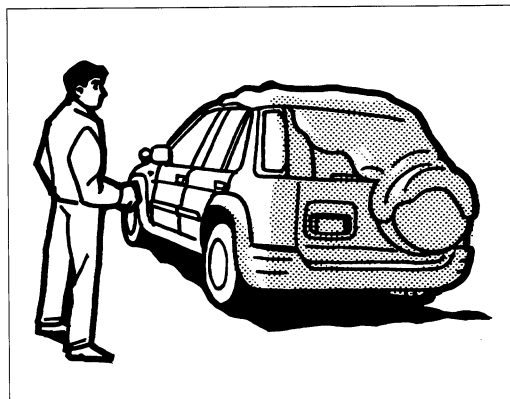
・エンジンが冷えすぎると始動しにくくなることがあります。

●落雪や積雪を避けるために、軒下や樹木の下などには停めないでください。

・車の屋根などがへこむことがあります。

●ワイパーアームは起こしてください。

・雪の重みでアームの取り付け部がこわれることがあります。



●長期間使わないで屋外におくとき
塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

⚠注意

●格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、フロントグリル内側に段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。

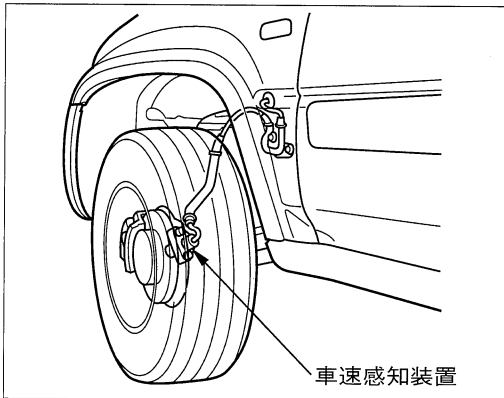
そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

冬期の手入れ

●雪道走行後の手入れ

- ・フェンダー裏側や足まわりに付着した泥、雪は周囲の部品を損傷しないように取り除いてください。

ABS装備車は、足まわり(前、後輪の4か所)に車速感知装置が取り付けられていますので、傷をつけないように特に注意してください。



- ・寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。錆の原因になりますので、走行後はすぐに洗車してください。特に下回りは念入りに行ってください。

●点検・整備

バッテリーについて

気温が下がるとバッテリーの性能が低下し、エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

エンジンオイルについて

冬期はオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、または市街地を運転される方は、早めに交換してください。

冷却水について

冷却水の凍結を防ぐために点検してください。

ウォッシャー液について

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度をあげてください。

知識

- 点検方法はメンテナンスノートを参照し、交換はホンダ販売店にご相談ください。

こんなときは

雨の日の運転

雨の日は視界が悪くなるうえ、窓ガラスが曇ったり、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なるので通常より注意深い運転が必要です。

- ・急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分にとって運転しましょう。
- ・ハイドロプレーニング現象に注意しましょう。
- ・雨の降り始めの舗装道路は滑りやすいので特に気をつけましょう。

⚠ 警告

- 滑りやすい路面では、急加速、急ブレーキや急ハンドルは避けてください。車のコントロールを失い思わぬ事故につながります。

ハイドロプレーニング現象とは

路面が水でおおわれているところを高速で走行しようとしたときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることをいいます。

- ・このような状態になると、ハンドルやブレーキがきかなくなり、非常に危険です。

●ガラスの曇りをとりたいとき

ガラスが曇って外が見にくいときは、エアコンのデフロスターボタンを押して曇りをとります。

後面ガラスの曇りは

リヤデフロスタースイッチを押して、曇りをとります。

●ガラスの油膜をとりたいとき

油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射します。

ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにします。

- ・ガラスクリーナーはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

●ワイパーのふきむらがあるとき

ワイパーブレードのラバーが傷んでいると、ふきむらが出て視界の妨げとなります。また、ウィンドーガラスを傷つけることがありますので、早めに交換してください。

夏場の取り扱い

●エアコンの上手な使いかた

- ・冷媒(ガス)が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前に点検、補充をしておきましょう。
- ・室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。
- ・エアコンの冷やしすぎは健康上良くありません。

📖 知識

- この車の冷媒は、環境保護のため、新冷媒HFC-134a (R-134a)を使用しています。
補充・交換が必要な場合は、ホンダ販売店にご相談ください。

●炎天下に駐車するときは

- ・ボディーに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルなどをかけて、室内温度の上昇を抑えましょう。
- ・フロントガラスにアルミ光沢性の日除けバイザーを使うと、反射光が集光し、インストルメントパネルなどが変色、変形することがあります。

●海から帰ってきたときは

海に出かけた後は車も塩分を浴びています。サビの原因になりますので早めに洗車してください。下回りも念入りに洗いましょう。

●オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足しないように、こまめに点検します。

- ・走行中、水温計の針が“H”の目盛に入った場合は、オーバーヒートのおそれがあります。安全な場所に停車してエンジンを冷やしてください。

オーバーヒートしたとき →152ページ

経済走行のために

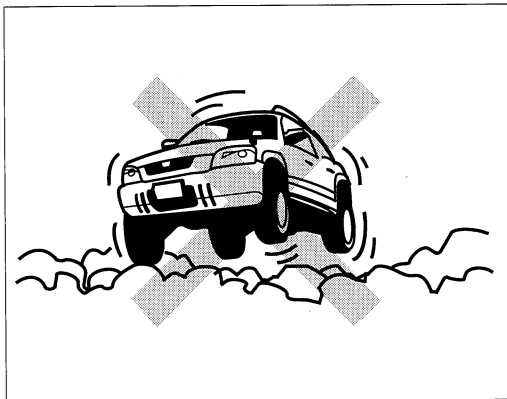
- 不必要な急加速、急減速などアクセルペダルをバタつかせるような運転をしないでください。
- 変速位置の選択は、走行速度に応じて適切に行ってください。
- 長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けましょう。
- 車間距離は十分に取り、不必要なブレーキをかけないようにしましょう。
- トランクルームには不必要な荷物は載せないようにしましょう。

4WD車の運転

4WD車は積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において2WD車に比べて走破性にすぐれていますが、万能ではありません。

アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転を心がけてください。

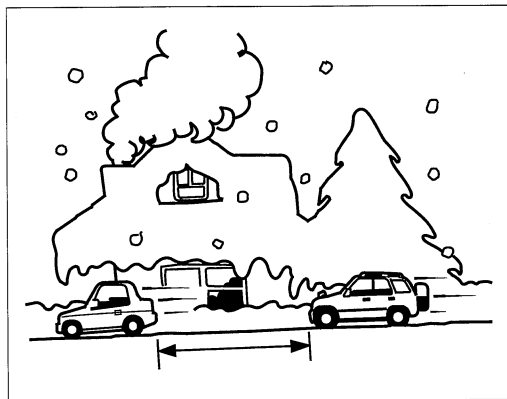
- ・砂地、ぬかるみ等、前輪が空転しやすいところでの連続走行やラリー走行は避けてください。



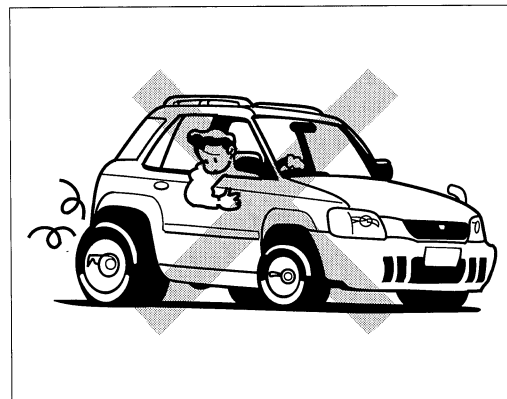
- ・渡河などの水中走行はしないでください。



- ・滑りやすい路面では、十分な車間距離をとって運転してください。
(ブレーキ性能は2WD車と比べてほとんど差がありません。)



- ・四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
(サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響をあたえます。)



- ・けん引する場合、前輪または後輪を台車に載せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。駆動装置が破損したり、車輪が台車から飛び出すおそれがあります。

けん引 →143ページ


●こんなとき

ぬかるみなどにはまってしまったときは

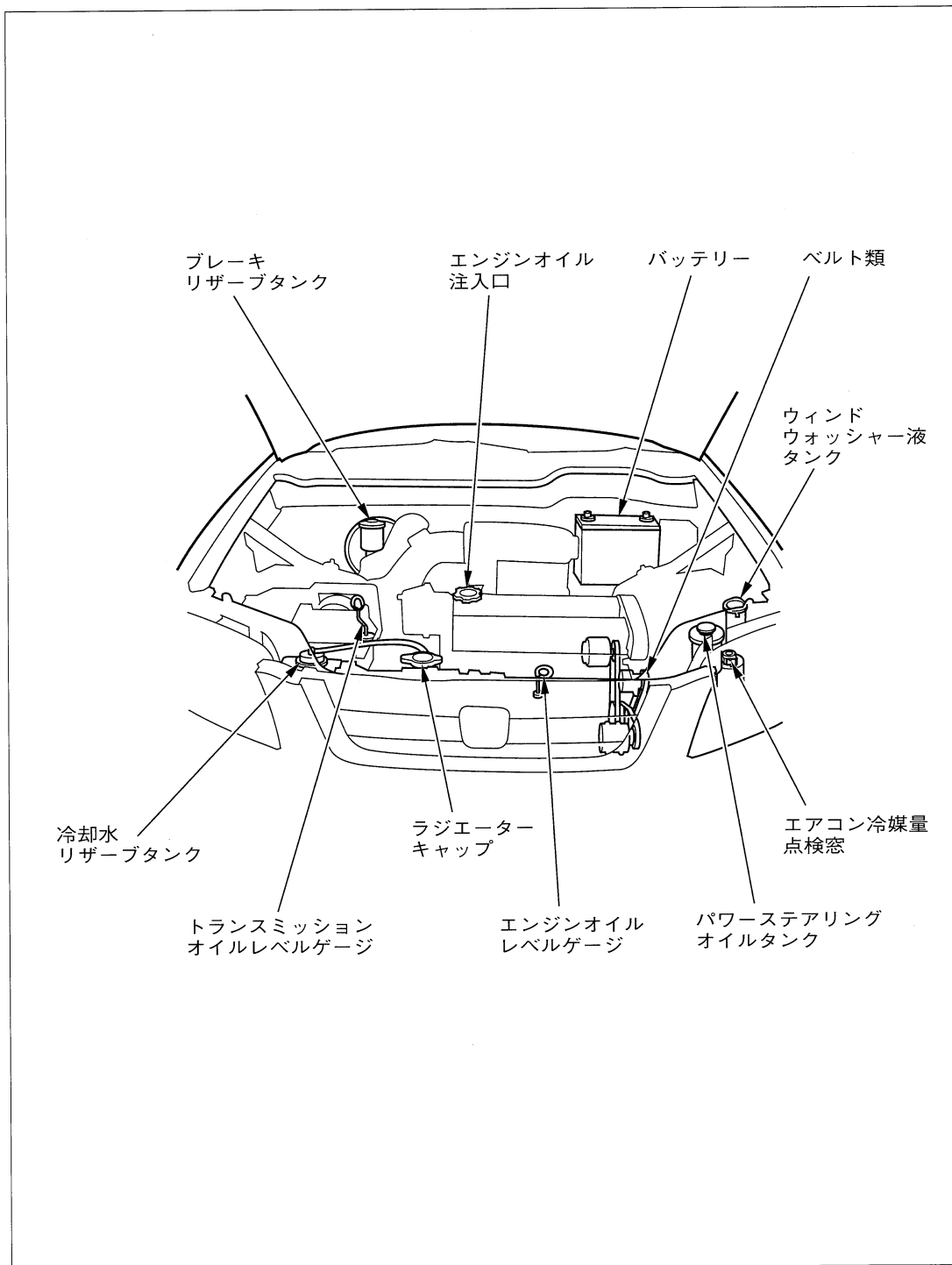
むやみにアクセルペダルを踏むと、穴が深くなりかえって脱出が困難になります。タイヤの下に石や木などをあてがい脱出するか、前進・後退を繰り返して慣性を利用して脱出してください。また、ぬかるみがひどいときは、タイヤチェーンを装着するのも効果的です。

急斜面では



- ・急斜面での登り始めと終わりは、凹凸の少ないならかな斜面を選んでください。
 - ・登る途中で前進ができなくなったときは、絶対に方向転換はしないでそのままの状態です降りてください。
- 方向転換をしようとすると、車が傾いたり、転覆することがあります。

 知識

- 4WDの状態で行走中に車輪の空転が続いてシステム内の油温が上昇すると、システム保護のため4WDから2WDに切り換わることがあります。しばらくして油温が下がると、4WDに復帰します。



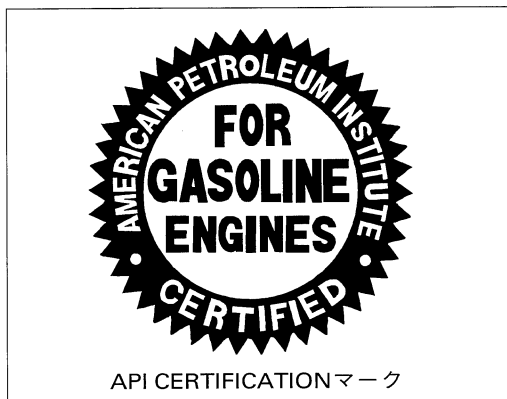
項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
点 火 プ ラ グ*	タ イ プ	NGK	ZFR5F-11
		DENSO	KJ16CR-L11
	電 極 の す き 間	1.0-1.1 mm	
ブ レ ー キ ペ ダ ル	遊 び	1-5 mm	
	床 板 と の す き 間	111 mm 以上(約20kgの力)	
	カーペットとのすき間 (参 考 値)	80 mm 以上(約20kgの力)	
駐 車 ブ レ ー キ	引 き し ろ	3-9 回 (約20kgの力)	
ウ ョ ッ シ ャ ー タ ン ク	容 量	2.5 ℓ	
エ ア ク リ ー ナ	タ イ プ	湿式	
エ レ メ ン ト			
バ ッ テ リ ー	容 量	36AH(5)	
燃 料	使 用 燃 料	無鉛ガソリン	
	タ ン ク 容 量	58 ℓ	
電 球 (バ ル ブ)	W (ワ ッ ト) 数	前照灯(ハロゲンバルブ)..... 12V-60/55W 前面方向指示器/前面非常点滅表示灯..... 12V-21W 車幅灯..... 12V-5W 側面方向指示器/側面非常点滅表示灯..... 12V-5W 後面方向指示器/後面非常点滅表示灯..... 12V-21W 番号灯..... 12V-8W 制動灯/尾灯..... 12V-21/5W 後退灯..... 12V-18W 室内灯..... 12V-8W スポットライト..... 12V-5W テールゲート照明灯..... 12V-8W	

※ : ISO(国際標準化機構)規格品の突出シタイプを使用しています。、 のマークがついています。

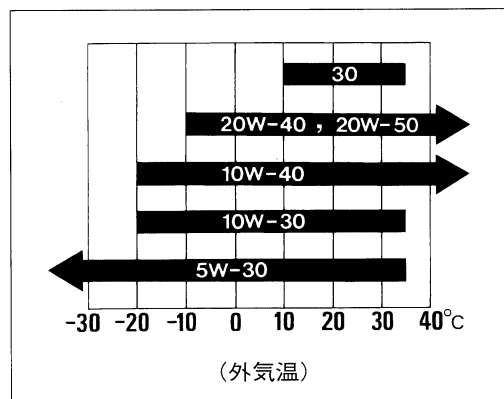
項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
エ ン ジ ン オ イ ル	推 奨 オ イ ル	ホンダ純正オイル(4サイクル四輪車用) ウルトラMILD (API SG級 SAE 10W-30) ウルトラLUBRA SG (API SG級 SAE 5W-30) ウルトラLUBRA SH (API SH級 SAE 5W-30) ウルトラLIMITED SH (API SH級 SAE 10W-30) ウルトラGOLD GF-1 (API SH/GF-1級 SAE 10W-30)	
	規 定 量	オイル交換時	3.5ℓ
		オイル、オイル フィルター同時 交換時	3.8ℓ

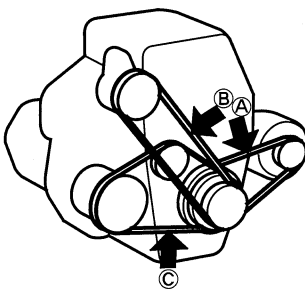
推奨エンジンオイル

ホンダ純正エンジンオイルまたはAPI SG級以上か、オイル缶にAPI CERTIFICATION (エーピーアイ サーフイケーション) マークの入ったエンジンオイルをお使いください。



市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



項 目	サ ー ビ ス デ ー タ	
ベルトのたわみ量		
	発 電 機 ベ ル ト	8.5-11.5 mm (約10kgの力)
	パ ワ ー ス テ ア リ ン グ ベ ル ト	11.5-15.0 mm (約10kgの力)
	エ ア コ ン デ ィ シ ョ ナ ー ベ ル ト	7.5-10.5 mm (約10kgの力)
ト ラ ン ス ミ ッ シ ョ ン オ イ ル	指 定 液	ホンダ純正ウルトラATF
	規 定 量 (交 換 時)	2.8 ℓ
デ フ ァ レ ン シ ョ ナ ル オ イ ル (4 W D)	指 定 液	ホンダ純正ウルトラATF
	規 定 量 (交 換 時)	1.0 ℓ
冷 却 水	指 定 液	ホンダ純正ウルトララジエーター液
	規 定 濃 度	50%
	規 定 量 (交換時リザーブ タンク0.6ℓ含む)	3.9 ℓ
ブ レ ー キ 液	指 定 液	ホンダ純正ウルトラブレーキフルードDOT3またはDOT4
パ ワ ー ス テ ア リ ン グ 液	指 定 液	ホンダ純正ウルトラパワーステアリングフルード-Vまたは-II

エアクリーンフィルターの交換

エアコンには、空気中のちり・ほこり・粉じん等を集じんするエアクリーンフィルターが取り付けられています。

エアクリーンフィルターの交換は、通常2年または24,000kmごとに、ホンダ販売店で行ってください。

ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。

・エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。

ホンダ販売店で点検を受けてください。

項目 タイヤサイズ	タイヤ空気圧 (空車時: kg/cm ²)				※リムサイズ		タイヤの 残溝の深さ	位置交換時期 (タイヤロー テーション)
	前 輪		後 輪		スチール ホイール	アルミ ホイール		
	一般	高速	一般	高速				
205/70R15 95S	1.8		1.7		15×6JJ	15×6JJ	1.6 mm 以上	5,000kmごと

※ : この車専用のホイールをお使いください。

専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。

ホイール交換に際しては、必ずホンダ販売店にご相談ください。

名 称	型 式	エンジン型式	排気量(cm ³)	車体形状
CR-V	E-RD1	B20B	1,972	4 ドアステーションワゴン

ア

アームレスト(後席ひじ掛け)・47
 アクセサリーソケット……136
 アシスタントポケット……133
 アルミホイール……170
 雨の日の運転……180
 アンチロックブレーキシステム
 (ABS)
 警告灯……95
 装置について……94
 アンテナ……111

イ

イグニッション(エンジン)
 キー……32
 スイッチ……71
 インナールーフレール……135

ウ

ウィンドー……41
 ウォッシュャー液
 スイッチ……74
 タンクの容量……185
 冬期の手入れ……179
 運転のしかた……79

エ

エアクリンフィルター・104・187
 エアコン……100
 AM/FMラジオ一体式カセット
 ステレオ……112
 SRSエアバッグシステム
 警告灯……93
 装置について……90
 エンジンキー(キー)……32
 エンジンスイッチ……71
 エンジンのかけかた……78
 エンジンブレーキ……17・85
 エンジンをかける前に……77

オ

オーディオ……109
 オートエアコン……100
 オートヒーター……105
 オートマチック
 トランスミッション
 運転のしかた……82
 セレクトレバー……77
 オーバーヒートしたとき……152
 オドメーター……63
 温度感知装置……104・108

カ

格納……178
 カーゴサイドフック……135
 カーゴフロアポケット……133
 カップホルダー……129
 換気……13
 寒冷時の取り扱い……174

キ

キー……32
 キーインターロック……71
 キー抜き忘れ警告ブザー……71
 キーレスエントリー……34
 キーレスステールゲート
 オープナー……37
 キックダウン……20

ク

曇り止り
 (デフロスター)……102・107
 クリープ現象……20
 車にあった部品の使用……172
 車の積雪について……174
 グローブボックス……132

ケ

警告灯
 警告灯が点灯したとき……151
 警告灯類……66
 電球切れの点検……70
 経済走行……181
 けん引
 けん引されるとき……143
 故障車をけん引するとき……145

コ

工具(ツール)

格納場所	138
種類	139
後写鏡(バックミラー)	52
後席シート	46
高速道路で故障したとき	140
後退灯(バックランプ)	
電球の交換	159
W(ワット)数	185
故障したとき	140
故障の修理について	141
後部ワイパー(リヤワイパー)	
スイッチ	74
小銭入れ(コインボックス)	132
小物入れ	132

サ

サイドアンダーミラー	54
サービステータ	184
三点式シートベルト	56
サンバイザー	128
サンルーフ	
作動しないとき	161
操作	42

シ

シート	
後席シート	46
前席シート	45
正しい運転姿勢	44
荷室の作りかた	50
フルフラットシート	48
シートアンダーボックス	133
シートベルト	55
三点式シートベルト	56
二点式シートベルト	56
警告灯	69
ショルダアンカー	58
シガレットライター	126
事故が起きたとき	142
室内灯(ルームランプ)	
使いかた	124
電球の交換	160
W(ワット)数	185
シフトロック装置	23・79・84
霜取り・曇り止め	
前面/側面ガラス	102・107
ジャッキの取り扱い	146
車幅灯(ポジションランプ)	
電球の交換	158
W(ワット)数	185
充電警告灯	68
樹脂塗装部品	167
純正部品	172

ス

水温計	63
スイッチの使いかた	71
スノータイヤ(冬用タイヤ)	175
スパークプラグ(点火プラグ)	185
スピードメーター	63
スペアタイヤ	148
スポットライト	
使いかた	125
電球の交換	160
W(ワット)数	185

セ

制動灯(ブレーキランプ)	
電球の交換	159
W(ワット)数	185
積雪・寒冷時の取り扱い	
運転するとき	175
運転するまえ	174
駐車するとき	178
冬期の手入れ	179
セレクトレバー	
操作	79
ポジション表示灯	65
洗車	166
前照灯(ヘッドライト)	
上向きと下向きの切り換え	72
上向き表示灯	65
追い越し合図(パッシング)	72
スイッチ	72
W(ワット)数	185
前席シート	45
センターテーブル	128
センターポケット	133

ソ

速度計	63
速度範囲	81
その他の安全装備	96

タ

タイヤ
位置交換
(ローテーション).....169
ウェアインジケーター.....168
空気圧.....188
交換.....148
サイズ.....188
スペアタイヤ.....148
スノータイヤ.....175
チェーン.....177

チ

チェーン.....177
チャイルドシート.....56
チャイルドプルーフ.....35
駐車
坂道.....25
積雪・寒冷時の取り扱い.....178
駐車ブレーキ
(パーキングブレーキ)
警告灯.....67
積雪・寒冷時の取り扱い.....178
操作.....77
チルトステアリング
(上下調節式ハンドル).....52

テ

テールゲート.....37
開閉警告灯.....69
テールゲートポケット.....135
テールゲート照明灯
使いかた.....125
電球の交換.....160
W(ワット)数.....185
点火プラグ.....185
電気系統が異常のとき.....153
電気装置が作動しないとき.....155
電球(バルブ)
交換.....158
W(ワット)数.....185
点検・整備について.....164
電動リモコンドアミラー.....53

ト

ドア
開閉警告灯.....69
施錠・解錠.....32
積雪・寒冷時の取り扱い.....174
ドアミラー.....53
冬期の手入れ.....179
道路で動けなくなったとき.....141
時計/外気温表示.....123
塗装の手入れ.....166
トランスミッション
オイルの容量.....187
警告灯.....67
トリップメーター.....63

ナ

内装の手入れ.....171
夏場の取り扱い.....181

ニ

荷室の作りかた.....50
二点式シートベルト.....56
荷物フック.....135

ネ

燃料(ガソリン)
使用燃料.....39・185
タンク容量.....39・185
燃料計.....63
燃料残量警告灯.....69
補給口.....39

ハ

排気温警告灯	68
灰皿	127
ハイドロプレーニング現象	180
ハイビーム表示灯	65
発炎筒	
格納場所	138
発炎筒について	139
バックミラー(後写鏡)	
サイドアンダーミラー	54
ドアミラー	53
ルームミラー	52
ハッチガラス	38
バッテリー	
冬期の手入れ	179
バッテリーあがり	153
容量	185
バニティミラー(化粧鏡)	128
パワーウィンドー	41
パワードアロック	
(オートドアロック)	32
バンク	
バンクしたとき	146
番号灯(ライセンスランプ)	
電球の交換	160
W(ワット)数	185

ヒ

PGM-FI警告灯	68
ヒーター・エアコン	
オートエアコン	100
オートヒーター	105
吹き出し風の調節	99
非常点滅表示灯(ハザードランプ)	
スイッチ	73
電球の交換	158・159
W(ワット)数	185
尾灯	
電球の交換	159
W(ワット)数	185
ビルトインテーブル	130
ヒューズ	155
表示灯	64

フ

吹き出し風の調節	99
踏切で動けなくなったとき	140
フューエルリッド	39
プラグ	185
フルフラットシート	48
フレキシブルカーゴフック	136
ブレーキ	
警告灯	67
積雪・寒冷時の取り扱い	176
倍力装置	16

ヘ

ヘッドレスト	46・47
--------	-------

ホ

ホーンスイッチ	76
ホイールサイズ	188
芳香剤	171
方向指示器	
スイッチ	73
電球の交換	158・159
表示灯	65
W(ワット)数	185
ボンネット	36

マ

万一のとき.....137

ミ

ミラー

サイドアンダーミラー.....54

ドアミラー.....53

ルームミラー.....52

ム

無線装置.....28

メ

メーター(計器類).....62

ユ

油圧警告灯.....67

ヨ

四輪駆動機構(4WD).....95

4WD車の運転.....182

ラ

ライト消し忘れ警告ブザー.....72

ライトスイッチ.....72

ライト類が点灯しないとき.....155

リ

リムサイズ.....188

リモートコントロール

ドアミラー.....53

リヤデフロスター.....75

リヤワイパー

スイッチ.....74

ル

ルームミラー

(防眩式室内後写鏡).....52

レ

冷却水(ラジエーター液)

水量.....187

冬期の手入れ.....179

レザークリーナー.....171

ロ

ロアゲート.....38

ワ

ワイパー

スイッチ.....74

積雪・寒冷時の取り扱い.....174

ワックスがけ.....167

